

第四部馬ニ關スル器具機械

第十一類馬具

番號	品名	員數	住出	所品	人	人名
一	轆	一組	宮城縣仙臺市		伊藤	恒吉
二	繫駕速步競走車用轆馬具	一組	東府福東京市		中西	秀三
三	馬耕用鞍	一組	秋田縣平鹿郡淺舞町		細谷	儀右衛門
四	耕馬用鞍	一組	福岡縣福岡市		磯野	七平
五	農耕馬具	一組	東京府北豐島郡高田町		ヤマト種苗農具株式會社	
六	御大典記念式荷馬車用鞍	三個	長野縣北佐久郡小諸町		本多	吉之助
七	馬具(二輪車用)	一組	神奈川縣橫濱市		米倉	竹次郎
八	馬具(四輪車用)	一組	神奈川縣橫濱市		米倉	竹次郎
九	馬車用馬具	一組	愛知縣名古屋		安達	岸吉郎
一〇	競馬用馬具	二組	東京府東京市		廣瀬	松吉郎
一一	馬具	一組	神奈川縣橫濱市		米倉	竹次郎
一二	乘馬具	一組	東京府東京市		井川	商會
一三	乘馬具	一組	東京府東京市		井川	商會
一四	乘馬具	一組	東京府東京市		廣瀬	松吉郎
一五	障碍用乘鞍	一揃	東京府東京市		井川	商會
一六	障碍用乘鞍	一揃	東京府東京市		井川	商會
一七	障碍用乘鞍	一揃	東京府東京市		井川	商會
一八	障碍用乘鞍	一揃	東京府東京市		井川	商會
一九	丸木式荷馬車用馬頸紐	五個	長野縣北佐久郡小諸町		本多	吉之助
二〇	昭和二年式荷馬車用馬頸紐	一個	長野縣北佐久郡小諸町		本多	吉之助

第十二類馬車及乘車式荷馬車

番號	品名	員數	住出	所品	人	人名
二二	根轆	五本	東京府東京市		井川	商會
二三	根轆	五本	滋賀縣栗太郡草津町		辻川	梅次郎
二四	乘馬ズボン	二着	東京府東京市		星野	安治郎
二五	乘馬ズボン	二着	東京府東京市		星野	安治郎
二六	乘馬ズボン	二着	東京府東京市		星野	安治郎
二七	乘馬ズボン	二着	東京府東京市		星野	安治郎
二八	獵騎帽	一個	東京府東京市		星野	安治郎
二九	獵騎帽	一個	千葉縣千葉郡二宮村		廣山	熊一
三〇	獵騎帽	一個	東京府豐多摩郡澁谷町		池田	野隆介
三一	不鏽鋼拍車	三組	東京府豐多摩郡澁谷町		內野	隆介
三	乘車式農用馬車	一臺	愛知縣岡崎市		中川	恒太郎
四	乘車式農用馬車	一臺	宮城縣仙臺市		伊藤	恒太郎
五	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中川	源一郎
六	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中川	源一郎
七	乘車式農用馬車	一臺	愛知縣岡崎市		中山	源一郎
八	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
九	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
一〇	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
一一	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
一二	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
一三	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
一四	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
一五	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
一六	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
一七	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
一八	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
一九	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
二〇	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
二一	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
二二	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
二三	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
二四	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
二五	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
二六	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
二七	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
二八	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
二九	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
三〇	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
三一	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
三二	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
三三	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
三四	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
三五	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
三六	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
三七	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
三八	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
三九	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
四〇	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
四一	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
四二	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
四三	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
四四	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
四五	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
四六	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
四七	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
四八	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
四九	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
五〇	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
五一	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
五二	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
五三	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
五四	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎
五五	乘車式農用馬車	一臺	群馬縣前橋市		中山	源一郎

番號	品名	員數	住出	所品	氏名
一六	乘車式農用馬車	一臺	宮城縣仙臺市		伊藤久之助
一七	乘車式四輪馬車	一臺	宮城縣仙臺市		伊藤久之助
一八	乘車式四輪荷馬車	一臺	東京府南葛飾郡大島町		飯島直平
一九	調教用馬車	一臺	東京府東京市		井川商會
二〇	繫駕速步競走用車	一臺	東京府東京市		三島隆吉
二一	繫駕速步競走用車	一臺	東京府東京市		中西秀三
二二	遊歩馬車	一臺	愛知縣岡崎市		中川島太郎

第十三類 馬利用農具及動力器

一	カールチベータ	一臺	福岡縣福岡市	磯野	磯野 七平
二	菊住式中耕機	一臺	熊本縣熊本市	菊野	菊野 伊八
三	畜力中耕機(二號形)	一臺	鹿兒島縣肝屬郡鹿屋町	新藤	新藤 清治
四	飯塚式人畜兼用中耕機	一臺	群馬縣多野郡藤岡町	菊野	菊野 伊八
五	菊住式大島犁(天)號	一臺	熊本縣熊本市	菊野	菊野 伊八
六	菊住式大島犁(地)號	一臺	熊本縣熊本市	菊野	菊野 伊八
七	菊住式大島犁大能號	一臺	熊本縣熊本市	菊野	菊野 伊八
二二	磯野式磯風犁耕幅自在器付	一臺	福岡縣福岡市	磯野	磯野 七平
二三	磯野式磯風犁耕幅自在器付	一臺	福岡縣福岡市	磯野	磯野 七平
二四	磯野式磯風犁耕幅自在器付	一臺	福岡縣福岡市	磯野	磯野 七平

一五	磯野式耕幅自在器付第三清松犁	一臺	福岡縣福岡市	磯野	磯野 七平
一六	磯野式第三青松犁ホルト付	一臺	福岡縣福岡市	磯野	磯野 七平
一七	磯野式多摩號犁耕幅自在器付	一臺	福岡縣福岡市	磯野	磯野 七平
一八	磯野式大成號犁甲	一臺	福岡縣福岡市	磯野	磯野 七平
一九	磯野式大成號犁乙	一臺	福岡縣福岡市	磯野	磯野 七平
二〇	磯野式鐵製犁新南投號	一臺	福岡縣福岡市	磯野	磯野 七平
二一	磯野式鐵製犁新南投號	一臺	福岡縣福岡市	磯野	磯野 七平
二二	磯野式鐵製犁兩用犁	一臺	福岡縣福岡市	磯野	磯野 七平
二三	磯野式鐵製犁北斗號	一臺	福岡縣福岡市	磯野	磯野 七平
二四	赤北式犁光榮號	一臺	北海道有珠郡伊達村	小西	小西 力藏
二五	高北式犁富鋼錢號	一臺	三重縣名賀郡名張町	高北	高北 新治
二六	高北式犁富鋼錢號	一臺	三重縣名賀郡名張町	高北	高北 新治
二七	高北式犁富鋼錢號	一臺	三重縣名賀郡名張町	高北	高北 新治
二八	高北式犁富鋼錢號	一臺	三重縣名賀郡名張町	高北	高北 新治
二九	高北式純正鋼錢	一臺	三重縣名賀郡名張町	高北	高北 新治
三一	犁(五)第正鋼錢	一臺	宮崎縣西諸縣郡小林町	毛利	毛利 次郎
三二	犁(五)第正鋼錢	一臺	宮崎縣西諸縣郡小林町	毛利	毛利 次郎
三三	日(九)號深耕犁	一臺	熊本縣上益城郡御船町	田上	田上 太郎
三四	日(九)號深耕犁	一臺	熊本縣上益城郡御船町	田上	田上 太郎
三五	日(本)號兩用犁(桑園兼用)	一臺	熊本縣上益城郡御船町	田上	田上 太郎
三六	日(本)號兩用犁(田畑兼用)	一臺	熊本縣上益城郡御船町	田上	田上 太郎
三七	④式深耕犁三日月號	一臺	熊本縣球磨郡人吉町	指宿	指宿 武夫
	④式深耕犁稻妻號	一臺	熊本縣球磨郡人吉町	指宿	指宿 武夫

番號	品名	員數	住出	所品	氏名
三八	①式深耕犁兩用犁	一臺	熊本縣球磨郡人吉町		指宿武
三九	サプソエル付ブラウ	一臺	北海道河西郡芽室町		太田源
四〇	春山式耕犁	一臺	群馬縣多野郡平井村		春山末
四一	三塚式深耕犁	一臺	富山縣富山市		三塚彦
四三	今平岩式敷島號雙用馬耕犁	一臺	愛知縣岡崎市		平岩藤
四四	茂木式三用犁一號	一臺	埼玉縣大里郡熊谷町		茂木直
四五	茂木式單用犁二號	一臺	埼玉縣大里郡熊谷町		茂木直
四六	向井式馬耕犁	一臺	秋田縣秋田市		向井岩
四七	(高橋式日の丸號)馬耕犁	一臺	秋田縣仙北郡六郷町		高橋長
四八	藤原式深耕犁農進號	一臺	秋田縣雄勝郡西馬音内町		藤原和
四九	日光號	一臺	秋田縣平鹿郡淺舞町		小田正
五一	小田田	一臺	福島縣相馬郡原町		小田正
五二	新案特許②式雙用ミヤスキニ號型	一臺	栃木縣宇都宮市		渡邊次
五三	②式ミヤスキ一號型アングル付	一臺	栃木縣宇都宮市		渡邊次
五四	②式ミヤスキニ號型アングル付	一臺	栃木縣宇都宮市		渡邊次
五五	越中出町	一臺	富山縣東礪波郡出町		田邊正
五六	田邊式深耕犁	一臺	富山縣東礪波郡出町		田邊正
五七	新案特許③式改良馬銜	一臺	栃木縣宇都宮市		磯野七
五八	磨中犁	一臺	福岡縣福岡市		磯野七
五九	磨大間犁	一臺	福岡縣福岡市		磯野七
六〇	磨新庄犁	一臺	福岡縣福岡市		磯野七

番號	品名	員數	住出	所品	氏名
六一	磨上總先	一臺	福岡縣福岡市		磯野七
六二	磨筑波先	一臺	福岡縣福岡市		磯野七
六三	磨水戸長改先	一臺	福岡縣福岡市		磯野七
六四	磨礪風〜ラ	一臺	福岡縣福岡市		磯野七
六五	磨第三青松〜ラ	一臺	福岡縣福岡市		磯野七
六六	一頭曳改良塊打馬耙	一臺	福岡縣福岡市		磯野七
六七	タイショ一式耙碎土機	一臺	福岡縣福岡市		磯野七
六八	豐大式碎土機	一臺	山口縣阿武郡彌富村		大谷丈
六九	豐大式均碎土機付馬銜	一臺	山口縣阿武郡彌富村		大谷丈
七一	加藤式碎土兼用株切機	一臺	愛知縣岡崎市		平岩藤
七二	五德馬	一臺	岡山縣邑久郡今城村		佐藤壽
七三	五德馬	一臺	岡山縣邑久郡今城村		佐藤壽
七四	代撮馬	一臺	長野縣諏訪郡本郷村		植松祐
七五	碎土機	一臺	埼玉縣大里郡大麻生村		秋谷政
七六	戶部式碎土機	一臺	秋田縣雄勝郡三輪村		戶部常
七七	鎌田式三德碎土機	一臺	秋田縣平鹿郡角間川町		鎌田亥
七八	碎土機	一臺	秋田縣平鹿郡淺舞町		古城和
七九	藤原式碎土機	一臺	秋田縣雄勝郡西馬音内町		藤原長
八二	香西式牛馬掛原動機特號	一臺	大阪府大阪市		小菅唯
八三	馬場式畜力原動機	一臺	栃木縣河内郡明治村		小菅唯
八四	⑤式畜力原動機	一臺	栃木縣宇都宮市		渡邊次
八五	昭和式畜力原動機	一臺	栃木縣宇都宮市		室田和

番號	品名	員數	住出	所品	氏人名
八七	小管式畜力用扱摺機	一臺	栃木縣河内郡明治村		小菅 臺太郎
八八	②式畜力用扱摺機	一臺	栃木縣宇都宮市		渡邊 次郎
八九	小管式畜力用脱穀機	一臺	栃木縣河内郡明治村		小菅 臺太郎
九〇	新案特許②式畜力用稻麥扱機	一臺	栃木縣宇都宮市		渡邊 次郎
九一	福島式畜力用五穀脱穀機	一臺	群馬縣多野郡藤岡町		合資會社 福島商會
九二	小管式畜力用精米麥機	一臺	栃木縣河内郡明治村		小菅 臺太郎

第十四類 飼養管理用具

一	押切	一臺	大阪府大阪市		吉田 直七
二	新案②式 布なし藁切機三本口特許 1ル一枚双	一臺	栃木縣宇都宮市		渡邊 次郎
三	同 二本ロール弓付庖丁使用	一臺	栃木縣宇都宮市		渡邊 次郎
四	本長正式特製二枚及布付草藁切機	一臺	栃木縣宇都宮市		室田 和郎
五	本長正式特製長布付藁切機	一臺	栃木縣宇都宮市		室田 和郎
六	本長正式特製布無草藁切機	一臺	栃木縣宇都宮市		室田 和郎
七	本長正式動力用草藁切機	一臺	栃木縣宇都宮市		室田 和郎
八	本長正式手廻草藁切機	一臺	群馬縣多野郡平井村		春山 末吉
九	春山式藁切機	一臺	群馬縣多野郡平井村		春山 末吉
一〇	沼田式雜穀疵刻兼藁切機	一臺	愛知縣名古屋市		田中 久助

第五部 衛生材料及馬糧
第十五類 衛生材料

一	菅原式藁切機	一臺	秋田縣雄勝郡西馬音内町		菅原 直七
二	鐵根櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
三	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
四	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
五	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
六	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
七	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
八	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
九	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
一〇	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
一一	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
一二	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
一三	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
一四	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
一五	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
一六	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
一七	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
一八	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
一九	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
二〇	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
二一	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
二二	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
二三	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
二四	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
二五	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
二六	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
二七	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
二八	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
二九	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
三〇	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
三一	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
三二	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
三三	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
三四	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
三五	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
三六	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
三七	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
三八	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
三九	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎
四〇	鐵櫛	五個	大阪府大阪市		寺井 幸郎

番號	品名	員數	住出	所品	氏人名
一三	最新式產科器械(胎兒剖截器械)	一式	東京府東京市		松本豐三
一四	最新式產科器械	一式	東京府東京市		松本豐三
一七	裝蹄器	一組	東京府荏原郡大崎町		松本鐵株式會社
一八	釘付眼目	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
一九	角柄目	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
二〇	鐵釘	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
二一	鐵釘	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
二二	裝蹄器	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
二三	裝蹄器	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
二四	裝蹄器	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
二五	裝蹄器	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
二六	鑷形	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
二七	鑷形	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
二八	鑷形	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
二九	鑷形	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
三〇	鑷形	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
三一	鑷形	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
三二	鑷形	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
三三	鑷形	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
三四	鑷形	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社
三五	鑷形	五個	東京府豐多摩郡淀橋町		松本鐵株式會社

一一三

番號	品名	員數	住出	所品	氏人名
二	岸本式聽診器	一個	東京府東京市		松本豐三
三	岸本式打診器	一個	東京府東京市		松本豐三
五	馬打手術器	一揃	東京府東京市		瀧本八十八
(1)	豫防注射用連續注射器				
(2)	馬匹手術臺				
(3)	豫防注射用連續注射器				
(4)	馬尺計				
(5)	傳貧檢査靴				
(6)	北島式雲形去勢刀				
(7)	瀧本式挫切鉗				
(8)	燒灼器具				
(9)	獸醫外科器具				
(10)	瀧本式開口器				
六	挫切鉗(壯馬用)	一個	東京府東京市		松本豐三
七	挫切鉗(普通形)	一個	東京府東京市		松本豐三
八	小西式安全水藥投與器	一個	東京府東京市		松本豐三
九	受胎増進器	一個	東京府東京市		有賀銳一
一〇	特許有賀式馬匹藥液蒸氣吸入器(二頭用)	一個	東京府東京市		有賀銳一
一一	特許有賀式馬匹藥液蒸氣吸入器(一頭用)	一個	東京府東京市		有賀銳一
一二	山田印獸醫用體溫器	五個	東京府東京市		山田清素

一一三

番號	品名	員數	住出	所品	氏人名
八五	防普	一頭分	大分縣別府市		阿南重忠
八六	滑通	一頭分	大分縣速見郡日出町		林健重
八七	蹄蹄	一頭分	大分縣下毛郡耶馬溪村		川內山郎
八八	蹄蹄	一頭分	大分縣下毛郡山口村		秋吉助藏
八九	蹄蹄	一頭分	大分縣大分市		小野勝彦
九〇	蹄蹄	一頭分	茨城縣久慈郡太田町		高星駒之助
九三	蹄蹄	一〇分	東京府荏原郡駒澤町		龍光社製藥部渡邊政治

第十六類 馬糧

一	燕麥	一	長野縣小縣郡長村	小林一幸
二	燕麥	一	群馬縣群馬郡東村	小野里管十郎
三	燕麥	一	群馬縣吾妻郡嬬戀村	戶部彪平
四	燕麥	一	群馬縣吾妻郡嬬戀村	土屋邦次
五	燕麥	一	大分縣直入郡久住村	小野清人
六	燕麥	一	北海道札幌市	谷口甚作
七	燕麥	一	北海道札幌郡札幌村	札幌牧草生産販賣組合
八	燕麥	一	北海道札幌市	札幌牧草生産販賣組合
九	燕麥	一	宮崎縣宮崎市	株式會社五番館
二〇	燕麥	一	岩手縣二戸郡淨法寺村	宮崎縣畜産組合聯合會

一四	大豆	一	青森縣三戸郡倉石村	小原榮吉
一五	大豆	一	青森縣三戸郡倉石村	佐藤直吉
一六	草	一	青森縣三戸郡倉石村	今川今助
一七	草	一	北海道札幌市	谷口甚作
一八	草	一	北海道札幌市	谷口甚作
一九	草	一	北海道札幌郡札幌村	札幌牧草生産販賣組合
二〇	草	一	北海道札幌郡札幌村	札幌牧草生産販賣組合
二一	草	一	北海道札幌市	株式會社五番館
二二	草	一	北海道札幌市	株式會社五番館
二三	草	一	北海道札幌市	株式會社五番館
二四	草	一	北海道札幌市	株式會社五番館
二五	草	一	北海道札幌市	株式會社五番館
二六	草	一	北海道札幌市	株式會社五番館
二七	草	一	北海道札幌市	株式會社五番館
二八	草	一	東京府北豐島郡高田町	窪田善量
二九	草	一	長野縣諏訪郡本郷村	白田清二
三〇	草	一	鹿兒島縣肝屬郡花岡村	富田宗延
三一	草	一	鹿兒島縣肝屬郡垂水町	小野重雄
三二	草	一	岩手縣紫波郡彦部村	鳥谷勝太郎
三三	草	一	青森縣三戸郡舘川村	小野清人
三四	草	一	大分縣直入郡久住町	江藤鶴松
三五	草	一	大分縣玖珠郡森町	阿部恭三
三六	草	一	大分縣直入郡久住町	山部榮吉
三七	草	一	宮城縣黒川郡大衡村	仙臺產馬畜産組合
三八	草	一	宮城縣仙臺市	伊藤金治
三九	草	一	秋田縣南秋田郡太平村	

番號	品名	員數	住出	所品	氏名
四六	萩	—	秋田縣平鹿郡山田村		平元重次郎
四七	野	—	秋田縣仙北郡神代村		佐藤東市郎
四八	野	—	秋田縣河邊郡船岡村		伊藤寅之助
四九	野	—	秋田縣秋田郡前田村		土佐豐治
五〇	野	—	岩手縣二戸郡淨法寺村		三浦由太郎
五一	野	—	岩手縣二戸郡奥中山澤村		上山政吉
五二	野	—	福島縣田村郡大越村		富塚富十郎
五三	野	—	福島縣田村郡瀧根村		吉田金次郎
五四	野	—	秋田縣鹿角郡宮川村		阿部金次郎
五五	萩	—	宮城縣加美郡宮崎村		澁谷政治
五六	萩	—	宮城縣加美郡宮崎村		檜野長之丞
五七	萩	—	宮城縣加美郡宮崎村		今野野次郎
五八	萩	—	岩手縣二戸郡荒澤村		香川勘次郎
五九	萩	—	宮城縣黒川郡大衡村		山路福壽郎
六〇	萩	—	岩手縣盛岡市		吉田與四郎
六一	萩	—	岩手縣二戸郡淨法寺村		田口耕三
六二	萩	—	青森縣三戸郡戸來村		長根寅吉
六三	萩	—	青森縣三戸郡戸來村		小笠原平十郎
六四	萩	—	青森縣三戸郡倉石村		小笠原平十郎
六五	萩	—	青森縣三戸郡倉石村		高谷太藏
六六	萩	—	青森縣三戸郡倉石村		本田源次郎
六七	萩	—	青森縣三戸郡倉石村		本田源次郎

番號	品名	員數	住出	所品	氏名
七一	萩	—	青森縣三戸縣倉石村		奧茂辰之助
七二	萩	—	青森縣三戸縣戸來村		田茂辰之助
七三	萩	—	秋田縣由利郡矢島町		村上繁三
七四	萩	—	秋田縣鹿角郡宮川村		栗山國松
七五	萩	—	東京府北豊島郡高田町		ヤマト種苗農具株式會社
七六	牧草種子「チモシ」	—	長野縣諏訪郡本郷村		窪田善量
七七	牧草種子「チモシ」	—	北海道札幌市		株式會社 五番館
七八	牧草種子「チモシ」	—	北海道札幌市		株式會社 五番館
七九	牧草種子「レッドクローバー」	—	北海道札幌市		株式會社 五番館
八〇	牧草種子「レッドクローバー」	—	北海道札幌市		株式會社 五番館
八一	牧草種子「ホワイトクローバー」	—	北海道札幌市		株式會社 五番館
八二	牧草種子「ルン」	—	北海道札幌市		株式會社 五番館
八三	牧草種子「チモシ」	—	北海道札幌市		株式會社 五番館
八四	牧草種子「オーチャード」	—	北海道札幌市		株式會社 五番館
八五	牧草種子「レッドクローバー」	—	北海道札幌市		第一農園 安部信明
八六	青刈大豆種子	—	宮城縣仙臺市		第一農園 安部信明
八七	燕麥種子「リゴ」	—	東京府北豊島郡高田町		仙臺產馬畜産組合
八八	燕麥種子「リゴ」	—	北海道札幌市		ヤマト種苗農具株式會社
八九	燕麥種子「リゴ」	—	北海道札幌市		株式會社 五番館
九〇	燕麥種子「ビクトリア」	—	北海道札幌市		株式會社 五番館
九一	玉蜀黍種子「ロングフェロー」	—	東京府北豊島郡高田町		ヤマト種苗農具株式會社
九二	豐年印大豆粕	—	東京府東京市		豐年製油株式會社
九三	豐年印大豆粕	—	東京府東京市		豐年製油株式會社
九四	豐年印大豆粕	—	東京府東京市		豐年製油株式會社
九五	馬糞	—	大阪府大阪市		寶田清吉

番號	品名	員數	住 出 所 品		氏 人 名
			住	出	
九八	大 麥 柏	一	群馬縣勢多郡桂荳村		大 塚 治 平
九九	印 ヲ プ ラ ミ ル	一	大阪府大阪市		寶 田 清 吉
一〇〇	甘 藷	一	鹿兒島縣肝屬郡鹿屋町		鹿 屋 袈 裝 太 郎
一〇一	青 豆	一	岩手縣盛岡市		水 原 庄 太 郎
一〇二	青 豆	一	秋田縣河邊郡川添村		秋 田 縣 種 畜 場
一〇三	牧 草	一	秋田縣河邊郡川添村		秋 田 縣 種 畜 場

一三 全國馬匹博覽會出品審査内規

- 第一條 審査部長ハ審査總長ノ裁決ヲ經テ主任審査官ヲ定ムルモノトス
- 第二條 審査員ハ審査官ノ指示ニ從ヒ出品審査ノ補助ヲ爲シ又ハ出品ヲ審査シテ其ノ意見ヲ主任審査官ニ陳述スルコトヲ得
- 第三條 審査官及審査員ハ自己ニ利害關係ヲ有スル出品ノ審査ヲ爲スコトヲ得ス
- 第四條 審査官ハ出品審査規程及審査細目ニ據リ審査評點ヲ爲スモノトス
- 第五條 主任審査官ハ審査官ト合議ノ上各出品ノ綜合評點ヲ定メ審査部長ニ提出スルモノトス
- 第六條 審査部長ニ於テ必要ト認ムルトキハ再審査ヲ爲サシムルコトヲ得
- 第七條 審査部長ハ其ノ部審査官會議ニ於ケル議長トナル
- 第八條 出品ノ擬賞ハ各部審査官會議ニ於テ合議決定ノ上審査總長ノ裁決ヲ仰クモノトス
- 第九條 主任審査官ハ審査終了後直ニ出品ノ概況並批評、擬賞概表(第一號様式)及擬賞明細表(第二號様式)各二通ヲ作製シ審査部長ヲ經テ審査總長ニ提出スルモノトス
- 第十條 各部長ハ審査官連署ヲ以テ出品ノ概況及批評ヲ記載シタル復命書ヲ審査總長ヲ經テ農林大臣ニ提出スルモノトス

第一號様式 擬賞概表

道	出	府	縣	ノ	點	出	品	員	擬	賞	等	級	計	出	品	人員	ニ	對										
										一	等	賞	二	等	賞	三	等	賞	四	等	賞	計	ス	ル	擬	賞	步	合

第二號様式 擬賞明細表

第一部種馬、第二部乘馬、第三部輓馬

名譽賞 (農林省金牌)

種	類	性	名	號	生	年	月	毛	色	住	出	所	品	氏	人	名
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一等賞 (農林省金牌)

種	類	性	名	號	生	年	月	毛	色	住	出	所	品	氏	人	名
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

二等賞 (農林省銀牌)

種	類	性	名	號	生	年	月	毛	色	住	出	所	品	氏	人	名
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

第四部馬ニ關スル器具器械、第五部衛生材料及馬糧

名譽賞 (農林省金牌)

品	名	商	標	又	ハ	名	稱	產	地	住	出	所	品	氏	人	名
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一等賞 (農林省金牌)

品	名	商	標	又	ハ	名	稱	產	地	住	出	所	品	氏	人	名
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

三等賞 (農林省銅牌)

種	類	性	名	號	生	年	月	毛	色	住	出	所	品	氏	人	名
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

四等賞 (賞狀)

種	類	性	名	號	生	年	月	毛	色	住	出	所	品	氏	人	名
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

二等賞(農林省銀牌)

品名	商標又ハ名稱	產地	住所	出品人

三等賞(農林省銅牌)

品名	商標又ハ名稱	產地	住所	出品人

四等賞(賞狀)

品名	商標又ハ名稱	產地	住所	出品人

一四全國馬匹博覽會出品審査規程

出品ノ審査ハ各部類ニ區分シ本規程ニ依リ之ヲ行フモノトス但シ審査ノ細目ニ關シテハ審査部長別ニ之ヲ定ム

第一部 種馬

審査ハ各類毎ニ左記ノ方法ニ依リ之ヲ行ヒ審査簿ハ第一號様式ニ依ルモノトス

- 一 一般審査
- 二 細密審査
- 三 運動審査
- 四 比較審査

一體型

牡馬ハ別記種牡馬體型標準中理想標準ニ近キ體型ノモノ又ハ合格標準ニ合致スル體型ノモノ、牝馬ハ特選牝馬役種別登録體型標準ニ合致スル體型ノモノ又ハ之ニ近キ體型ノモノヲ標準トシ各個體ニ付細部ノ審査ヲ行フモノトス

二運動

- (一) 常歩及速歩ノ牽運動
- (二) 常歩及速歩ノ騎乘又ハ繫駕運動(受胎馬、仔牝馬及調教前ノ三歲馬ヲ除ク)

但シ第一類乃至第三類ノ馬ニハ騎乘運動ヲ、其ノ他ノモノニハ騎乘運動又ハ繫駕運動ノ一ヲ課ス

三 飼養管理

肉付榮養、健康状態、馬體ノ管理、人馬及馬相互ノ親和、習癖等ニ付審査ヲ行フモノトス

四 性能

第二部 乘馬

審査ハ各類毎ニ左記ノ方法ニ依リ之ヲ行ヒ審査簿ハ第二號様式ニ依ルモノトス

一 一般 審査

二 細密 審査

三 能力 審査

四 比較 審査

審査項目左ノ如シ

一 體型及飼養管理

(一) 體型

牡馬ハ別記種牡馬體型標準、牝馬ハ特選牝馬役種別登錄體型標準ヲ參考トシテ各個體ニ付細部ノ審査ヲ行フモノトス

(二) 飼養管理

肉付榮養、健康状態、馬體ノ管理、人馬及馬相互ノ親和、習癖等ニ付審査ヲ行フモノトス

二 能力

(一) 歩 様

常歩及速歩ノ牽運動

(二) 騎乘運動

各種歩度、發進、停止、卷乘及手前變換

(三) 障礙飛越

生籬及横木四個(高サ〇、八〇米以下ノモノ)

(四) 物件馴致

自動車、荷車、箱車、旗等ニ對スル馴致

第三部 轡馬

審査ハ各類毎ニ左記ノ方法ニ依リ之ヲ行ヒ審査簿ハ第三號様式ニ依ルモノトス

一 一般 審査

二 細密 審査

三 能力 審査

四 比較 審査

審査項目左ノ如シ

一 體型及飼養管理

(一) 體型
牡馬ハ別記種牡馬體型標準、牝馬ハ特選牝馬役種別登錄體型標準ヲ參考トシテ各個體ニ付細部ノ審査ヲ行フモ
ノトス

(二) 飼養管理
肉付榮養、健康狀態、馬體ノ管理、人馬及馬相互ノ親和、習癖等ニ付審査ヲ行フモノトス

二 能力

(一) 步樣
常歩及速歩ノ牽運動並緊駕運動

(二) 調教及輓曳狀態

調教(馴致、馭法、緊駕、脫駕等)並平地及傾斜地ニ於ケル輓曳狀態

(三) 心臟及肺臟ノ活力並疲勞ノ程度

(四) 經過時間

備考

一 輕輓馬ト重輓馬ニ對スル能力審査ノ區分ハ積載貨物ノ重量、步度等ニ依リ之ヲ行フモノトス

二 緊駕車輛ハ東京附近ニ於テ使用スルモノトシ馭法ハ乘車式又ハ徒歩式トス

第四部 馬ニ關スル器具器械

審査ハ各類毎ニ所定ノ審査簿ヲ用ヒ別ニ定ムル審査方法ニ依リ左記ノ項目ニ付之ヲ行フモノトス

一 外形

(一) 考案並意匠

(二) 構造ノ強弱、耐久性

(三) 實用的價值

(四) 實用的價值ト價格トノ關係

二 機能

要スレハ實地ニ之ヲ使用シテ其ノ程度ヲ審査スルモノトス

第五部 衛生材料及馬糧

審査ハ各類毎ニ所定ノ審査簿ヲ用ヒ別ニ定ムル審査方法ニ依リ之ヲ行フモノトス

甲 衛生材料

一 各種獸醫器械並蹄治療及裝蹄器具器械ノ審査ハ左記ノ項目ニ付之ヲ行フモノトス

(一) 外形

(イ) 考案並意匠

(ロ) 構造ノ強弱、耐久性

(ハ) 實用的價值

(ニ) 實用的價值ト價格トノ關係

(二) 機能

要スレハ實地ニ之ヲ使用シテ其ノ程度ヲ審査スルモノトス

二 蹄鐵、藥品、消耗品諸材料ノ審査ハ前項ノ審査項目ヲ準用シテ之ヲ行フモノトス
但シ藥品ニ在リテハ日本藥局方ニ準據シ可能ノ範圍ニ於テ其ノ純雜眞贋ヲ檢シ效力檢査ハ之ヲ行ハサルモノトス

乙 馬 糧

主トシテ肉眼審査ニ依リ必要アルトキハ器械審査ヲ爲シ種子ニ在リテハ特ニ發芽力ヲ檢スルモノトス
審査項目左ノ如シ

- 一 種類
- 二 品質
- 三 乾燥
- 四 夾雜物
- 五 包裝

右ノ外出品ノ種類ニ依リ生産狀況價格等ヲ參考トシテ調査ス

全國馬匹博覽會出品審査規程体型標準

種牡馬体型標準

大正十三年五月三十一日
農商務省令第五號

血種	體		高		體高ニ對スル胸圍百分率		管		管	圍	摘	要
	理想	合格	理想	合格	理想	合格	理想	合格				
輕種	四、八〇以上 五、一〇〇以下	五、二五以下 (サラブレッド種) 五、四〇以下	一一三・〇以上	一一〇・〇以上	〇、六二以上	〇、六〇以上	〇、尺	〇、尺				血統純良又ハ骨格拔群ニ 優良ニシテ改良上有益ト 認ムルモノハ本規程ニ據 ラサルコトヲ得體高合格 欄ニ大小ナ区分シタルハ 小格輓馬産地ノ爲ニセリ
中間種	四、八〇以上 五、三〇〇以下	小大 五、四〇〇以下 五、二〇〇以下	一一五・〇以上	一一二・〇以上	〇、六五以上	〇、六三以上	〇、六五以上	〇、六三以上				
重種	五、〇〇以上 五、三五以下	五、四五以下	一一八・〇以上	一一六・〇以上	〇、七〇以上	〇、六五以上	〇、七〇以上	〇、六五以上				

備考 本體型標準ハ種牡馬檢査委員檢査心得中ヨリ拔萃セルモノトス

特選牝馬役種別登録體型標準

昭和二年十一月十六日
二畜局第六七六〇號 畜産局長通牒

役種	體		高		體高ニ對スル胸圍百分率		管		管	圍
	理想	合格	理想	合格	理想	合格	理想	合格		
輕乘馬	四、八〇以上 五、一〇〇以下	五、二五以下	一一三・〇以上	一一〇・〇以上	〇、六二以上	〇、六〇以上	〇、尺	〇、尺		〇、五八以上
重乘馬	四、八〇以上 五、一〇〇以下	五、二五以下	一一四・〇以上	一一一・〇以上	〇、六五以上	〇、六三以上	〇、尺	〇、尺		〇、六〇以上
輕輓馬	四、九〇以上 五、二〇〇以下	五、三〇〇以下	一一五・〇以上	一一二・〇以上	〇、六五以上	〇、六三以上	〇、尺	〇、尺		〇、六二以上
重輓馬	四、九〇以上 五、二〇〇以下	五、三〇〇以下	一一八・〇以上	一一六・〇以上	〇、七〇以上	〇、六五以上	〇、尺	〇、尺		〇、六八以上
小格輓馬	四、五〇以上 四、九〇未滿	五、一〇〇以上	一一六・〇以上	一一四・〇以上	〇、六五以上	〇、六三以上	〇、尺	〇、尺		〇、五八以上

備考 一、「サラブレッド」ニアリテモ産馬改良方針ヲ考慮シ其ノ體型ハ概ネ左記標準ニ據ルコト

體高 五、三〇以下
 胸圍率 一一三・〇以上
 管圍 〇、六〇以上
 二、體高四尺五寸未滿ノ「ボニー」ニアリテハ適宜標準ヲ定ムルコト

第二部 乘馬審査細目

一 採點標準

體型、飼養管理及能力等ノ審査採點ハ馬ノ種類、血統ヲ斟酌シテ左記標準得點ノ範圍内ニ於テ之ヲ行フモノトス

(一) 體型

- 1 體型標準トノ比較 四點
- 2 品位 五點
- 3 對稱 六點
- 4 體格 一五點

(二) 飼養管理

- 1 健康狀態 四點
- 2 疾病損徵 五點
- 3 習癖馴致 三點
- 4 手入護蹄 三點

(三) 能力

- 1 牽運動 一〇點
- 2 騎乘運動 二五點
 - イ 常步 五點
 - ロ 速步 八點
 - ハ 駈步 一二點
- 3 障礙飛越 一五點
- 4 物件馴致 五點

二 能力審査方法

(一) 牽運動

細密審査ノ際常歩及速歩ニテ行フモノトス

(二) 騎乘運動

各類毎ニ概ネ五頭ヲ一班トナシ號令ニ依リ左記ノ運動ヲ行フモノトス

- 1 常歩分解(各騎蹄跡ニ移リタル後韁ヲ伸シテ常歩)
- 2 停止(下馬、乘馬、韁ヲ放チテ)
- 3 常歩ヨリ速歩
- 4 速歩中斜手前變換
- 5 速歩ヨリ短縮速歩

- 6 短縮速歩中卷乗、半卷(各二回)
 - 7 短縮速歩ヨリ速歩
 - 8 速歩ヨリ伸暢速歩
 - 9 伸暢速歩中斜手前變換
 - 10 伸暢速歩ヨリ速歩、速歩ヨリ常歩
 - 11 常(速)歩ヨリ短縮驅歩及ソノ反對(兩手前)
 - 12 短縮驅歩中、卷乗及斜手前變換(各二回)
 - 13 短縮驅歩ヨリ驅歩
 - 14 驅歩ヨリ常歩
 - 15 編列
- (三) 障礙飛越
- 高〇、八〇米ノ生籬、高〇、七〇米ノ横木各二個ヲ方向變換ヲ伴ヒツツ連續飛越セシムルモノトス
- 一 障礙毎ニ減點標準左ノ如シ
 - イ 障礙ニ向ヒ拒止、逃避セルモノ 一回一點 二回三點
 - ロ 障礙ヲ落下轉倒セルモノ 二點
 - ハ 飛越未熟ナルモノ 三點以内
 - ニ 誘導ニ從ハサルモノ及狂奔セルモノ 四點以内
 - ホ 馬ノ轉倒セルモノ 五點

第三部 輓馬審査細目

- (四) 物件馴致
- 但シ全部ヲ通シ十五點以上ニ減點スルコトナシ
- 自動車、荷車、箱車、旗等ノ周圍ヲ一騎宛常歩及速歩ニテ通過セシム
- 一 採點標準
- 體型、飼養管理、能力等ノ審査採點ハ其ノ良否ノ程度ニ依リ左記標準得點ノ範圍内ニ於テ之ヲ行フモノトス
- | | | | |
|----------|-----|-----|-----|
| (一) 體型 | 三〇點 | 幌馬車 | 五〇點 |
| (二) 飼養管理 | 一〇點 | | 一〇點 |
| 肉付榮養 | 三點 | | 三點 |
| 失格損微 | 四點 | | 四點 |
| 惡癖 | 三點 | | 三點 |
| 能力 | 六〇點 | | 四〇點 |
| (三) 調教 | 一五點 | | 一五點 |
| 馴致 | 七點 | | |
| 馭法 | 四點 | | |
- 二輪及四輪荷馬車
- 二輪及四輪荷馬車

一 穀實類
第五部 馬糧審查細目

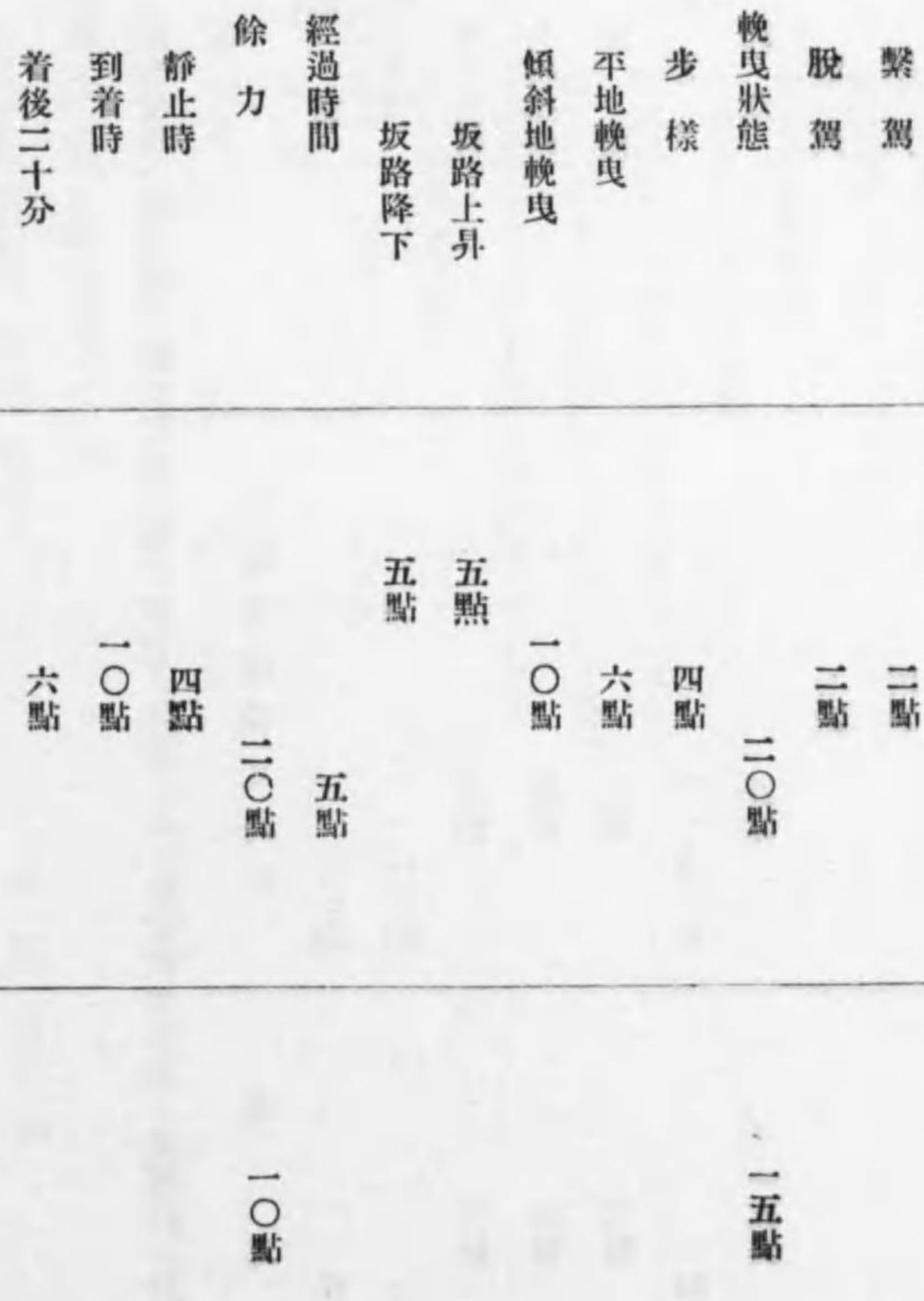
區分	類別	一般審查		比較		審查	
		輕輓馬	重輓馬	輕輓馬	重輓馬	徒歩式	乘車式
車輪	輓馬車	荷二輪及四輪	荷二輪及四輪	荷二輪及四輪	荷二輪及四輪	荷二輪及四輪	荷二輪及四輪
積載重量		九三八班(二五〇 _馬)	一一二五班(三〇〇 _馬)	三七五班(一〇〇 _馬)	四五〇班(一二〇 _馬)	一一二五班(三〇〇 _馬)	一三一二班(三五〇 _馬)
輓曳距離		二二〇〇米	二二〇〇米	一〇〇〇米	一〇〇〇米	一〇〇〇米	一〇〇〇米
步度		常歩	常歩	速歩	速歩	常歩	常歩
經過時間		八分	二五分				
摘要							

備考

一輓馬車ノ比較審查ハ必要ニ應シ之ヲ行フ

二 輓曳審查方法

輓曳能力ノ審查ハ輕輓馬及重輓馬ニ付各之ヲ乘車式及徒歩式ノ二班ニ分チ左記ニ依リ行フモノトス



項目	得點	摘	要
項目	一〇	品種ノ特性	
品質	四〇	色澤、粒ノ肥瘠及整否、香氣、容重、病虫害	
乾燥	一〇	夾雜物ノ多少ニ依ル	
調製	五	實用適否	
俵裝	五		
生産狀況	三〇	一、生産地ノ狀況(イ)産物トシテノ價值(ロ)將來ノ見込	
計	一〇〇	二、出品人ノ經歷(出品物ニ對スル功績等)	
備考			一、容重ハ燕麥ハ一升二百匁、大麥ハ二百八十匁、大豆ハ三百四十匁、玉蜀黍ハ三百五十匁ヲ標準トシ夫ヨリ重キモノハ各十匁ニ付一點ノ割合ヲ以テ増點シ輕キモノハ同シク減點ス
二草類			
項目	得點	摘	要
項目	一〇	品種ノ特性又ハ種類ノ良否	
種類	三〇	色澤、剛軟、香氣、草丈	
品質	一〇		
乾燥	一〇		

項目	得點	摘	要
調製	二〇	不良草ノ多少	
梱裝	一〇	實用適否	
生産狀況	二〇	穀實類ニ同シ	
計	一〇〇		

項目	得點	摘	要
項目	一〇	品種ノ特性	
品質	二〇	色澤、粒ノ肥瘠及整否、香氣、容重、病虫害	
發芽力	二〇	芽歩合ノ多少及發芽性ノ良否	
乾燥	一〇		
調製	二〇	清潔歩合	
生産狀況	二〇	穀實類ニ同シ	
計	一〇〇		

四 産業副産物

五 製造馬糧

種類	品質	夾雜物	包裝	生產狀況	計	得點	摘要
一〇	三〇	二〇	一〇	三〇	一〇〇	原料ノ適否 色澤、形狀ノ整否、香氣、乾燥、容重 多少 適否 穀實類ニ同シ	
一〇	四〇	一〇	一〇	三〇	一〇〇	馬糧價值(營養價值實用上ノ見込) 色澤形狀ノ整否、香氣、乾燥 多少 適否 產額ノ多少 價格ノ高低、出品人ノ經歷	

六 敷料類

項目	種類	品質	夾雜物	梱裝	計	得點	摘要
一〇	五〇	二〇	二〇	二〇	一〇〇	乾燥、剛軟、使用ノ便否 多少 適否	

七 其ノ他ノ馬糧

項目	種類	品質	夾雜物	包裝	生產狀況	計	得點	摘要
一〇	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	一〇〇	色澤、香氣、形狀ノ整否 多少 適否 穀實類ニ同シ	

備考 一、審査ハ主トシテ肉眼審査ニ依ル

二、出品各種類ノ點數及一般の價值ニ依リ各種類毎ニ擬賞率ヲ定メ置クモノトス

第 2 部		乘 馬	出品番號	第 號	審査番號	第 號	第 號	
名 稱		號	體 重				第 類	
種 類		種	體 高				類	
性			胸 圍					
毛 色			管 圍					
生年月	年	月	胸圍率					
産 地			管圍率				出 品 人	
特 徵			騎乘年數					
血 統	父		父					
	母		母					
體 型	體型標準 トノ比較	4			牽運動	10		縣
	品 位	5			能 騎 常步	5		市 郡
	對 稱	6			速步	8		
	體 格	15			力 驅步	2		
	飼 養 管 理	健康狀態	4			障礙飛越	15	
	疾病損微	5			55			
	習癖馴致	3			物件馴致	5		
	手入護蹄	3			總 評 點	100		
評 決								
備 考								

第二號樣式

第 1 部		種 馬	出品番號	第 號	審査番號	第 號	第 號	
名 稱		號	體 重				第 類	
種 類		種	體 高				類	
性			胸 圍					
毛 色			管 圍					
生年月	年	月	胸圍率					
産 地			管圍率				出 品 人	
特 徵								
血 統	父		父					
	母		母					
體 型	體型標準 トノ比較				牽運動			縣
	品 位				能 騎 牽運動			市 郡
	對 稱				繫駕運動			
	頭 頸				飼養管理			
	軀 幹				健 康			村 町
四 肢					性 能			
蹄					評 點			
評 決								
備 考								

第一號樣式

第 3 部		轆 馬		出品番號		第 號		審査番號		第 號	
輕 轆 馬	乘 車 式			重 轆 馬			乘 車 式				
	徒 步 式						徒 步 式				
轆 曳 狀 態 (20點)											
區 分	平地轆曳(6點)		坂路上昇(5點)		坂路降下(5點)		總減點	總得點	摘要		
	數	減點	數	減點	數	減點					
步樣步度											
轆曳意志											
轆曳姿勢											
停止後退											
經 過 時 間 (5點)											
出發時	到着時	所要時間		標準時間		評 點	得 點				
前 時 分	前 時 分	分		分							
後 時 分	後 時 分	分		分							
餘 力 (20點)											
區 分	靜止時(4點)		到着時(10點)		着後廿分(6點)		總減點	總得點	摘要		
	數	減點	數	減點	數	減點					
呼 吸											
脈 搏											
疲 勞 程 度											
備 考											

第三號樣式(裏)

第 4 部		轆 馬		出品番號		第 號		審査番號		第 號	
名 稱			號		體 重				第 類		
種 類			種		體 高				類		
性					胸 圍				出品人		
毛 色					管 圍				縣		
生年月	年		月		胸圍率				市郡		
產 地					管圍率				村町		
特 徵					使用年數						
血 統	父				母						
體 型	標準				轆 步 樣		4				
	卜ノ比較		30		轆 曳 狀 態		平地轆曳		6		
飼 養 管 理	體 格				坂路上昇		5				
	肉付榮養		3		坂路降下		5				
調 教	失格損微		4		經過時間		5				
	惡 癖		3		餘 力		20				
15	馴 致		7		總 評 點		100				
	馭 法		4		違反減點						
15	繫 駕		2		得 點						
	脫 駕		2								
評 決											
備 考											

第三號樣式(表)

第 4 部	馬 = 關 ス ル 器 具 機 械	出品番號	第 號	審査番號	第 號	第五號樣式
名 稱					第十二類	
種 類						
價 格					出品人	縣
考 案						
構 造					市郡	村町
實用的價值						
					縣	市郡
					縣	市郡
機 能					縣	市郡
評 決						
備 考					縣	市郡

第 4 部	馬 = 關 ス ル 器 具 機 械	出品番號	第 號	審査番號	第 號	第四號樣式
名 稱					第 類	
種 類						
價 格					縣	市郡
考 案						
構 造					縣	市郡
材 料						
工 作					縣	市郡
耐 久 力						
實用的價值					縣	市郡
馬體トノ關係						
					縣	市郡
機 能					縣	市郡
評 決						
備 考					縣	市郡

第 5 部	衛生材料及馬糧	出品番號	第 號	審査番號	第 號	第七號樣式	
名 稱							第十五類
種 類							
價 格							衛生材料
考 案							
品 質							
實用的價值							出品人
價格トノ關係							
							縣
						市郡	
機 能						村町	
評 決							
備 考							

第 4 部	馬器具機械	出品番號	第 號	審査番號	第 號	第六號樣式	
名 稱							第十三類
種 類							
價 格							及馬動力用器具
考 案							
構 造							
材 料							出品人
工 作							
要部ノ耐久力							縣
取扱ノ難易							
磨滅部ノ取換法							
馬體トノ關係							
						市郡	
機 能						村町	
評 決							
備 考							

第 5 部	衛生材料及馬糧	出品番號	第	號	審查番號	第	號
種類							第十六類
名稱							
價格							馬
項目	點數	摘要					
品種							糧
品質							
乾燥							出品人
調製物							
俵相裝							縣
發芽歩合							
生産狀況							市郡
							村町
計							
評決							村町
備考							

第九號樣式

第 5 部	衛生材料及馬糧	出品番號	第	號	審查番號	第	號
名稱							第十五類
種類							
價格							衛生材料 (藥品)
考案							
原料							出品人
性狀							
品質							縣
保存期限							
效用							市郡
實用的價值							
價格ノ關係							村町
性能							村町
評決							
備考							

第八號樣式

一五 御大典記念全國馬匹博覽會開催趣意書

帝國競馬協會及帝國馬匹協會ハ茲ニ協力シテ昭和三年十月秋高ク馬肥ユルノ季ヲトシ御大典記念全國馬匹博覽會ヲ東京ニ開催セムトス

謹テ惟ルニ 明治大帝ハ本邦馬事ニ關シ深ク御軫念アラセラレ夙ニ馬産ノ基礎ヲ樹テ給ヒ爾來官民ノ努力極メテ大ナルモノアリシト雖未タ以テ豫期ノ成果ヲ收ムルコト能ハス生産ニ將タ利用ニ尙不振ノ狀アルハ甚遺憾トスル所ナリ此ノ秋ニ方リ全國馬匹博覽會ヲ開催シ生産用ヲ始メ乗用輓用等ニ至ル迄各地ノ代表的良駿ヲ聚メ其ノ體格、資質、能力等ヲ考查シテ全國馬産ノ大勢ヲ觀察シ普ク生産利用兩者啓發ノ料ニ資スルト共ニ馬ノ國防上及産業上如何ニ必要缺クヘカラサルモノナルカ又吾人ノ日常生活ト如何ニ密接ナル關係ヲ有スルモノナルカヲ遍ク公衆ニ知ラシメ以テ一般ニ缺如セル馬事思想ノ普及宣傳ヲ圖ルハ最モ機宜ニ適スル施設ニシテ乃我カ國馬事ノ振興ヲ期スル所以ナリ 恰モ好シ明年ハ 御即位ノ大典アリテ舉國之ヲ奉祝シ之ヲ記念スヘキ秋ニ際會スルノミナラス我カ産馬界ニ於テハ更ニ記念スヘキ競馬法制定後滿五年ニ相當スルモノアリ竝ニ全國馬匹博覽會ヲ開催シ之カ奉祝并記念ノ意ヲ表セントス庶幾クハ江湖諸賢奮テ贊助ヲ給ハラムコトヲ

昭和二年九月

社團法人 帝國競馬協會
社團法人 帝國馬匹協會

一六御大典記念全國馬匹博覽會規則

一五四

第一章 總 則

第一條 本會ハ御大典記念全國馬匹博覽會ト稱シ社團法人帝國競馬協會及社團法人帝國馬匹協會協同シテ之ヲ主催ス

第二條 本會ハ馬ノ改良發達及其ノ利用増進ヲ圖リ併テ馬事思想ノ普及宣傳ヲ爲スヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ東京ニ之ヲ開催ス

第四條 本會ノ開催期間ハ昭和三年十月二十五日ヨリ十一月一日マテ八日間トス

第二章 出 品

第五條 本會ノ出品ヲ分チテ左ノ八部トス

第一部 種 馬

第一類 サラブレッド

第二類 輕 乘 馬

第三類 重 乘 馬

第四類 輕 挽 馬

第五類 重 挽 馬

第六類 小格 挽 馬

第二部 乘 馬

第七類 輕 乘 馬

第八類 重 乘 馬

第三部 挽 馬

第九類 輕 挽 馬

第十類 重 挽 馬

第四部 馬ニ關スル器具器械

第十一類 馬 具

第十二類 馬車及乘車式荷馬車

第十三類 馬利用農具及動力器

第十四類 飼養管理用具

第五部 衛生材料及馬糧

第十五類 衛 生 材 料 (醫療、裝蹄ノ器具器械、蹄鐵及藥品等)

第十六類 馬 糧

第六部 參 考 馬

第七部 參 考 品

第八部 馬事思想普及宣傳ニ關スル出品

第六條 出品ハ左ノ制限ニ依リ且本會ノ承認シタルモノニ限ル

一 第一部ノ出品ハ一戸又ハ一團體一點トシ第二部及第三部ノ出品ハ各類毎ニ一戸又ハ一團體一點トス

一五五

- 二 第一部ノ出品ハ明ケ三歳以上明ケ六歳以下ノモノトシ 第二部及第三部ノ出品ハ明ケ四歳以上ノモノトス
- 三 第一部ノ出品ハ出品人居住道府縣内生産ノモノニ限ル
帝室、國若ハ道府縣ノ所有又ハ其ノ設置ニ係ル牧場、種畜場等ニ於テ生産シタルモノハ第一部ノ出品ト爲スコトヲ得ス
- 四 第二部及第三部ノ出品ハ内國産ノモノニ限ル
- 五 第一部ノ出品ハ出品人ニ於テ昭和三年一月一日以前ヨリ 第二部及第三部ノ出品ハ出品人ニ於テ昭和三年四月一日以前ヨリ引續キ所有シ又ハ管理スルモノニ限ル
- 六 第四部及第五部ノ出品ハ内國産ニシテ出品人ニ於テ生産製造又ハ販賣スルモノニ限ル
出品ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム
- 第七 條 本會ニ出品セムトスル者ハ一點毎ニ別紙様式第一號又ハ様式第三號ノ出品申込書及様式第二號又ハ様式第四號ノ解説書各二通ヲ作り地方廳ヲ經テ昭和三年四月三十日迄ニ本會ニ申込ムヘシ
本會ニ於テ出品ヲ承認シタルトキハ出品申込人ニ對シ様式第五號ノ通知書ヲ交付ス
- 第八 條 第一部乃至第三部ノ出品馬ハ左ノ通り搬入搬出スヘシ

區分	搬入日時	搬出日時
第一部出品馬	昭和三年十月二十四日午後	昭和三年十一月二日
第二部出品馬	昭和三年十月二十八日午後	昭和三年十一月二日
第三部出品馬	昭和三年十月二十四日午後	昭和三年十月二十八日午前

- 第四部、第五部及第七部ノ出品物ハ昭和三年十月十一日ヨリ同十八日迄ニ搬入シ十月二十三日迄ニ陳列ヲ了シ十一月四日迄ニ搬出スルコトヲ要ス
- 第九 條 出品ニ關スル經費ハ凡テ出品人ノ負擔トス但シ第一部乃至第三部ノ出品ニ對シテハ其ノ經費ノ一部ヲ補助スルコトアルヘシ
- 第十 條 出品馬ニ對シテハ搬入ノ際健康診斷ヲ行フ
疾病、惡癖其ノ他ノ事由ニ依リ他ニ危害ヲ及ホス虞アリト認メタルモノハ其ノ搬入又ハ出品ヲ拒絕ス
- 第十一 條 秩序、風俗及衛生ニ害アリト認メタルモノ又ハ發火其ノ他危險ノ虞アリト認メタルモノハ出品スルコトヲ得ス
- 第十二 條 出品人ハ出品物ノ陳列其ノ他ニ關シ本會ノ指揮ニ從フモノトス
- 第十三 條 出品人ハ出品期間中濫リニ出品物ヲ撤去スルコトヲ得ス
出品馬ヲ會場以外ニ宿泊セシメムトスルトキハ本會ノ承認ヲ受クヘシ
- 第十四 條 本會ハ出品物ノ保管ニ關シ注意ヲ爲スト雖損傷、逸走、紛失其ノ他一切ノ損害ニ對シ其ノ責任セス
- 第十五 條 出品馬ニハ本會ヨリ交付スル標札ヲ附スヘシ
- 第十六 條 出品中賣約ヲ爲サムトスルモノハ本會ニ申出ツヘシ
賣約濟ノモノニハ本會ニ於テ賣約濟ノ標札ヲ附ス
- 第十七 條 賣約濟ノモノハ閉會後ニアラサレハ之ヲ引渡スコトヲ得ス
- 第十八 條 出品馬ニハ出品人ニ於テ相當ノ附添人ヲ附スヘシ
- 第十九 條 出品人ノ代理人傭人及出品馬ノ附添人ハ本會ノ諸規則ヲ遵守スヘシ

前項ノ者ノ行爲不行爲ニ關シテハ出品人ニ於テ全責任ヲ負フモノトス

第二十條 本會ニ於テ出品人ニ不正ノ行爲アリト認メタルトキハ出品ノ承認ヲ取消スコトアルヘシ

第三章 審査及褒賞

第二十一條 第一部乃至第五部ノ出品ハ之ヲ審査ス

第二十二條 審査職員ノ組織ハ左ノ如シ

審査總長

審査部長

審査官

審査員

審査總長ハ審査ヲ綜理ス

審査部長ハ審査總長ノ命ヲ受ケ各部出品ノ審査及之ニ關スル事務ヲ分掌ス

審査官及審査員ハ審査部長ノ命ヲ受ケ審査ニ従事ス

審査總長、審査部長、審査官及審査員ハ農林大臣ニ其ノ派遣ヲ請フモノトス

第二十三條 出品審査ノ結果優秀ナルモノニハ褒賞ノ授與ヲ農林大臣ニ申請ス

第二十四條 褒賞ノ種類左ノ如シ

名譽賞

第一部乃至第三部ノ出品ニ就テハ賞金及賞牌

一等賞

第四部及第五部ノ出品ニ就テハ賞牌

二等賞

三等賞

四等賞 褒 狀

第二十五條 出品人ハ審査ヲ辭シ若ハ之ヲ拒ミ其ノ他審査及褒賞ニ對シ異議ヲ申立ルコトヲ得ス

第二十六條 不正ノ行爲又ハ錯誤ニ因リ褒賞ヲ受ケタル者アルトキハ其ノ褒賞ヲ取消シ賞金其ノ他ノ還付ヲ命セララル

ルコトアルヘシ

第二十七條 審査ノ爲出品物ヲ毀損シ又ハ消耗スルコトアルモ出品人ハ其ノ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十八條 第六部乃至第八部ノ出品ニシテ本會ノ目的達成上特ニ有效ト認メタルモノハ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

第四章 組織

第二十九條 本會ニ名譽總裁ヲ奉戴ス

第三十條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 副會長 二名

事務總長 一名 理事 若干名

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故ルトキハ之ヲ代理ス

事務總長ハ本會ノ事務ヲ統轄ス

理事ハ事務總長ヲ補佐シ事務ヲ分掌ス

第三十一條 會長ハ名譽顧問、顧問及贊助員ヲ推薦ス

第三十二條 本會ニ評議員、委員、地方委員各若干名ヲ置キ會長之ヲ依囑ス

評議員ハ重要ナル會務ニ就キ會長ノ諮問ニ應ス

委員ハ會務ニ參與シ必要アルトキハ事務ヲ分擔ス
地方委員ハ地方ニ於ケル本會ノ事務ヲ分擔ス

第三十三條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

幹事 若干名 書記 若干名
技士 若干名

幹事ハ會長ノ命ヲ受ケ事務ヲ處理ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

技士ハ上司ノ指揮ヲ受ケ技術ニ從事ス

會長ハ前項ノ外必要アルトキハ囑託員ヲ置クコトヲ得

第三十四條 會長ハ帝國競馬協會副總裁帝國馬匹協會會頭之ニ當ル

役員並職員ハ會長之ヲ命シ又ハ囑託ス

第五章 觀覽

第三十五條 觀覽時間ハ毎日午前八時ヨリ午後五時マテトス但シ時宜ニ依リ之ヲ伸縮シ若ハ入場ヲ謝絶スルコトアル

ヘシ

第三十六條 入場料ハ一人金五拾錢、下士卒、學生、生徒及七歲以上十五歲未滿ノ者ハ金拾錢トシ七歲未滿ノ者ハ無

料トス但シ五十名以上ノ團體及教員ノ引卒スル學生生徒其ノ他特殊ノ事情アル場合ハ割引シ若ハ無料觀覽セシムル

コトアルヘシ

第三十七條 醉狂、惡癖若ハ嫌忌ノ感ヲ生セシムル者ト認ムル場合ハ入場ヲ謝絶シ又ハ退場セシムルコトアルヘシ

第三十八條 觀覽人ハ會場内ニ畜類ヲ牽入ルルコトヲ得ス
第三十九條 觀覽人ハ出品物ニ手ヲ觸ルルコトヲ得ス

第六章 雜則

第四十條 本會々場内ニ於テ營業ヲ爲サムトスル者ハ別ニ定ムル規程ニ從ヒ本會ノ承認ヲ受クヘシ

第四十一條 本會々場内ニ特ニ建設物ヲ設ケムトスル者ハ其ノ所要面積、使用目的ヲ記載シタル書面ニ設計圖ヲ添ヘ

本會ニ申込ミ其ノ承認ヲ受クヘシ

様式第一號

出品申込書

第何部	第何類	名	稱	種類	性	毛色	體高	生年月日	產地	血統	特徵	所有又ハ 管理期間	賣品又ハ 非賣品
右貴會諸規則ヲ遵守シ出品致度此段申込候也													
年 月 日													
住所 出品人 所有者又													
住所 ハ管理者 氏 名 印													
所有者 住所 氏 名 印													
御大典記念全國馬匹博覽會 御中													

備考

出品人管理者ナルトキハ所有者ノ住所氏名ヲ併記スヘシ

様式第二號

第何部第何類	名稱	種類	毛色	體高	生年月日	產地及生産者住所氏名	血統 (父母及祖父母ヲ明記スルコト)	特微	既往飼育地	所有又ハ管理期間

住所	職業	所有者又ハ管理者	住所	職業	所有者
		氏			氏
		名			名

年 月 日

日ヨリ

- 一番 殖成 績
 - 一 審査請求ノ主眼
 - 一 從來受ケタル褒賞ノ種類等級及會名
 - 一 出品人ノ斯業ニ關スル經歷
- 右ノ通相違無之候也
- 年 月 日

氏 名 印

備考

出品人管理者ナルトキハ所有者ノ住所氏名ヲ併記スヘシ

様式第三號

出品申込書						
第四部 (又ハ第五部、参考品)						
品名	員數	用途	容積	重量	品質形状	賣價摘要
			縦横高			
右貴會規則ヲ遵守シ出品致度別紙目錄相添此段申込候也						
御大典記念全國馬匹博覽會	御中	年 月 日	住所	氏 名	印	

備考

本申込書ハ第四部、第五部及参考品ノ出品申込ニ用ユルモノトス
本申込書ハ各部且各品種毎ニ認ムルモノトス
非賣品ハ賣價欄ニ其ノ旨明記スヘシ

様式第四號

年	月	日	氏	名	印	住所	職業	出品人	氏	名	解	說	書
											一	品	名
一 用品ノ要旨 一 審査ヲ受クル要旨(参考品ニ在リテハ本項ヲ除ク) 一 出品物ノ略歴 一 出品人ノ経歴 一 從來ノ博覽會ニ出品シタルコトアルトキハ其ノ名稱 一 前項ノ博覽會ニ受賞シタルモノハ其ノ等級 一 其ノ他審査ニ必要ナル事項 右之通相違無之候也													

様式第五號

年	月	日	會	名	印	通	知	書
						一	第	何
右出品承認候ニ付本博覽會規則ニ從ヒ御搬入相成度候也 出品人宛								

一七 御大典記念全國馬匹博覽會出品規程

一六六

- 第一條 本博覽會ノ出品ニ關シテハ御大典記念全國馬匹博覽會規則（以下單ニ規則ト稱ス）ニ據ルノ外本規程ニ據ルモノトス
- 第二條 規則第五條第四部及第五部ノ各類ニ屬スル同一品ノ出品ハ一人一點トス
- 第三條 規則第五條ノ出品種別及出品物一點ノ數量ハ別表ノ通トス但シ第四部及第五部ノ出品ニシテ本規程第六條但書又ハ第七條ノ特殊ノ裝飾陳列ヲ爲ス場合又ハ特殊ノモノニ對シテハ別表ノ數量ニ依ラサルコトアルヘシ
- 第四條 規則第五條第四部及第五部ノ出品ハ陳列場所其ノ他ノ都合ニ依リ之ヲ制限スルコトアルヘシ
- 第五條 出品陳列ノ位置及面積ハ本會之ヲ定ム
- 第六條 規則第五條第四部及第五部ノ出品ハ本會ニ於テ其ノ陳列ヲ爲ス但シ特ニ本會ノ承認ヲ得タルモノハ出品人ニ於テ自己ノ負擔ヲ以テ特殊ノ陳列設備又ハ裝飾ヲ爲スコトヲ得
- 前項但書ノ場合ニ於テ出品人ハ出品申込ノ際概略ノ設計書及圖面ヲ添ヘ本會ニ申出ツルモノトス
- 第七條 出品人ニシテ自己ノ負擔ヲ以テ特設館ヲ設ケムトスル者ハ出品申込ノ際規則第四十一條ノ手續ヲ爲スモノトス
- 前項ノ場合ニ於テハ出品人ニ於テ看守人ヲ附スルモノトス
- 第八條 出品人規定ノ期間ニ出品物ノ搬入ヲ爲ササルトキハ出品ノ承認ヲ取消スコトアルヘシ此ノ場合ニ於ケル損害ニ就テハ本會其ノ責ニ任セス
- 前條ノ特設館ヲ本會指定ノ期間ニ竣工セシメサルトキ亦同シ

- 第九條 出品人規定ノ期間ニ出品物ノ搬出ヲ爲ササルトキハ本會ニ於テ之ヲ行ヒ其ノ費用及之ニ因リ生シタル損害ハ出品人ヲシテ辨償セシム
- 第十條 第七條ノ特設館ハ本會指定ノ期間ニ竣工セシメ閉會後五日以内ニ出品人ニ於テ之ヲ取拂ヒ敷地ヲ原形ニ復スヘシ若該期間ニ取拂ヒ復舊ヲ爲ササルトキハ本會ニ於テ之ヲ行ヒ其ノ費用及之ニ因リ生シタル損害ハ出品人ヲシテ辨償セシム
- 第十一條 出品ノ承認ヲ得タル規則第五條第一部乃至第三部ノ出品人ハ馬牽入ト共ニ規則第十八條ノ附添人ノ氏名ヲ本會ニ届出ツルモノトス
- 第十二條 規則第五條第四部及第五部ノ出品ニ對シテハ出品人ニ於テ看守人ヲ附スルコトヲ得
- 前項ノ看守人ヲ附スル場合ハ其ノ氏名ヲ出品人ヨリ本會ニ届出ツルモノトス
- 第十三條 附添人及看守人ニ關スル費用ハ凡テ出品人ノ負擔トス
- 第十四條 附添人及看守人ニ關スル心得ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十五條 規則第五條第六部參考馬、第七部參考品ハ官廳出品及官廳以外ノ出品ノ二種トシ官廳出品ハ宮内省、陸軍省、農林省其ノ他ノ官廳ノ出品ヲ請ヒ官廳以外ノ出品ハ特志家又ハ本會ノ出品トス
- 第十六條 規則第五條第八部馬事思想普及宣傳ニ關スル出品ハ本會ニ於テ買入又ハ借入出品ヲ爲シ或ハ官廳若ハ特志家ノ出品ヲ請フモノトス

別表

第一部 種馬

一頭ヲ一點トス

一六七

第一類 サラブレッド

輕種ニシテ父系二代（父及祖父）以上連續シテサラブレッドナルモノハ本類ニ出品スルコトヲ得

第二類 輕乘馬

輕種ノ血液濃厚ニシテ乗用ニ適スル體格ヲ具フルモノ——アングロアラブ型ヲ標準トス

第三類 重乘馬

中間種ニシテ乗用ニ適スル資質ヲ具フルモノ

第四類 輕挽馬

中間種ニシテ適度ノ體積ヲ有シ輕挽用ノ資質ヲ具フルモノ

第五類 重挽馬

重種ノ血液ヲ享ケ體格重厚ニシテ重貨ノ挽曳ニ適スル資質ヲ具フルモノ

第六類 小格挽馬

小格ニシテ農業其ノ他各種ノ雜役ニ供用スヘキモノ

第一類及第二類ニ屬スル出品ハ社團法人帝國競馬協會ノ血統登錄ヲ經タルモノニ限ル

第二部 乘馬

一頭ヲ一點トス

第七類 輕乘馬

第八類 重乘馬

第三部 挽馬

一頭ヲ一點トス

第九類 輕挽馬

第十類 重挽馬

第四部 馬ニ關スル器具器械

第十一類 馬具

組ノモノハ一組又ハ一具一點、部分品ノ類ハ其ノ容積大ナルモノハ一個一點小ナルモノハ五個一點トス

一、乘馬具

例

乘馬具—鞍、腹帶、頭絡、ゼッケン等ヲ組合セタルモノ 一具一點

鞍、頭絡ノ類附屬品共組ノモノ一組一點

鞍囊、ゼッケン、腹帶、轡、鐙、乘馬服、乘馬靴、乘馬ゲートル、拍車等ノ類一個、一着又ハ一足一點

鞭ノ類 五個一點

二、馬車用馬具

例

乘用馬車用（一頭曳）、輕駕車用、荷馬車用、輕荷馬車用、運搬馬車用、耕耘用一具一點

三、駄馬具

三、駄馬具

例

駄馬具—駄鞍、ムナカヒ、シツカヒ、シツカヒ、頭絡等附屬品共組ノモノ 一具一點

駄鞍、駄馬用頭絡、駄馬用腹帶、鞍下用布圍、ムナカヒ、シツカヒ、シツカヒ等 一個一點

第十二類 馬車及乘車式荷馬車

一、乘用馬車

例

兩割馬車、片割馬車、箱馬車、幌馬車等

二、乘合馬車

三、調教用馬車

例

馴馬車、輕駕車等

四、運搬馬車

例

箱馬車其ノ他ノ運搬馬車

五、荷馬車

例

荷馬車、輕荷馬車

六、乘車式荷馬車

七、撒水馬車

八、其ノ他ノ馬車

第十三類 馬利用農具及動力器

一、馬耕犁類

二、碎土器

三、填壓器

四、中耕器

五、除草器

六、苜取器

七、脫穀器

八、脫稈器

九、原動器

馬ノ力ヲ利用スルモノ

一〇、前記以外ノ器具器械ニシテ馬ノ力ヲ利用スルモノ

二、前記各種器具器械ノ重要ナル部分品及附屬品

例

犁、碎土器、鋤等ノ各種及 五個一點、ベルト、車輪 一個一點

第十四類 飼養管理用具

組ノモノハ一組一點、部分品ノ類ハ其ノ容積大ナルモノハ一個一點、小ナルモノハ五個一點トス

一、手入道具

例

手入道具—木櫛、根櫛、鐵櫛、毛櫛等ヲ組合セタルモノ 一組一點
木櫛、根櫛、鐵櫛、毛櫛等個々ノモノ五個一點

二、厩舎具

例

水輿器、寢張頭絡、飼槽、糞搔、マニユアフオーク等 一個一點
三、其ノ他ノ飼養管理用具

例

手綱、馬衣、結揚、蛇拂、押切、截草器、馬衡器、馬尺計、剔毛器其ノ他ノ飼養管理用具 一個一點

第五部 衛生材料及馬糧

第十五類 衛生材料(獸醫裝飾ノ器具器械、蹄鐵及藥品等)

一、各種獸醫器具器械

組ノモノハ一組一點、個々ノモノハ一個又ハ五個以上ヲ以テ一點トス

(一) 診斷用器具器械

組ノモノ及其ノ内容品又ハ内容品ニアラサルモ本部類ニ屬スヘキモノ

例

診斷器械、檢尿器械、檢微鏡、檢微鏡用具、レントゲン機、孵卵器、蒸氣消毒器等組ノモノ 一組一點
打診器、聽診器、蛋白計、比重計、開口器、ミクロトーム刀等 一個一點

檢温器 五個一點

(二) 治療用器具器械

組ノモノ及其ノ内容品又ハ内容品ニアラサルモ本部類ニ屬スヘキモノ

例

倒馬器、吊馬器、外科器械、眼科器械、齒科器械、産科器械、注射器、吸入器等組ノモノ 一組一點
投藥器、送丸器等個々ノモノ 一個一點
外科刀、ピンセット等個々ノモノ五個以上 一點

(三) 去勢用器具器械

一組又ハ一個一點

(四) 人工授精器

一組一點

二、蹄治療及裝蹄器具器械

一組ノモノハ一組一點、個々ノモノハ五個一點トス

(一) 蹄治療用器具器械

(二) 裝蹄器具器械

三、蹄鐵、藥品、消耗品諸材料

本號ノ出品物(蹄鐵ヲ除ク)ハ硝子瓶其ノ他適當ノ容器ニ收ムルモノトス

(一) 蹄鐵 一頭分一組ヲ以テ一點トス

(二) 藥品 普通賣買ニ用フル一包裝ヲ一單位トシ一種五單位以上ヲ以テ一點トス但シ貴重藥品ノ數量ハ此ノ制限ニ依ラス

(三) 藥品以外ノ消耗品諸材料 其ノ大小ニ應シ大ナルモノハ普通賣買ニ用フル一包裝ノ單位ヲ一點トシ小ナルモノハ五單位以上ヲ以テ一點トス

例

縐帶木綿、ガーゼ等 一單位一點

縫合針及絲、オブゼクトグラス、デツキグラス、ビベット、シャーレー、試験管等 五單位以上一點

第十六類 馬糧

一、穀實類

燕麥、大麥、大豆、玉蜀黍等 一俵以上ヲ一點トシ適當ニ包裝シ別ニ五立(約二升八合)ヲ標本瓶其ノ他ノ硝子瓶ニ收メ見本トシテ添付スルモノトス

二、草類

栽培及牧草自然草 四〇疋(約十貫目)以上ヲ一點トシ帶鐵又ハ堅固ナル繩其ノ他ヲ以テ適當ノ容積ニ結束スルモノトス

三、種子類

穀實及草類ノ種子二立(約一升一合)以上ヲ一點トシ標本瓶其ノ他ノ硝子瓶ニ收ムルモノトス

四、産業副産物

大麥粕、麩、大豆粕、米糠等、四〇疋(約十貫目)以上ヲ一點トシ適當ニ包裝シ別ニ五立(約二升八合)ヲ標本瓶其ノ他ノ硝子瓶ニ收メ見本トシテ添付スルモノトス

五、製造馬糧

四〇疋(約十貫目)以上ヲ一點トシ適當ニ包裝シ別ニ五立(約二升八合)ヲ標本瓶其ノ他ノ硝子瓶等ニ收メ見本トシテ添付スルモノトス

六、敷料類

四〇疋(約十貫目)以上ヲ一點トシ帶鐵又ハ堅固ナル繩其ノ他ヲ以テ適當ノ容積ニ結束スルモノトス

七、其ノ他ノ馬糧

根菜類其ノ他前各號ニ屬セサル馬糧 出品數量、包裝ノ方法、容器等ハ前各號中類似ノ出品物ノ數量包裝及容器ニ準シ別ニ見本ヲ添付スルモノトス

一八 御大典記念全國馬匹博覽會出品審査要領

一七六

出品ノ審査ハ各部類ニ區分シ概ネ左記要領ニ依リ之ヲ行フモノトス但シ審査ノ細目並其ノ方法ニ關シテハ審査ノ際審査總長之ヲ指示スルモノトス

第一部 種 馬

各類毎ニ概ネ左記項目ニ付審査ヲ行フモノトス

一體 型

牡馬ハ別紙種牡馬體型標準中理想標準ニ近キ體型ノモノ又ハ合格標準ニ合致スル體型ノモノ、牝馬ハ特選牝馬登録體型標準ニ合致スル體型ノモノ又ハ之ニ近キ體型ノモノヲ標準トシ各個體ニ付細部ノ審査ヲ爲スモノトス

二 運 動

(一)常歩及速歩ノ牽運動

(二)常歩及速歩ノ騎乘又ハ繫駕運動(受胎馬、仔付牝馬及調教前ノ三歳馬ヲ除ク)

但シ第一類乃至第三類ノ馬ニハ騎乘運動ヲ、其ノ他ノモノニハ騎乘運動又ハ繫駕運動ノ一ヲ課ス

三 飼 養 管 理

四 性 能

第二部 乘 馬

各類毎ニ概ネ左記項目ニ付審査ヲ行フモノトス

一體 型

二 步 樣

常歩及速歩ノ牽運動

三 飼 養 管 理

四 能 力

(一)騎乘運動

各種歩度、發進、停止、卷乘及手前變換

(二)障礙飛越

生籬及横木四個(高サ〇・八〇米以下ノモノ)

(三)物件馴致

自動車、荷車、箱車、旗等ニ對スル馴致

備 考

第二部ノ出品者又ハ特ニ本會ノ承認シタル馬ノ出品者ニシテ特技審査ヲ受ケムトスル者ニハ輕、重乘馬ノ區分

ニ依ルコトナク左ノ二班ニ分チ別紙乘馬特技審査要領ニ依リ審査ヲ行フモノトス

一 馬場馬術

二 障礙飛越

第三部 挽 馬

各類毎ニ概ネ左記項目ニ付審査ヲ行フモノトス

一體 型

一七七

二 步 樣

常歩及速歩ノ牽運動

三 飼養管理

四 能 力

(一) 調教及輓曳狀態

調教(馴致、馭法、繫駕、脫駕等)並平地及傾斜地ニ於ケル輓曳狀態

(二) 心臟及肺臟ノ活力並疲勞ノ程度

(三) 經過時間

備 考

一 輕輓馬ト重輓馬ニ對スル能力審査ノ區分ハ輓曳スヘキ車輛ノ種類、積載貨物ノ重量、輓曳距離、步度ノ配合等ニ依リ之ヲ爲スモノトス

二 繫駕車輛ハ二輪車又ハ四輪車トシ馭法ハ徒歩式若ハ乘車式トス

第 四 部 馬ニ關スル器具器械

各類毎ニ概ネ左記項目ニ付審査ヲ行フモノトス

一 外 形

(一) 考案並意匠

(二) 構造ノ強弱、耐久性

(三) 實用的價值

(四) 實用的價值ト價格トノ關係

二 機 能

要スレハ實地ニ之ヲ使用シテ其ノ程度ヲ検査スルモノトス

第 五 部 衛 生 材 料 及 馬 糧

第 十 五 類 衛 生 材 料

一 各種獸醫器具器械並蹄治療及裝蹄器具器械ノ審査ハ第四部審査項目ニ據リ之ヲ行フモノトス

二 蹄鐵、藥品、消耗品諸材料ノ審査ハ第四部審査項目ヲ準用スルノ外日本藥局方ニ準據シ可能ノ範圍ニ於テ其ノ純雜眞贋ヲ檢シ之ヲ行フモノトス但シ效力検査ハ之ヲ行ハサルモノトス

第 十 六 類 馬 糧

概ネ左記項目ニ付審査ヲ行フモノトス

一 種 類

二 品 質

三 乾 燥

四 夾 雜 物

五 包 裝

右ノ外實用上ノ見込、價格等ヲ參考トシテ審査シ種子ニアリテハ特ニ發芽力ヲ檢スルモノトス

種 牡 馬 體 型 標 準

大正十三年五月三十一日
農商務省令第五號

血種	體		高		管		摘要
	理想	合格	理想	合格	理想	合格	
輕種	四、八〇以上 五、一〇〇以下	五、二五以下 (五、四〇以下)	一一三、〇以上	一一〇、〇以上	〇、六二以上	〇、六〇以上	血統純良又ハ骨格拔群ニ優良ニシテ改良上有益ト認ムルモノハ本規準ニ據ラサルコトヲ得
中間種	四、八〇以上 五、三〇〇以下	五、四〇〇以下 五、二〇〇以下	一一五、〇以上	一一二、〇以上	〇、六五以上	〇、六三以上	體高合格欄ニ大小區分シタルハ小格馬産地ノ爲ニセリ
重種	五、〇〇以上 五、三五〇以下	五、四五〇以下	一一八、〇以上	一一六、〇以上	〇、七〇以上	〇、六五以上	

備考 本體型標準ハ種牡馬検査委員検査心得中ヨリ拔萃セルモノトス
昭和二年十一月十六日二番局第六七六〇號
畜産局長 通牒

特選牝馬役種別登録體型標準

役種	體高	胸圍	體高ニ對スル胸圍百分率		管圍
			理想	合格	
輕乘馬	五、一八〇以上	一一三、〇以上	一一三、〇以上	〇、五八以上	
重乘馬	五、四〇〇以上	一一四、〇以上	一一四、〇以上	〇、六〇以上	
輕挽馬	五、二九〇以上	一一五、〇以上	一一五、〇以上	〇、六二以上	
重挽馬	五、四九〇以上	一一八、〇以上	一一八、〇以上	〇、六八以上	
小格挽馬	四、九〇〇以上	一一六、〇以上	一一六、〇以上	〇、五八以上	

備考 一、「サラブレッド」ニアリテモ産馬改良方針ヲ考慮シ其ノ體型ハ概ネ左記標準ニ據ルコト
體高 五、三〇以下
胸圍率 一一三、〇以上
管圍 〇、六〇以上
二、體高四尺五寸未滿ノ「ボニー」ニアリテハ適宜標準ヲ定ムルコト

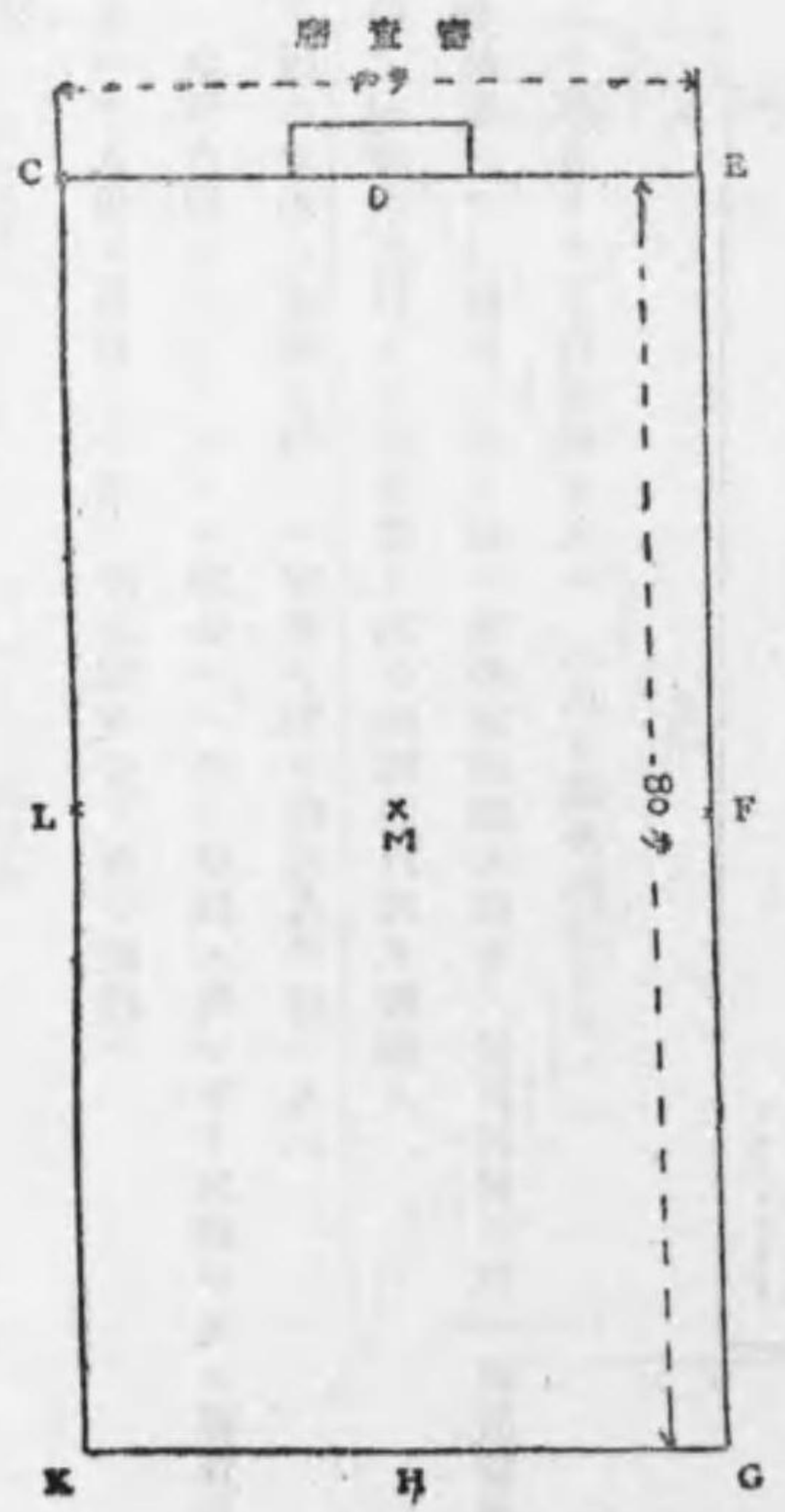
乘馬特技審査要領

特技審査ハ左記要領ニ依リ審査官ノ示ス順序ニ從ヒ參加者一名毎ニ之ヲ行フモノトス

第一 特技審査

一 馬場馬術
(一) 馬場ノ形狀

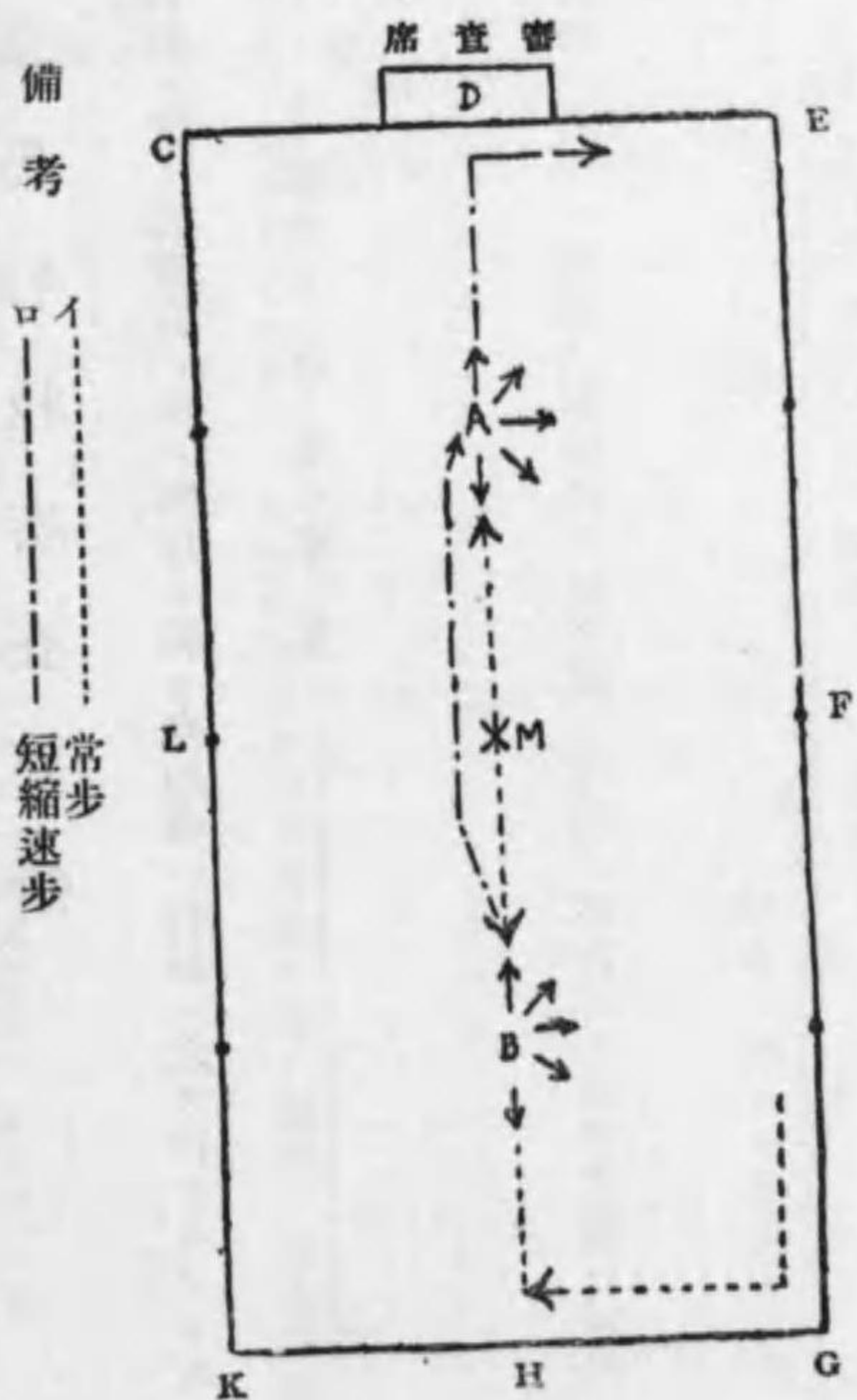
馬場馬術ニ於ケル馬場ノ形狀次ノ如シ但シ會場ノ都合ニテ大サヲ異ニスルコトアルヘシ



(二) 運動及歩度

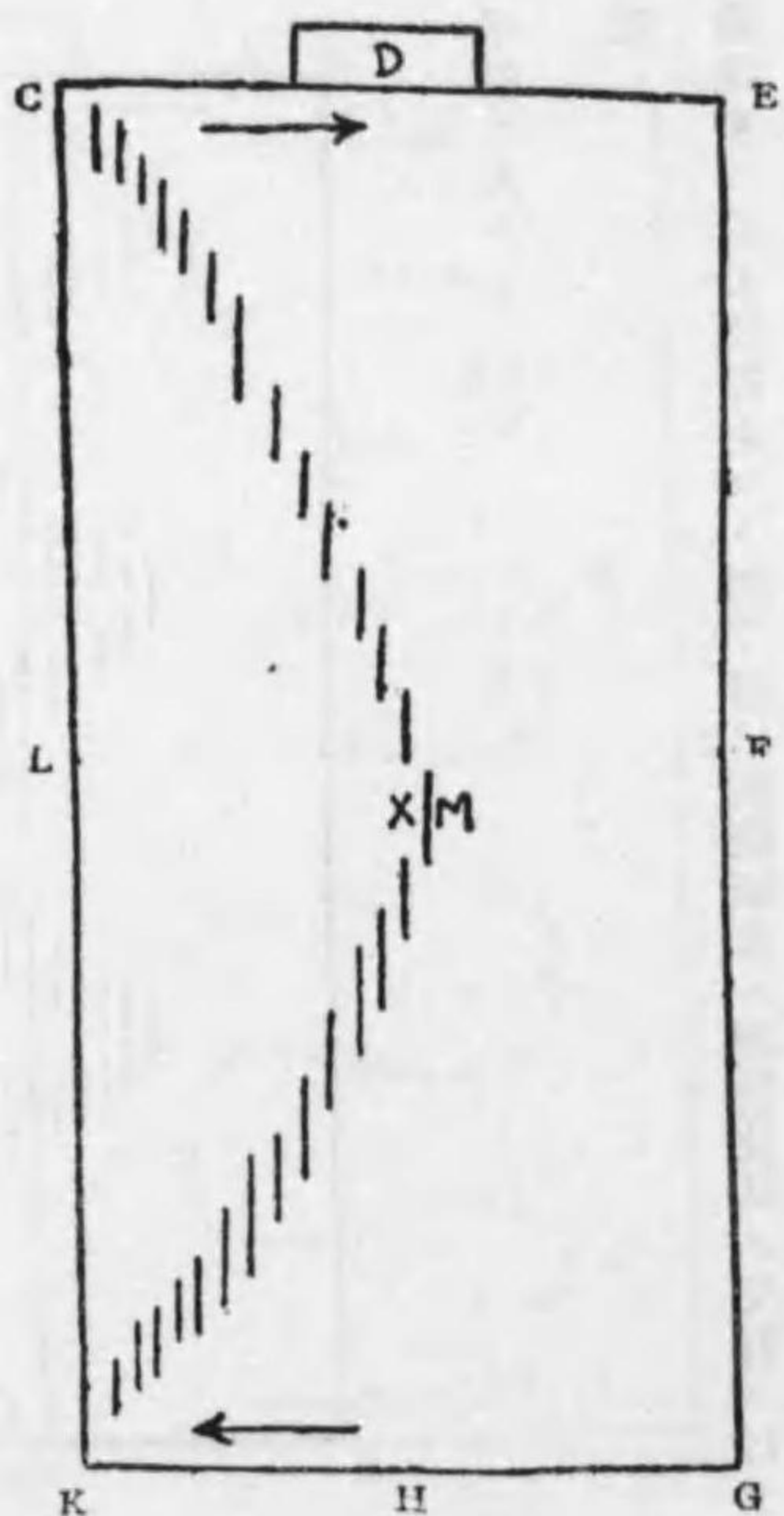
A 常歩作業

1. 常歩ニテ入場シ馬場ノ中央ニ停止審査長ニ面シ敬禮ス
此時 皇族台臨アラセラレタル場合ニハ先ツ皇族ニ對シ奉リ敬禮シ次ニ審査長ニ敬禮ス
2. 鞭ヲ延ハシ馬ノ姿勢ヲ樂ニシ常歩ヲ以テ行進右手前ニ入ル
3. 馬場ノ短邊中央Hヨリ審査席ニ對シ回轉同時馬ヲ收縮ス
4. 數歩前進シタル後Aニ於テ右へ後肢旋回數歩前進ノ後Bニ於テ左へ後肢旋回終リテ速歩トナリ右手前ニ入ル (以下速歩作業トナル)



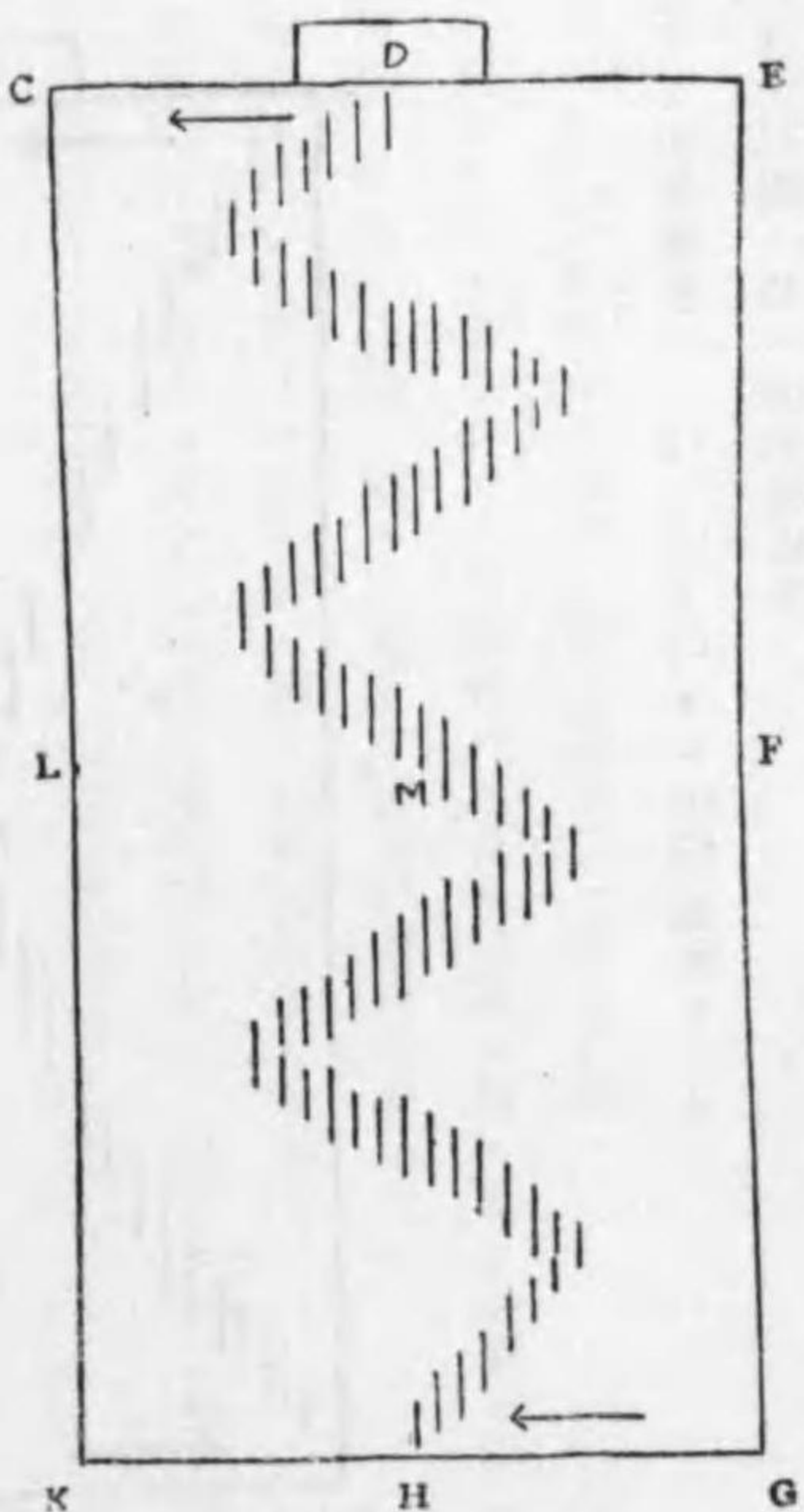
B 速歩作業

5. 馬場一周半行進中速歩ヲ伸縮スルモノニシテ即チDヨリF迄尋常速歩FヨリL迄伸暢速歩(輕速歩ヲトルヘシ)LヨリG迄短縮速歩DヨリG迄伸暢速歩(輕速歩ヲトルヘシ)Gヨリ短縮速歩トナル
6. Kヨリ馬場ノ中央Mヲ經テCニ向ヒ往復手前變換ヲナス



7. Cヨリ尋常速歩ニテGニ至リGヨリ短縮速歩トナル
Hヨリ左圖ノ如ク山形乘横歩

左手前ニ入ル



C 駆歩作業

8. 短縮速歩、常歩及停止ヨリ兩手前ノ短縮駆歩ニ出發及其ノ反對ヲ行フモノニシテ次ノ如ク實施ス

左手前短縮速歩中Lヨリ左手前ノ短縮駆歩トナルKニテ常歩ニ移ル

Hニテ常歩ヨリ左手前短縮駆歩

Fニテ停止不動

Fニテ停止ヨリ左駆歩ニ出發

Eニテ短縮速歩トナリDニテ右手前短縮駆歩ニ移ル

Lニテ常歩Hヨリ右駆歩ニ出發

9.

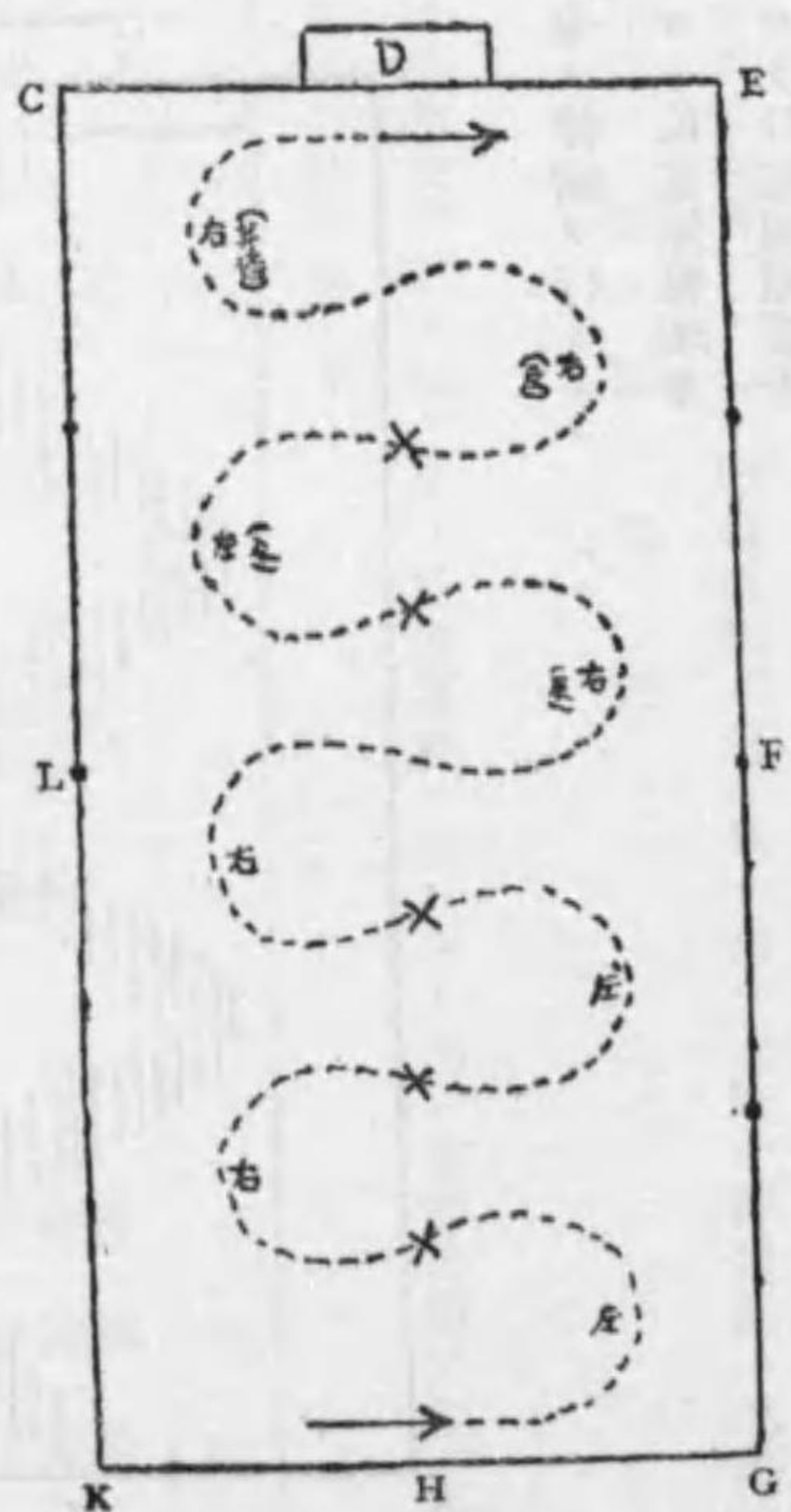
左圖ノ如ク蛇乘ニ入ル(Xノ印ハ踏歩變換點トス)

Lヨリ左駆歩ニ出發

Cニテ短縮速歩トナル

Fニテ停止ヨリ右駆歩ニ出發

Fニテ停止不動



10. 右手前駆歩中Hヨリ左圖ノ如ク山形乘横歩

得 點 表		
運 動 番 號	運 動 ノ 種 類	得 點
1	常歩入場 停止	5
2	自然常歩	4
3	回轉收縮	3
4	後肢旋回 A+B	4+4
5	速歩ノ伸縮	5
6	短縮速歩中往復手前變換	5
7	山形乘	7
8	短縮速歩常歩停止ヨリ短縮駢歩及其反對	6
9	短縮駢歩間蛇乘	5+5
10	山形乘	7
11	駢歩ノ伸縮	5
12	六歩毎ノ踏歩變換	6
13	四歩毎ノ踏歩變換	8
14	三歩毎ノ踏歩變換	11
15	姿勢操作、騎座	10
合 計 得 點		100
備	特種調教得點	
考		

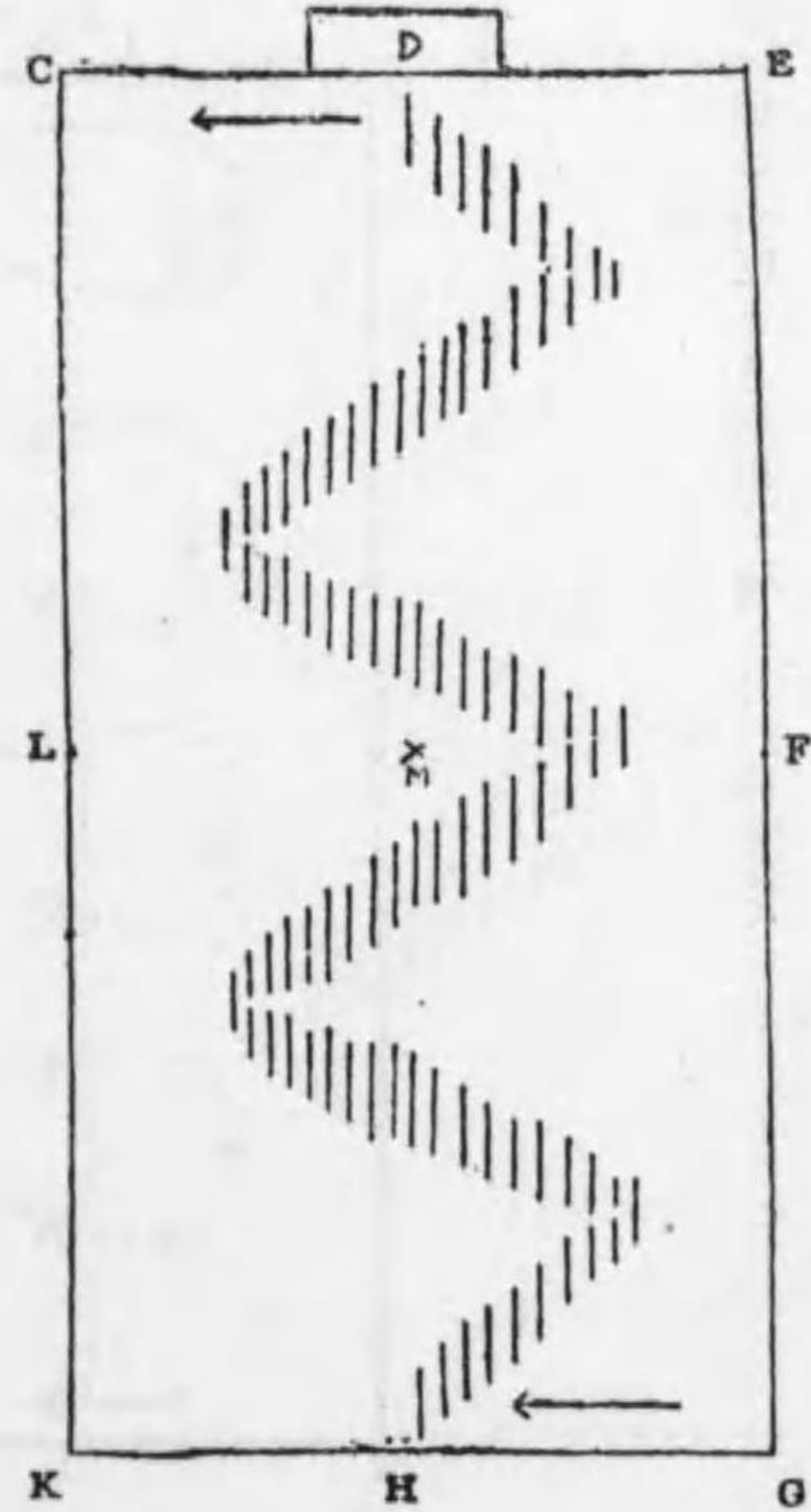
一 馬場馬術
 運動及要求科目得點表ヲ左ノ如ク定メ各種運動ニ於ケル人馬ノ姿勢馬體ノ眞直、步度、步調、運動等ニヨリ採點シ各得點ノ總和ヲ以テ眞得點トス

第二 採 點 基 準

二 障礙飛越
 障礙ノ種類ハ從來ノ競技會及自馬共進會等ニ於テ用ヒラレタル障礙ニ近似セルモノヲ用ヒ其ノ最高一米二〇トシ幅ハ一米五〇ニ至ルモノアリ飛越スヘキ個數ハ十乃至十二個トシ經過時間ハ別ニ限定セス擬賞資格馬ニシテ同點者アル時ハ障礙四個ヲ選ヒ其ノ高ヲ一回十種宛高メ飛越ヲ復行セシム

以上ヲ以テ參加馬ノ行フヘキ運動トス此ノ外特種ノ調教或ハ駢歩踏歩變換ヲ二步又ハ每步ニ行フモノアルトキハ左右各二回ヲ增加實施スルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ相當得點ヲ增加スルモノトス

11. 駢歩ノ伸縮ヲ行フモノニシテ
 CヨリK迄伸暢駢歩
 KヨリG迄短縮駢歩
 GヨリE迄伸暢駢歩
 EヨリC迄短縮駢歩
12. CヨリK迄ノ間ニ於テ六歩毎
 GヨリE迄ノ間ニ於テ四歩毎ノ踏歩變換左右各二回宛行フ
13. CヨリK迄ノ間ニ於テ三歩毎
 馬場ノ中央ニ入り敬禮ス



二 障碍 飛越

- (一) 飛越ニ際スル過失ハ一障碍毎ニ左ニ準シ減點ス
 1. 障碍ヲ落シ若ハ倒シ或ハ水濺ニ肢ヲ墜セシモノ
 2. 幅飛障碍前ノ踏切障碍ヲ落シ又ハ倒セシモノ
 3. 飛越ヲ拒絶逃避スルモノ
 4. 障碍ヘノ誘導ニ從ハサルモノ中途ニテ停ルモノ
 5. 馬ノ倒レシモノ
 6. 騎手ノ落馬
 7. 経路違反
- (二) 成績ノ序列ハ減點數ノ少キモノヲ上位トシ決定ス

〔前肢ニヨルモノノ八點
後肢ニヨルモノノ四點〕
 一回目 四點
 二回目 八點
 三回目 同障碍ノ飛越ヲ斷念セシメ三〇點ヲ減ス

一九 馬事功勞者名簿

(道府縣別いろは順)

北海道	棚川	武隈
同	赤松	豊次
同	平出	五代
同	山本	喜三
青森縣	益川	左衛門
同	古川	太郎
同	一	三郎
岩手縣	伊藤	牧夫
宮城縣	山田	藤彌
秋田縣	山田	左衛門
山形縣	上泉	幸吉
福島縣	大島	要三
同	須藤	千代
茨城縣	佐川	利道

兵庫縣 山口縣 德島縣 愛媛縣 高知縣 福岡縣 佐賀縣 長崎縣 大分縣 宮崎縣 鹿兒島縣 同 沖繩縣

末高興次郎 山本尙文 中山財熊一雄 村上盛一 安岡孜郎 永安權平 桑原芳市 久保喜間 後藤長次 伊集院忍 福留彦七 瀬戸山良吉 神谷夏吉

栃木縣 群馬縣 東京府 同 同 同 同 同 同 新瀉縣 富山縣 石川縣 福井縣 長野縣 岐阜縣 愛知縣

菊地亥之助 片貝新十郎 大庭重治 楠本正敏 山地佐太郎 松平頼壽 伯爵 伯爵 森謙 堀江周平 茶木助松 藤原才一 山本權三郎 武居午之助 都筑與次郎 和出勇次郎

功勞賞授與證

道府縣郡市町村

何 某

右者 夙ニ

功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

昭和三年十一月一日

農林大臣從三位勳二等 山本悌二郎 印

北海道阿寒郡舌辛村

武隈 豊次郎

右者夙ニ地方産馬ノ改良ニ意ヲ用ヒ主畜農業ノ合理的ナルヲ痛感シ卒先シテ牧畜業ヲ興シ馬ノ増殖ニ専念スルコト多年時ニ事業ニ消長アリト雖刻苦精勵之カ挽回ニ努メ或ハ私財ヲ投シテ先進馬産地ノ狀況ヲ視察シ其ノ範ヲ採リテ地方農家ニ獎メ又多數ノ優良馬ヲ生産シテ衆ノ模範トナリ或ハ釧路産馬組合ノ設立ニ盡瘁シ選ハレテ代議員トナリ斯業ノ發達ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

北海道沙流郡門別村

棚川 五平

右者夙ニ産馬業ニ從事シ中間種生産ノ必要ヲ唱道シ卒先シテ輕輓馬ノ蕃殖育成ヲ行ヒ之カ範ヲ示シ門別畜産組合副組合長又ハ組合長トシテ萬難ヲ排シ二歳駒ノ強制出場ニ依リテ市場ノ改善ヲ圖リ其ノ他組合事業ノ進展ニ盡シ或ハ多年ノ懸案タル日高畜産組合ノ合同ヲ主唱シテ之カ實現ニ努メタル等地方馬産ノ改良發達ニ貢獻スル所多大ニシテ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

北海道中川郡池田町

赤松兵三代文

右者夙ニ意ヲ産馬ノ改良發達ニ注キ自ラ牧場ヲ經營シテ馬ノ蕃殖育成ニ努メ幾多ノ優良馬ヲ生産シテ範ヲ衆ニ示シ或ハ優良種牡馬ノ餘勢ヲ一般ニ配給シテ地方産馬ノ資質改善獎勵ニ盡シ又畜産組合總代會議員トシテ斯業ノ發展ニ貢獻スル等産馬ノ改良増殖ニ裨益スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

北海道函館市

勳四等 平出喜三郎

右者夙ニ馬事ノ發達ニ力ヲ致シ自ラ牧場ヲ經營シテ産馬ノ改良ニ努メ或ハ函館市畜産組合長トシテ之カ内容ノ充實事業ノ發展ニ盡シ或ハ函館競馬俱樂部會長トシテ熱誠其ノ經營ニ膺リ時ニ私財ヲ提供シテ財政ノ緩和ヲ圖リ競馬ノ發達ニ貢獻セル等其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

青森縣下北郡田名部町

山本理左衛門

右者夙ニ意ヲ郷土産馬ノ改良ニ注キ舊田名部馬ノ美格保有ヲ唱道シ其ノ畜産組合副組合長トナルヤ産馬改良ノ大綱ヲ定メ種牡馬ノ充實ヲ圖リ或ハ牧野ノ整理改善ニ努メ或ハ基金ヲ造成シテ組合ノ基礎ヲ確立シ又畜産組合聯合會ノ役員トシテ地方産馬ノ振興ニ盡瘁スル所寔ニ多大ニシテ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

青森縣上北郡三本木町

益川東太郎

右者夙ニ力ヲ産馬ノ發達ニ致シ三本木産馬畜産組合長ニ舉ラルルヤ幾多ノ困難ヲ排シ組合ノ債務ヲ整理シ基金ノ造成ヲ企圖シ質實ナル産馬方針ヲ樹テ優良牝馬ノ保留購入補助ノ制ヲ設ケテ種類及體型ノ整理ニ努ムル等組合事業ノ刷新擴張ニ専念シ之カ基礎ヲ確立シ地方産馬ノ改良發達ニ貢獻スル所寔ニ多大ニシテ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

青森縣北津輕郡中里村

勳八等 古川市三郎

右者夙ニ産馬ノ改良ニ力ヲ致シ自ラ優良馬ヲ生産シテ其ノ範ヲ示シ種牡馬ヲ購入シテ當業者ニ無料種付ヲ爲シ又北津輕郡産馬畜産組合ノ設立西北産馬畜産組合ノ併合ニ盡瘁シ多年副組合長又ハ組合長トシテ種牡馬ノ充實ニ努メ或ハ放牧場ヲ設置シ或ハ私財ヲ寄附シテ競馬場ヲ設立シタル等斯業ノ發達ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

岩手縣盛岡市

正八位 一條 牧夫

右者夙ニ馬ノ蕃殖育成ニ關スル學術及實地ノ研鑽ヲ積ミ外山牧場經營ノ任ニ當リ地方産馬ノ改良ニ努メ或ハ牧草燕麥ノ栽培ヲ獎勵シ縣畜産ノ要職ニ聘セラルルヤ輕輓馬生産ヲ縣是トスル産馬方針ノ策立ニ盡瘁シ其ノ官界ヲ去ルヤ縣産馬畜産組合聯合會顧問トシテ當業者ノ啓發指導ニ力メ地方産馬ノ改良發達ニ貢獻シタル所寔ニ多大ニシテ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

宮城縣黒川郡吉田村

勳八等 伊藤藤彌三郎

右者夙ニ産馬業ニ従事シ優良馬ヲ蕃殖シテ範ヲ近郷ニ垂レ或ハ主要馬種ノ自給ヲ提唱シテ燕麥ノ栽培牧野ノ改善ヲ獎勵シ私財ヲ投シテ種付所ノ設置ニ努メ又仙臺産馬畜組合ノ取締トシテ刻苦精勵其ノ經營ニ盡瘁スルコト多年斯業ノ發達ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

秋田縣北秋田縣阿仁合町

山田理左衛門

右者夙ニ父祖ノ遺業ヲ繼承シテ産馬ノ改良ニ志シ或ハ優良種牡馬及蕃殖牝馬ヲ飼養シテ其ノ範ヲ示シ或ハ種牛馬區長トシテ種牡馬ノ充實牧野ノ設置ニ努メ又阿仁合町家畜市場管理ノ任ニ膺リテ業務ノ整理販路ノ擴張ニ盡瘁スルコト多年地方産馬ノ發達ニ貢獻スル所寔ニ多大ニシテ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

山形縣米澤市

勳六等 上 泉 幸 吉

右者夙ニ國防並産業上産馬改良ノ必要ヲ認メ郷土カ産馬適地タルニ拘ハラス生産ニ従事スル者少キヲ嘆シ牝馬所有者ヲ歴訪シテ産馬思想ノ鼓吹ニカメ或ハ種付所ヲ設置シテ蕃殖ヲ獎勵シ又畜産組合ヲ組織シ組合長ニ推サレ馬及馬糧ノ共同購入資金ノ制ヲ設ケ家畜市場ヲ開設シ更ニ米澤乗馬會ヲ創設シテ民間馬術ノ普通ニ盡瘁スル等地方馬事ノ振興ニ貢獻スル所多大ニシテ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

福島縣福島市

大 島 要 三

右者夙ニ意ヲ産馬ノ改良ニ注キ多數優良馬ヲ所有シテ之カ育成ニカムルト共ニ自ラ蕃殖ノ範ヲ示シ其ノ福島競馬俱樂部會頭ノ要職ニ就クヤ熱誠經營ノ事ニ膺リ俱樂部草創ノ時代ニ處シテ克ク其ノ内容充實發達ニ力ヲ致シ以テ競馬ノ健實ナル發展ニ専念スル等本邦馬産ノ振興ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

福島縣東白川郡鮫川村

須 藤 千代之助

右者夙ニ地方産馬ノ改良ニ力ヲ致シ衆望ヲ負ヒテ郡産馬畜産組合長トナルヤ家畜市場ノ開設種牡馬ノ組合有統一組合有牝馬貸付制ノ實現優良牝馬ノ共同購入産駒ノ保留飼養審査會ノ開催放牧地ノ設置功勞者ノ表彰基金ノ造成等諸般ニ亘リ組合經營ノ首腦トシテ刻苦精勵スルコト多年斯業ノ改良發達ニ盡瘁スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

茨城縣多賀郡高岡村

佐 川 利 道

右者夙ニ地方産馬ノ不振ナルヲ憂ヒ優良牝馬ヲ購入シテ蕃殖育成ノ範ヲ示シ私財ヲ投シテ産駒ノ保留ヲ圖リ郡産馬畜産組合副長ニ舉ラルルヤ組合長ヲ援ケテ放牧採草地ノ限定ニ努メ次テ組合長ニ推サルルヤ事業ノ進展及縣畜産組合聯合會ノ設立ニ盡瘁スル等斯業ノ發達ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

栃木縣那須郡那須村

菊地 亥之助

二〇〇

右者夙ニ父祖ノ遺業タル産馬ニ從事シ其ノ改良ニ力ヲ致シ或ハ共同放牧地ノ設置改善ニ努メ或ハ種牡馬ノ充實ヲ圖リ優良牝馬ノ共同購入ヲ企畫シ又産馬畜産組合總代會議員及組合區長トシテ之カ施設經營ニ盡瘁スルコト多年地方産馬ノ改良發達ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

群馬縣吾妻郡岩島村

片貝 新十郎

右者夙ニ産馬ノ有利ナルヲ認メ其ノ改良ニ意ヲ注キ或ハ私財ヲ投シテ種牡馬ノ設置濠洲産牝馬ノ共同購入ヲ企畫シ或ハ自ラ優良馬ヲ生産シテ其ノ範ヲ示シ 大正天皇陛下御大禮ノ際御即位奉祝ノ爲愛馬ヲ献上シテ御採納ノ榮ニ浴シ或ハ家畜市場ヲ開設シテ販路ノ擴張ヲ圖リ又縣畜産組合聯合會役員トシテ其ノ經營ニ盡瘁シタル等地方産馬ノ發達ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

東京府東京市

正七位 大庭 重治

右者夙ニ馬事ノ振興上競馬ノ有效適切ナルヲ痛感シ其ノ東京競馬俱樂部ニ入會スルヤ凡ユル艱難ヲ排シテ之カ經營ニ盡瘁シ多年理事ノ要職ニ在リテ銳意内容ノ充實改善ニ力メ以テ今日アルヲ致シ競馬ノ圓滿ナル發達ニ專念シ近クハ馬事統制上ノ必要ニ鑑ミ帝國馬匹協會ノ設立ニ力ヲ致ス等本邦馬事ノ進展上貢獻スル寔ニ尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

東京府東京市

正四位勳三等 楠 本正敏

右者夙ニ競馬ノ發達ニ意ヲ注キ東京競馬俱樂部ニ於テ監事又ハ理事ノ要職ニ歴任シ凡ユル艱難ニ耐エテ之カ經營ノ衝ニ膺リ以テ同俱樂部ノ今日アルヲ致サシムルト共ニ常ニ競馬ニ關スル研究ニ專念シテ本邦競馬ノ進展ニ盡シ馬事振興上貢獻スル所寔ニ尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

二〇一

東京府 東京市

山地 土佐太郎

右者夙ニ馬事振興ノ必要ヲ痛感シ自ラ乘馬ヲ飼養シテ乘馬趣味ノ鼓吹ニ努メ其ノ神戸乘馬俱樂部ノ會員トナルヤ之カ内容ノ充實擴張ニ專念シ或ハ全國乘馬大會長途騎乘會其ノ他馬事思想普及ニ關スル各種ノ施設ヲ企畫實施シ又日本乘馬協會ノ創立ニ力ヲ致シ次テ馬事統制上帝國馬匹協會ノ組織ヲ唱道シテ之カ設立ニ盡瘁シ現ニ同協會及東京乘馬俱樂部ノ常務理事トシテ銳意馬事ノ進展ニ努力スル等斯業ノ發達上貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜產獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

東京府北豊島郡巢鴨町

從三位勳三等
伯

松平 賴壽

右者夙ニ意ヲ本邦馬事ノ振興ニ致シ自ラ馬ヲ飼養シテ愛馬趣味ノ鼓吹ニ努メ或ハ各種馬事關係團體ノ要職ニ在リテ統制克ク事業ノ發展ニ盡瘁シ全國的馬事ノ統一指導ニ膺リ或ハ屢々私財ヲ投シテ乘馬界ノ興隆ヲ圖リ又競馬ノ健實ナル發達ニ努メ其ノ他馬事思想ノ普及ニ關スル各種施設ヲ勸奨スル等本邦馬事ノ進展上貢獻スル所著大ナリ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜產獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

東京府 東京市

エー、アール、カトー

右者夙ニ日本レースクラブニ入會シ特別理事トシテ尠カラサル犠牲ヲ拂ヒ銳意俱樂部經營ノ衝ニ膺リ殊ニ競馬實施ニ際シテハ常ニ其ノ柱石トシテ多大ノ努力ヲ致シ本邦競馬ノ先驅トシテ斯界ニ貢獻シタル功績寔ニ顯著ナルモノアリ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜產獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

東京府豊多摩郡代々幡町

森 謙 吾

右者夙ニ本邦馬産ノ振興上競馬ノ必要ナルヲ痛感シ日本レースクラブニ入會シテ特別理事トナルヤ内外人ノ協調ニ盡スト共ニ競馬ニ關スル諸種ノ研鑽ニ努メ爾來日本レースクラブ及東京競馬俱樂部ノ監事又ハ理事ノ要職ニ歷任シ實ニ邦人競馬ノ先達トシテ斯界ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜產獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

新潟縣南蒲原郡鹿峠村

二〇四

勳八等 堀江周平

右者夙ニ産馬ノ改良ヲ企圖シ自ラ優良馬ヲ購入シテ蕃殖育成ニ從事シ種牡馬ヲ管理シテ種付ヲ獎勵シ畜産組合副長トシテ刻苦精勵事業ノ進展ニ努メ又縣畜産組合聯合會副會長ニ推サレ會長ヲ補佐シ縣立種畜場ノ設置濠洲牝馬ノ拂下種牡馬ノ充實縣畜産大會ノ開催等ニ盡瘁シ地方産馬ノ改良發達ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

富山縣氷見郡余川村

茶木助松

右者夙ニ農業經營上産馬ノ有利ナルヲ覺リ多數ノ牝馬ヲ飼養蕃殖シテ其ノ範ヲ示シ種付所ノ設置優良牝馬ノ共同購入ニ努メ或ハ郡農會常設委員トシテ畜産部ヲ設置シ有畜農業ヲ勸獎シ更ニ地方産馬ノ體驅纖細ニ傾クヲ憂ヒ畜産改良會ヲ組織シ私財ヲ投シテ之カ改善ニ力メ又産馬畜産組合ヲ設立シ其ノ副組合長ニ舉ケラルルヤ之カ事業ノ進展ニ盡瘁スル等斯界ニ貢獻シタル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

石川縣鳳至郡鷓川村

藤原才一郎

右者夙ニ意ヲ産馬ノ發達ニ致シ自ラ多數ノ牝馬ヲ飼養蕃殖シテ當業者ニ其ノ範ヲ示シ或ハ私財ヲ投シテ種付所ヲ設置シ優良馬ノ生産ニ努メ或ハ家畜市場ヲ開設シテ取引ノ改善販路ノ擴張ヲ圖リ又畜産組合理事トシテ地方産馬ノ改良發達ニ盡瘁スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

福井縣大野郡阪谷村

山本權三郎

右者夙ニ地方産馬ノ不振ナルヲ慨シ自ラ優良牝馬ヲ購入シテ蕃殖育成ニ從事シ其ノ實績ヲ提示シテ當業者ノ啓發ニ努メ或ハ種付所ノ設置ニ盡力シ或ハ畜力厩肥ノ利用ヲ勸獎シテ農業經營ノ改善ニ資シ又郡畜産組合長及縣畜産組合聯合會副會長トシテ常ニ産馬ノ改良増殖ヲ企畫シ其ノ他産業調査會委員トシテ縣畜産施設ヲ確立シタル等地方馬事ノ振興ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

長野縣西筑摩郡三岳村

武居午之助

右者夙ニ意ヲ産馬ノ改良發達ニ注キ自ラ多數ノ種馬ヲ繋養シテ之カ蕃殖ニ努メ或ハ當業者ニ其ノ飼養ヲ獎メ或ハ國有種牡馬ノ種付所設置ニ盡力シ又多年木曾産牛馬畜組合長トシテ組合事業ノ充實發展ニ力ヲ致シタル等斯業ノ發達ニ貢獻スル所多大ナリ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

岐阜縣益田郡川西村

都筑與七郎

右者夙ニ意ヲ産馬ノ改良ニ注キ優良種牡馬ヲ購入シテ當業者ノ種付ニ便シ或ハ多數ノ優良牝馬ヲ購入シテ自ラ之カ蕃殖ノ範ヲ示シ或ハ地方農家ニ貸與シテ其ノ改良蕃殖ニ努メ或ハ馬ノ利用ニ關シ改良駄鞍ヲ考案シテ貨物ノ運搬ニ資シ又厩肥ノ利用馬耕ノ獎勵ニ盡力スル等斯業ノ發達ニ貢獻スル所多大ナリ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

愛知縣東加茂郡下山村

和出勇次郎

右者夙ニ産馬ノ改良ヲ唱道シ自ラ優良種牡馬ヲ購入シテ優良駒ノ生産ニ努メ又居村ニ國有種牡馬ノ種付所設置セラルルヤ諸設備ノ完成ニ奔走シ或ハ努力ヲ提供シ或ハ多年産馬關係組合ノ役員トシテ之カ樞機ニ參與シ斯業ノ發達ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

兵庫縣神戸市

末高興次郎

右者夙ニ民間乗馬振興ノ必要ヲ痛感シ多大ノ犠牲ヲ拂ヒ創メテ大久保馬術練習所ヲ設立シテ乗馬趣味ノ鼓吹ニ努メ又社団法人神戸乗馬俱樂部ノ創立ニ盡力シ其ノ役員トナルヤ熱誠俱樂部ノ經營ニ膺リ或ハ乗馬ニ關スル地方又ハ全國的施設ニ關與シ又屢々私財ヲ提供シテ之カ發達ニ力ヲ致シタル等馬事振興上貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

山口縣下關市

山本 尙文

右者夙ニ馬事振興ノ必要ヲ感シ乘馬ヲ飼養シテ其ノ發達ニ意ヲ注クト共ニ多年小倉競馬俱樂部ノ監事理事ニ歷任シテ銳意經營ノ衝ニ膺リ又帝國競馬協會ノ要職ニ在リテ競馬ノ健全ナル發展ニ盡瘁シ或ハ帝國馬匹協會ノ設立ト共ニ之カ理事トシテ馬事統制ノ樞機ニ參劃スル等本邦馬産ノ振興上貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

德島縣板野郡川内村

中財 熊雄

右者夙ニ郷土産馬ノ改良發達ニ力ヲ致シ自ラ優良牝馬ヲ飼養シテ之カ改良蕃殖ノ範ヲ示シ曩ニハ攝政宮殿下行啓ノ際愛馬ヲ獻上シテ御採用ノ榮ニ浴シ或ハ當業者ヲ糾合シ産馬協會ヲ組織シテ優良産駒ノ生産ニ努メ又畜産組合及畜産組合聯合會ノ役員トシテ常ニ熱誠事ニ膺リ斯業ノ發達ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯ヲ授與ス

愛媛縣周桑郡庄内村

勳八等 村上 盛一

右者夙ニ地方産馬ノ不振ナルヲ慨シ自ラ率先シテ先進産馬地ヲ視察シ自家用ノ外屢々多數ノ優良牝馬ヲ購買移入シ原價ヲ以テ當業者ニ頒チ或ハ國有種牡馬ノ派遣又ハ貸下ニ際シ設備其ノ他ニ關シ私財ヲ投シテ之カ實現ニ努メ或ハ遠乘會及競馬會ヲ開催シ且馬耕ヲ獎ムル等馬事思想ノ普及並之カ利用ノ實地指導ヲ爲シ或ハ畜産組合長トシテ組合事業ノ整備充實ヲ圖リ斯業ノ發展上貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

高知縣幡多郡奥内村

勳七等 安岡 孜郎

右者夙ニ意ヲ産馬ノ改良増殖ニ注キ自ラ多數ノ優良産駒ヲ生産シテ當業者ニ其ノ範ヲ示シ或ハ産牛馬組合ノ創立ニ盡力シ之カ副組合長又ハ畜産組合長トシテ銳意組合ノ内容充實事業ノ發展ヲ企劃シ種畜ノ供給市場ノ開設其ノ他諸種ノ施設ヲ爲シテ斯業ノ發達ニ努メ又畜産組合聯合會長トシテ縣産馬改良上貢獻スル所多大ナリ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

福岡縣筑紫郡水城村

勳七等 永田 權平

右者夙ニ國防並産業上産馬業ノ忽緒ニ附スヘカラサルヲ唱道シ先進地ヨリ屢々多數ノ優良牝馬ヲ共同購入シ自ラ蕃殖ノ用ニ供シテ其ノ範ヲ示シ或ハ筑紫郡畜産會ヲ創設シテ副會長トナリ次テ産馬畜産組合ニ組織ヲ改メ其ノ組合長ニ舉ケラルルヤ終始一貫斯業ノ發展ニ努メ或ハ國有種牡馬ノ派遣及軍馬購買地ノ設置實現ニ盡力シ或ハ家畜市場ヲ開設シテ取引ノ改善ヲ圖リタル等地方産馬ノ發達ニ貢獻スル所多大ナリ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

佐賀郡小城郡三里村

桑原 芳市

右者夙ニ農業經營上畜産ノ必要ヲ認メ自ラ蕃殖牝馬ヲ飼養シテ其ノ範ヲ示シ或ハ畜力及厩肥ノ利用ヲ獎勵シ以テ農家ノ經濟ヲ有利ニ導キ又同志ヲ糾合シテ畜産組合ヲ組織シ副組合長ニ舉ケラレ組合長ヲ補佐シ種牡馬ノ充實優良牝馬ノ共同購入等諸般ノ事業ヲ企畫シ地方産馬ノ改良發達ニ貢獻スル所多大ニシテ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

長崎縣南高來郡神代村

久保 喜間三

右者夙ニ意ヲ産馬ノ改良發達ニ致シ私費ヲ投シテ先進馬産地ヲ視察シ多數ノ種牡馬及蕃殖牝馬ヲ購入シテ自ラ蕃殖ニ從事スルト共ニ地方農家ニ之ヲ貸與シ或ハ種牡馬ノ無料種付ヲ爲シ或ハ幾多ノ困難ト闘ヒ家畜市場ヲ開設シテ取引ノ改善ニ資シ又國有種牡馬ノ種付所設置ニ盡力シテ優良駒ノ生産ニ努メタル等斯業ノ發達ニ貢獻スル所尠カラズ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

大分縣大野郡犬飼町

後藤 長次郎

右者夙ニ産馬ノ業ニ從事シ専心ノ力經營ニ努メ同志ト謀リテ畜産會ヲ組織シ次テ産牛馬組合法ノ發布セララルルヤ自ラ發起トナリテ之カ創立ニ盡瘁シ或ハ多數ノ優良種馬ヲ移入シテ優良馬ノ生産ニ資シ或ハ私費ヲ投シテ屢々先進各地ヲ視察シテ當業者ノ啓發指導ニ努ムル等地方産馬ノ進展ニ貢獻スル所多大ニシテ其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

宮崎縣北諸縣郡高城村

伊集院 忍

右者夙ニ馬事ノ進展ニ志シ其ノ郡畜産組合長トナルヤ優良種畜ノ移入ヲ圖リテ改良蕃殖ノ促進ニ資シ或ハ産駒糶賣市場ノ合同統一ヲ敢行シ更ニ常設家畜市場ヲ經營シテ取引ノ改善ニ努メ或ハ馬事思想ノ普及ニ關スル施設ニ盡瘁シタル等終始一貫組合事業ノ發展ニ力ヲ致シタル等斯業ノ爲貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

鹿兒島縣鹿兒島郡谷山町

福留 彦 七

右者夙ニ力ヲ産馬ノ改良ニ致シ自ラ多數ノ優良牝馬ヲ購入シテ之カ蕃殖ニ努メ又幼駒ノ育成ニ腐心シテ合理的管理調教ヲ行ヒ其ノ範ヲ示シ以テ改良ノ實績ヲ舉ケ或ハ畜産組合聯合會役員及郡産牛馬畜産組合長トシテ銳意組合事業ノ充實發展ニ盡瘁スル等斯業ノ發達ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

鹿兒島縣始良郡山田村

瀬戸 山良 敏

右者夙ニ農村振興上産馬改良ノ緊要ナルヲ認メ自ラ優良馬ヲ生産シテ當業者ヲ啓發シ郡牛馬畜産組合長ニ就任スルヤ實用馬體型ノ整理ヲ畫企シ種牡馬ノ組合有統一優良牝馬ノ移入優良産駒ノ保留等ノ施設ヲ實現シテ始良産馬ノ資質向上ヲ圖リ或ハ牧野ノ整理改善ヲ獎勵シテ芻草ノ增收ニ努メ以テ農家ノ福利ヲ増進シ斯業ノ發達ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

沖繩縣島尻郡東風平村

神谷 夏吉

右者夙ニ意ヲ縣産馬ノ改良ニ致シ自ラ率先シテ産馬畜馬組合ノ組織ヲ唱道シ其ノ成ルヤ組合長ニ舉ケラレ種牡馬ノ充實ヲ圖リテ實用的産馬ノ改良ニ努メ或ハ之カ販路ヲ擴張シテ取引ノ改善ニ資スル等専心組合事業ノ發展ニ盡瘁シ斯業ノ振興ニ貢獻スル所尠カラス其ノ功勞賞スヘシ仍テ畜産獎勵規則第十二條ニ依リ銀杯一組ヲ授與ス

第二各部復命

第一部種馬

審査部長	從三位勳二等	南澤時義
審査官	農林技師	横屋潤
同	同	佐々田伴久
同	種馬牧場技師	堀三梯
同	陸軍技師	野澤兵四郎

本會ニ種馬ヲ出陳セル地方ハ一道二十九縣ニ及ヒ産馬地ヲ全部網羅シ總頭數九十頭ニシテ之ヲ地方、性、年齢及類ニ區分スレハ別表ノ如シ
尙又各類毎ニ血種ニ區分スレハ別表ノ如シ

其ノ出陳頭數ヲ大正十年ノ畜産博覽會ニ比スルニ二十二頭ノ減ニシテ大正十二年ノ平和博覽會ニ比スルニ十五頭ノ増トナリ其ノ出陳頭數ニ於テハ前二回ニ比シ大差ナキモ時代ノ要求ト馬産ノ進歩トニヨリテ前二回ハ乘馬、輕輓馬及重輓馬ノ三部門ニ類別セルニ對シ本回ハサラブレツド、輕乘馬、重乘馬、輕輓馬、重輓馬及小格輓馬ノ六部門ニ類別セリ
審査ハ豫メ其方針ニ據リ十月二十五日午後及二十六日大體審査並ニ馬體測定二十七日及二

十八日午前細密審査二十八日午後運動審査二十九日午前比較審査ヲナシ以テ之ヲ終了セリ
今其ノ概評ヲ試ムレハ左ノ如シ

サラブレッド、最近競馬ノ隆昌ニ伴ヒ其ノ進歩ノ跡著シク馬格並性能ノ改善見ルヘキモノ
アリ殊ニ從來較モスレハ其ノ骨量及鍛練ノ點ニ於テ缺陷アリシ東北及九州産馬ノ其ノ面目
ヲ一新シタルハ畢竟人力ノ妙ニヨルモノニシテ特ニ青森及鹿兒島ノ兩縣ニ於テ其ノ然ルヲ
見ル之ニ比シ土地廣濶ニシテ其ノ飼養ニ好條件ヲ具備スル北海道ニ在リテ却テ人事ヲ盡サ
サルモノアルヲ憾ム

輕乘馬、本類ニ於テハ青森縣ハ依然頭角ヲ表ハシ從來馬格ノ美ニ對シ運歩ノ堅確之ニ副ハ
サル缺點アリシカ本回ハ略其ノ缺點ヲ除去セルハ賞スヘシ他ノ奥羽地方ハ其馬格稍整備シ
殊ニ福島縣ニ於テ其ノ努力ノ跡ヲ見ル九州及中國地方ニ在リテハ用途ニ對スル體型能力ノ
上ニ於テ更ニ研究ヲ重ヌルノ要アリ而シテ以テ其ノ生産飼育ヲ行ハハ一層良好ノ成果ヲ舉
ケ得ヘシ

重乘馬、本類ノ馬匹ハ輕乘馬ヨリ派生スルモノナルヲ以テ其ノ出陳頭數ノ少クシテ福島
三、宮崎二、計僅ニ五頭ニ過キサルハ寧口當然ノ事ニ屬スヘシト雖モ概ネ其ノ用途ニ對シ
體型能力ノ具ハレルヲ見ル

輕挽馬、本類ハ帝國馬産ノ根幹ヲ成スモノニシテ其ノ改良ノ跡著シキハ慶賀ニ堪ヘス殊ニ
岩手ハ頭角ヲ表ハシ出陳馬ノ體型概ネ整備シ能力亦向上セルモ猶四肢ニ缺陷アルモノアリ
長崎ハ軀肢ノ整備著シキモ稍軟弱ノ嫌アリテ運歩可良ナラサルモノアリ北海道ハ強健ナレ
トモ天惠ニ比シ人力足ラス其ノ飼育ニ改善ノ餘地尠カラス秋田ハ血液ノ調和ニ於テ其ノ苦
心ヲ認ムルモ寬裕ナルモノナキヲ遺憾トス大分ノ躍進セルハ喜フヘク佐賀及德島ハ各一頭
宛ノ出陳ナルモ其ノ出陳馬ハ努力ノ結晶トモ稱スヘク嘆賞ニ値ス關東地方中部地方及中國
地方ハ其ノ生産條件ノ不利ナル點ハ同情ニ價スヘク本回ノ出陳馬ノ如キ成績ヲ得タルハ眞
ニ其ノ努力ノ賜ト云フヘシ但シ輕挽馬産地トシテ相當矚目セラレシ青森及鹿兒島ノ兩縣ヨ
リ一頭ノ出陳ナカリシハ遺憾ニ堪ヘス

重挽馬、本類ハ出陳僅ニ二頭ナリト雖モ其ノ小型トナレルハ喜フヘシ現在ニ在リテハ其ノ
利用範圍未タ狹シト雖モ將來相當ノ需要ヲ必スヘシ更ニ軀體ノ整備ト四肢ノ改善ニ意ヲ用
ユルヲ要ス

小格挽馬、本類ハ本會ニ於テ名實共ニ初メテ認メラレタル部門ト云フヘク其ノ體型小ニシ
テ農耕用ニ適スルモノノ爲ニ設ケラレタルモノナリ出陳十四頭ヲ算シ其ノ區域ハ關東、中
部、近畿、中國及四國ニ亘リ成績相當見ルヘキモノアリ農耕用トシテ實際ノ需用ニ適合ス

ルモノ少カラサルハ喜フヘシ更ニ其ノ生産ノ増加ニ工夫ヲ要ス
 之ヲ要スルニ本回ノ出陳馬ハ競馬ノ刺戟ト馬産家ノ苦心トニアリテ其ノ改善進步ノ跡見ル
 ヘキモノアルハ慶賀ニ堪ヘサル所ニシテ又此ノ種共進會トシテハ新例タル六類ノ部門ニ對
 シ各別ニ適當セル體格能力ヲ有スル馬匹ノ出陳ノ見タルハ帝國馬産ノ向上進歩ヲ語ルモノ
 ニシテ尙一層ノ努力ヲナサハ豫定ノ成績ヲ收ムルハ敢テ困難ニアラサルヘシ

地方、性、年齢及役種別頭數表

地方	出品		年別										類別					
	總頭數	壯	三才	四才	五才	六才	七才	八才	九才	十才	十一才	十二才	サラブレッド	輕乘馬	重乘馬	輕挽馬	重挽馬	小格挽馬
北海道	一〇	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
青森	八	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
岩手	八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宮城	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
秋田	七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山形	七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福島	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
茨城	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
栃木	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
群馬	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
千葉	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

地方	出品		年別										類別					
	總頭數	壯	三才	四才	五才	六才	七才	八才	九才	十才	十一才	十二才	サラブレッド	輕乘馬	重乘馬	輕挽馬	重挽馬	小格挽馬
富山	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石川	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山梨	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長野	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
岐阜	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
愛知	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
兵庫	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鳥取	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
島根	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
岡山	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
廣島	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
徳島	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高知	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐賀	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長崎	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
熊本	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大分	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宮崎	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿児島	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	九〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

類別血種別頭數表

年齡	性	頭數	體重	體高	胸圍	管圍	胸圍率
三歲	牝	六	一〇八、一六	四、九〇	五、五五	〇、五八	一一三、三
三歲	牝	二	一一九、七〇	五、一〇	五、七一	〇、六三	一一二、〇
三歲	計及平均	八	一一一、一三	四、九五	五、六〇	〇、六〇	一一三、一
四歲	牝	五	一二八、一八	五、〇一	五、八四	〇、六〇	一一六、六
四歲	牝	二	一二七、一〇	五、〇七	五、八六	〇、六三	一一五、六
四歲	計及平均	七	一二七、八七	五、〇二	五、八五	〇、六一	一一六、五
五歲	牝	一	一二九、五〇	五、一四	五、九〇	〇、六〇	一一四、八
六歲	牝	一	一三七、五〇	五、〇〇	六、一〇	〇、六二	一二二、〇

重乘馬

年齡	性	頭數	體重	體高	胸圍	管圍	胸圍率
三歲	牝	四	一二六、五〇	五、〇八	五、八四	〇、六二	一一五、九
四歲	牝	一	一四四、〇〇	五、二〇	六、一四	〇、六二	一二八、一

輕輓馬

年齡	性	頭數	體重	體高	胸圍	管圍	胸圍率
三歲	牝	二	一三一、六八	五、〇四	五、八七	〇、六四	一一六、五
三歲	牝	四	一三九、〇〇	五、〇八	五、八六	〇、六七	一一五、四
三歲	計及平均	一六	一三三、五一	五、〇五	五、八六	〇、六五	一一六、〇

年齡	性	頭數	體重	體高	胸圍	管圍	胸圍率
四歲	牝	二	一三六、五三	五、〇三	六、〇一	〇、六四	一一九、五
四歲	牝	一	一三四、〇〇	五、一〇	五、九三	〇、六四	一一六、三
四歲	計及平均	一四	一三六、一七	五、〇四	六、〇〇	〇、六五	一一九、〇
五歲	牝	六	一四五、一〇	五、一〇	六、一一	〇、六五	一二九、八
五歲	牝	一	一四〇、五〇	五、一一	六、〇二	〇、六四	一二七、八
五歲	計及平均	七	一四四、四〇	五、一〇	六、一〇	〇、六四	一二九、六
六歲	牝	一	一三七、〇〇	五、二〇	五、九〇	〇、六四	一二三、五
六歲	牝	一	一五四、五〇	五、一六	五、九七	〇、六九	一一五、七
六歲	計及平均	二	一四五、八〇	五、一八	五、九四	〇、六七	一一四、七

重輓馬

年齡	性	頭數	體重	體高	胸圍	管圍	胸圍率
四歲	牝	一	一七七、五〇	五、一六	六、五〇	〇、七五	一二六、〇
三歲	牝	一	一六二、〇〇	五、〇〇	六、三二	〇、七三	一二六、四

小格輓馬

年齡	性	頭數	體重	體高	胸圍	管圍	胸圍率
三歲	牝	四	一一一、六三	四、八五	五、六〇	〇、六一	一一五、五
四歲	牝	五	一二三、四〇	四、九二	五、七三	〇、六二	一一六、五
五歲	牝	三	一二三、三三	四、八七	五、七五	〇、六〇	一一八、一
六歲	牝	二	一三一、二五	四、九〇	五、九六	〇、六〇	一二一、六

第二部 乘馬

三三四

審査部長	陸軍少將	吉岡豊輔
審査官	陸軍騎兵大佐	荒井久
同	陸軍二等獸醫正	柏五郎
同	陸軍騎兵中佐	山本寛
同	農林技師	堀尾正朔

本部ノ出品馬ハ輕乘馬二十六頭、重乘馬八頭計三十四頭ニシテ之ヲ道府縣ニ區別スレハ北海道、青森縣、山形縣、群馬縣、神奈川縣、愛知縣、京都府、岡山縣、山口縣各一頭、東京府十頭、大阪府九頭、兵庫縣六頭、之ヲ種類ニ區別スレハ洋種二十三頭、雜種十一頭又之ヲ產地ニ區別スレハ青森縣ノ十頭ヲ最多トシ北海道ノ七頭、千葉縣ノ六頭、岩手縣ノ五頭、宮城縣ノ四頭之ニ次キ神奈川縣、鹿兒島縣各一頭ナリ

一體型

資質適良ニシテ體型概ネ諧調ヲ得殊ニ血統ニ對スル著意進歩ノ結果血種向上シ品位ニ富

ミ悍威良好、體格亦強健ナルヲ認ムルモ躰幅ニ乏シク又ハ上躰ニ比シ四肢ノ堅實ヲ缺キ使役管理ノ失宜ト相倚リ重要損傷ヲ發生シテ實役上ノ價值ヲ疑ハルルモノ若干アリ輕、重乘馬ノ區分ハ概ネ適當ナルモノ、三變更ヲ要シタルモノアリ

二 飼養管理

榮養ハ一般ニ良好ニシテ殊ニ平素ニ於ケル愛育ニ依リ肉附堅肥被毛光澤ヲ呈シ資格ニ一段ノ光彩ヲ副ヘアルモノ尠カラサルハ欣フヘキ現象ナルモ尙向上ノ餘地アルモノ若干アリ

護蹄ハ概ネ良好ナルモ平素ノ管理不良ノ爲慢性蹄病ニ罹レルモノ竝四肢ノ重要損傷ニ對シ裝蹄上手段適切ヲ缺クモノアリ

牽馬及馬體検査等ニ於テ往々沈靜ヲ缺クモノ尠カラサルハ馴致上注意ノ要アリ

三 能力

能力ハ其ノ審査ノ方法ニ於テ從來ニ比シ進歩セルモノアリ雖未タ其ノ用途ニ對シ眞諦ニ觸ルルノ程度ニアラサリシヲ以テ今直チニ之レニ對スル正當細密ナル批判ヲ下シ得サルモ近時能力ニ對スル著意一般ニ向上シ其ノ實績亦騎手ノ技倆ト共ニ進歩ノ良況ニアルヲ

三三五

認ムルハ大ニ慶賀スル所ナリ然レトモ往々使役調教ノ途ヲ誤リ馬ノ素質ニ比シ過重ノ要
 求ヲナシ或ハ騎乗、制御ノ方法適切ナラサルタメ十分ニ其ノ天稟ヲ發揮シ得サルモノア
 リ特ニ馴致至ラサルタメ能力ノ發揚ヲ阻害スルモノ及受衝不良ニシテ姿勢、步調高揚ニ
 過キ爲ニ後肢ヲ過勞セシムルモノ尠カラス一層馴致力爾他調教ノ基礎タル觀念ヲ高潮シ
 馬ノ個體ト用途トニ適應スル姿勢ノ附與ニ努メ縱令障礙飛越用馬ニアリテモ先ツ其ノ口
 向キヲ作り常ニ扶助調教ト飛越能力トノ併進ヲ圖ルノ着意周密ヲ要スルモノアリト認ム

四 所 見

馬ノ血種竝素質ハ逐年進歩ノ道程ニアルニ拘ラス之レカ管理上ノ智識ト調教上ノ技能ト
 ニ關スル普及ノ未タ之レニ伴ハサルモノアルヲ遺憾トス特ニ主要都市以外ノ地方出品馬
 ニ於テ其ノ感ヲ深クス今回出品者ノ大部カ殆ト都市在住者ニ偏シ生産地竝其ノ他ノ地方
 ヨリノ出品馬極メテ寥々タリシハ其ノ起因スル所種々アランモ一ツハ適切ナル調教竝之
 レカ指導ノ機關ヲ缺クニ存スルモノアルカ如シ之レカタメニハ當事者ハ一面産馬ノ向上
 伸展ニ努ムルト共ニ調教管理ニ關スル智識ノ普及、技術ノ向上竝施設ノ完備ヲ圖リ遺憾
 ナク其ノ能力ヲ發揮セシメテ之レヲ馬産ノ改善進歩ニ資セシムルコト極メテ緊急ノ事ナ
 リト信ス

地方、性、年齢及役種別頭數表

合計	計	地方										合計	
		山	岡	兵	大	京	愛	神	東	群	山		青
		口	山	庫	阪	都	知	川	京	馬	形	森	道
		牡	牝	騾	騾	騾	騾	牝	牝	牝	牝	牝	牝
二	- -	-						-					
四	三 -				-			-	-	-			
三	二 -				二				-				
五	四 -			二	-			-	-				
四	四			-		-		二					
二	二			-								-	
二	二			-	-								
二	二			-	-								
一	-							-					
一	-			-									
二六	二 - 一 四	-		五	七	-	-	-	五	三	-	-	-
二	二										-	-	-
一	-		-										
四	四			-	二			-					
一	-							-					
八	五 二 -	-	-	二				二			-	-	-
三四	二 六 三 五	-	-	六	九	-	-	-	七	三	-	-	-

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	
飛	慶	金	第	紅	=	第	ア	花	日	定	佐	日	盛	ナ	岩	安	奥	ス	小	雁	松	宮	
			二	ス	ハ	バ	リ						ガ				ト	陶					
			ウ	ル	イ												ン						
燕	雲	泉	天	ト	ト	ヤ	雲	光	昌	川	吉	山	ラ	櫻	義	龍	グ	綾	海	島	花		
二二〇	一五〇	二〇〇	二六五	二二〇	一八〇	二八〇	二〇〇	二六〇	一九五	二一〇	二一〇	二七五	一九〇	二四八	二五八	一五〇	二六〇	一八〇	一三三	二二〇	九一〇	二二〇	
一一五	一九五	一一三	一九〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	
四五〇	三四八	四二八	四〇〇	三七〇	三五〇	三二八	三〇五	二八〇	二五八	二三三	二〇八	一八五	一六〇	一四三	一二五	一〇〇	八五	七〇	五五	四〇	二五	一〇	
七八五	五九〇	七四一	七六六	三七五	六七〇	九三八	六九八	八五三	七〇八	七二六	七七一	七七五	九三五	六九八	七六八	八五一	六八〇	八五〇	六六〇	二六八	六九五	七三〇	七五〇
		減	減							増	減												
			三〇							〇	二												
			一							四	一												
七八五	五九〇	七一〇	七六五	三七五	六七〇	九三八	六九八	八五三	七〇八	七二六	七七一	七七五	九三五	六九八	七六八	八五一	六八〇	八五〇	六六〇	二六八	六九五	七三〇	七五〇

三三九

8	7	6	5	4	3	2	1
水	ビ	伊	鶯	晴	五	第	雲
	ト					一	早
	ロ						梅
町	ス	吹	遊	山	月	梅	駿
一五〇	二一五	一九五	二〇五	二三五	二五五	二〇〇	二二五
一〇三	一一五	一二三	一〇三	一三〇	一三三	一一〇	一一三
三九〇	四二五	三三〇	四四〇	四一〇	四六五	四五五	六〇〇
六四三	七五五	六四八	七四八	七三五	八五三	七六五	三九八
		減	増	増	減		
		〇	二	〇	〇		
		五	三	二	五		
六四三	七五〇	六七一	七五〇	七三〇	八五三	七六五	三九八

得 點 表

計	鹿	神	千	宮	岩	青	北	産地
	兒	奈	葉	城	手	森	海	種
	島	川	業	手	手	森	道	類
								サ
								内
								ア
								内
								ア
								ノ
								内
								ト
								ロ
								内
								洋
								ア
								雑
								サ
								雑
								ア
								雑
								ア
								雑
								ギ
								ド
								雑
								ハ
								ク
								雑
								計
								三
								四
								一
								一
								六
								三
								五
								〇
								七

産地及種類別頭數表

三三八

番 號	審 査	馬 名	體 型	飼 養 管 理	能 力	合 計	比 較 審 査 及 審 査 長 ノ 増 減	決 定	備 考	
34	33	32	立 第九 雲 フイ ラン カ ート ル 井	藤	一九、〇 一九、〇 二七、〇	九、三 一〇、五 一二、八	四一、五 三八、〇 五一、五	六九、八 六七、五 九一、三	増 二、〇	六九、八 六九、五 九一、三

產地別體型區分表

産地 區分	總 數	甲	乙	丙	産地 區分	總 數	甲	乙	丙
北海道	七		三		千葉	六	三		
青森	〇				神奈川	一			
岩手	五				鹿兒島	一			
宮城	四				計	三四	一一	六	

血種別體型區分表

血種 區分	總 數	甲	乙	丙	血種 區分	總 數	甲	乙	丙
内サラ	二				サラ雜	三			
内アア	二				アア雜	一			
内アノ	一				ギド雜	二			
内トロ	二				ハク雜	一			
内洋	一				計	三四	六	一一	一一
アラ雜	一								

出品府縣別管理成績區分表

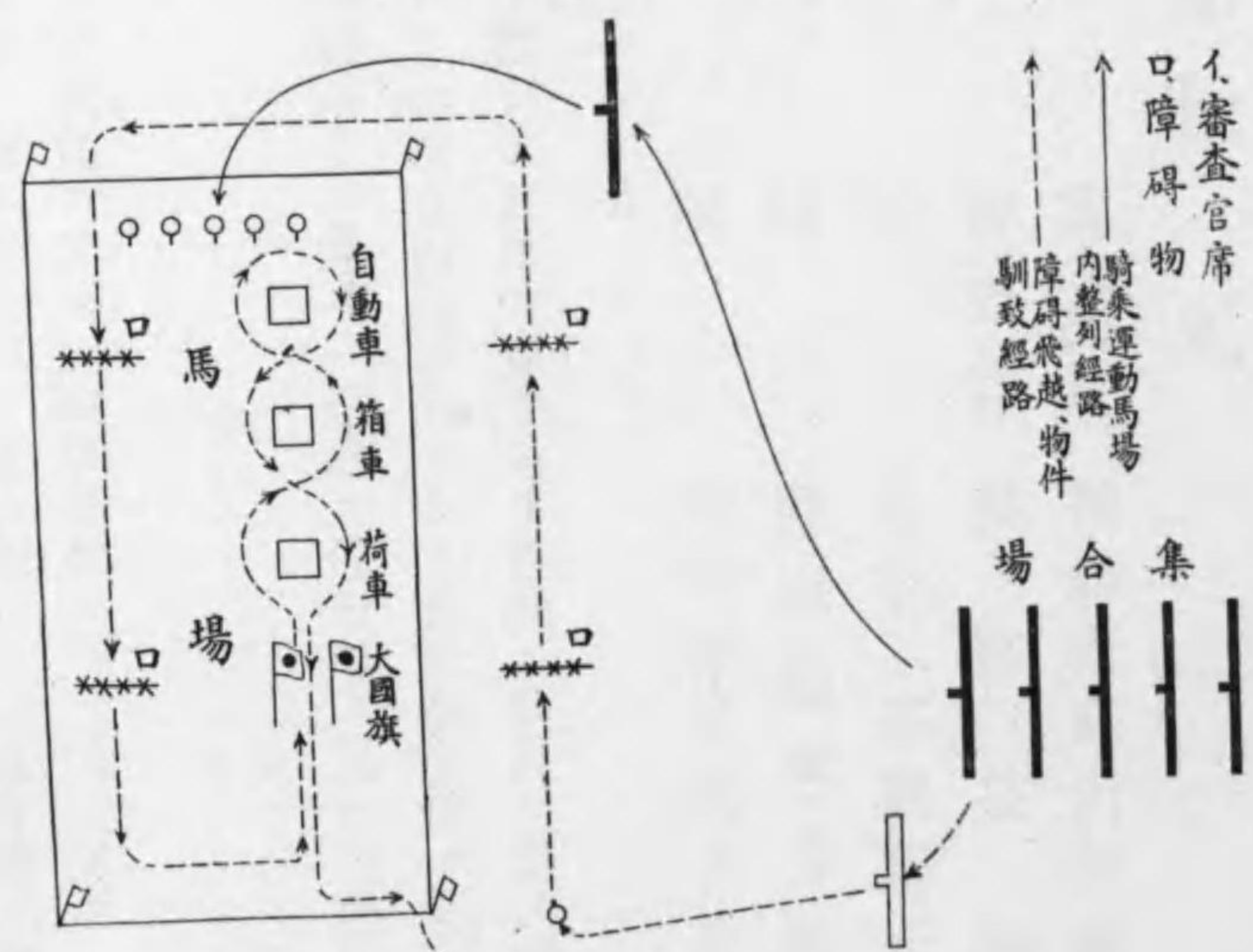
府縣 區分	總 數	甲	乙	丙	府縣 區分	總 數	甲	乙	丙
北海道	一				京都	九			
青森	一				大阪	一			
山形	一				兵庫	一			
群馬	一				岡山	一			
東京	一				山口	一			
神奈川	〇				計	三四	四	一一	五
愛知	一								

產地別能力成績區分表

産地 區分	總 數	甲	乙	丙	産地 區分	總 數	甲	乙	丙
北海道	七	二			千葉	六	三		
青森	〇				神奈川	一			
岩手	五				鹿兒島	一			
宮城	四				計	三四	一一	三	一一

血種別能力成績區分表

乘馬能力審査場要圖



二三三

門裏 場 會

計及平均	重乘馬			輕乘馬			役種	性別	頭數	測定區分	體重	體高	胸圍	管圍	胸圍率	
	計及平均	騾	牝	牡	計及平均	騾										牝
三四	八	五	一	二	二	二	四	一								
一一四、一	一一二、六	一一一、四	一一二、〇	一一二、八	一一一、〇	一一一、五	一一〇、五	一一〇、五								
五、一五	五、一九	五、二二	五、二七	五、〇一	五、一四	五、一五	四、九三	四、九三								
五、六七	五、七九	五、七五	六、〇〇	五、八〇	五、六四	五、六三	五、六九	五、六〇								
〇、六二	〇、六三	〇、六三	〇、六三	〇、六四	〇、六一	〇、六一	〇、五八	〇、五八								
一一〇、〇	一一一、五	一一〇、一	一一三、八	一一三、五	一〇九、六	一〇九、二	一一〇、九	一一二、二								

出品馬ノ馬體測定表

血種	區分	總數	測定區分				血種	區分	總數	甲	乙	丙
			計	雜	ハク	ギド						
アラ	雜	一	六	二	一	二	二					
内	洋	一	六	二	一	二	二					
内	ト	一	六	二	一	二	二					
内	ア	一	六	二	一	二	二					
内	ア	一	六	二	一	二	二					
内	サ	一	六	二	一	二	二					
計	雜	三	四	三	一	二	一	三				
ハク	雜	八										
ギド	雜	二										
アラ	雜	二										
サ	雜	三										
總數		二〇	二	一	一	一	三					
甲		八										
乙		二										
丙		六										

二三三

第三部 輕馬

審査部長	種馬育成所技師	佐原敬二
審査官	農林技師	佐藤繁雄
同	陸軍二等獸醫正	柏五郎
同	陸軍砲兵少佐	大生壇城
同	陸軍輜重兵少佐	山口貞吉

一 体型

輕、重輓馬共ニ概シテ實用的見地ヨリ各地ノ駿良ヲ集メ得タルモノト認ム然レトモ細部ニ就テ述フレハ上體過重四肢細弱ニシテ實用的價值乏シキモノ用途ノ選定當ヲ得サルモノ體高高ク骨格幅員之ニ伴ハス乘馬ニ近キモノ又ハ重輓馬中鈍重ニシテ悍威乏シキモノ等アリ

二 飼養管理

榮養、概ネ良好ノ状態ニアルモ度削過肥ニ傾クモノアリ
護蹄及損徴、護蹄ハ概ネ可ナルモ蹄手入不良ノ爲慢性ノ蹄病ニ罹レルモノ又裝蹄ノ失宜

ニ依リ輓曳能力發揮上不利ナルモノ及四肢ニ重大ナル損傷ヲ發生セルモノ若干アリ
惡癖、馬ノ馴致良好ナルモ蹴癖ノ爲馬體ノ測定ヲ充分爲シ能ハサリシモノアリ

三 能力

能力ハ全國輓馬ノ優物ヲ選出セル結果一部少數ノモノヲ除キ輕、重輓馬共ニ步様裕大輓
曳意志旺盛ニシテ概シテ佳良ナリ然レトモ馬ノ状態ヲ顧慮シテ馭スルノ技倆ニ乏シキト
出品地方ニ依リテハ坂路ノ登降ニ對スル調教及馭法ニ馴レサル關係上充分ノ能力ヲ發揮
シ得サルモノアルハ今回ノ審査實施ニ當リ馬主其ノ他ノ大ニ自覺セル所ナリ

餘力判定ニ關シテハ今日尙單簡的確ナルモノナク今回モ心音及呼吸數ノ測定ニ依レリ唯
從來ト異ナル點ハ輕重輓馬共其ノ車輛ヲ四輪荷馬車、二輪荷馬車及幌馬車ノ三ニ馭法ヲ
乘車式徒歩式ノ二ニ區分シ採點法ニ於テ適當ノ標準ヲ定メタルニアリ

其ノ結果特殊ノ場合ヲ除キ概シテ正鵠ニ近キモノヲ得タリト信スルモ之カ審査方法ノ研
究ハ馬能力ノ檢定上甚タ急ヲ要スルモノト認ム

飼養管理鍛練等ノ状態ハ概シテ良好ト認ムルモ一二其ノ失宜ニ依リ持久能力ニ乏シク或
ハ心臟不良ニシテ其ノ機能ヲ阻碍シ餘力甚シク減耗セルモノアリ

四 所見

使役年限、本回出品セル馬ノ最長使役年限ハ九年唯一頭ニシテ其ノ他ハ概シテ著シク短
シ惟フニ輓馬ノ經濟的價值増進上其ノ撰擇ニ留意シ且合理的飼養管理法ヲ施行シ體力不
相應ナル過重ノ役務ヲ課セサルハ使役年限ノ延長ヲ圖ル爲極メテ切要ナリトス
馭法、馭者ヲシテ正シキ馭法ヲ習得セシメ馬ノ性質、肢蹄ヲ惡變シ損廢セシメサル方法
ヲ講スヘシ

地方、性、年齢及役種別頭數表

地方	輕馬		重馬		合計
	年	齡	年	齡	
北海道	四才	五才	五才	六才	二
青森	六才	七才	七才	八才	二
岩手	七才	八才	八才	九才	一
秋田	八才	九才	九才	一〇才	一
福島	九才	一〇才	一〇才	一一才	一
千葉	一〇才	一一才	一一才	一二才	一
北	一一才	一二才	一二才	一三才	一
北	一二才	一三才	一三才	一四才	一
北	一三才	一四才	一四才	一五才	一
北	一四才	一五才	一五才	一六才	一
北	一五才	一六才	一六才	一七才	一
北	一六才	一七才	一七才	一八才	一
北	一七才	一八才	一八才	一九才	一
北	一八才	一九才	一九才	二〇才	一
北	一九才	二〇才	二〇才	二一才	一
北	二〇才	二一才	二一才	二二才	一
北	二一才	二二才	二二才	二三才	一
北	二二才	二三才	二三才	二四才	一
北	二三才	二四才	二四才	二五才	一
北	二四才	二五才	二五才	二六才	一
北	二五才	二六才	二六才	二七才	一
北	二六才	二七才	二七才	二八才	一
北	二七才	二八才	二八才	二九才	一
北	二八才	二九才	二九才	三〇才	一
北	二九才	三〇才	三〇才	三一才	一
北	三〇才	三一才	三一才	三二才	一
北	三一才	三二才	三二才	三三才	一
北	三二才	三三才	三三才	三四才	一
北	三三才	三四才	三四才	三五才	一
北	三四才	三五才	三五才	三六才	一
北	三五才	三六才	三六才	三七才	一
北	三六才	三七才	三七才	三八才	一
北	三七才	三八才	三八才	三九才	一
北	三八才	三九才	三九才	四〇才	一
北	三九才	四〇才	四〇才	四一才	一
北	四〇才	四一才	四一才	四二才	一
北	四一才	四二才	四二才	四三才	一
北	四二才	四三才	四三才	四四才	一
北	四三才	四四才	四四才	四五才	一
北	四四才	四五才	四五才	四六才	一
北	四五才	四六才	四六才	四七才	一
北	四六才	四七才	四七才	四八才	一
北	四七才	四八才	四八才	四九才	一
北	四八才	四九才	四九才	五〇才	一
北	四九才	五〇才	五〇才	五一才	一
北	五〇才	五一才	五一才	五二才	一
北	五一才	五二才	五二才	五三才	一
北	五二才	五三才	五三才	五四才	一
北	五三才	五四才	五四才	五五才	一
北	五四才	五五才	五五才	五六才	一
北	五五才	五六才	五六才	五七才	一
北	五六才	五七才	五七才	五八才	一
北	五七才	五八才	五八才	五九才	一
北	五八才	五九才	五九才	六〇才	一
北	五九才	六〇才	六〇才	六一才	一
北	六〇才	六一才	六一才	六二才	一
北	六一才	六二才	六二才	六三才	一
北	六二才	六三才	六三才	六四才	一
北	六三才	六四才	六四才	六五才	一
北	六四才	六五才	六五才	六六才	一
北	六五才	六六才	六六才	六七才	一
北	六六才	六七才	六七才	六八才	一
北	六七才	六八才	六八才	六九才	一
北	六八才	六九才	六九才	七〇才	一
北	六九才	七〇才	七〇才	七一才	一
北	七〇才	七一才	七一才	七二才	一
北	七一才	七二才	七二才	七三才	一
北	七二才	七三才	七三才	七四才	一
北	七三才	七四才	七四才	七五才	一
北	七四才	七五才	七五才	七六才	一
北	七五才	七六才	七六才	七七才	一
北	七六才	七七才	七七才	七八才	一
北	七七才	七八才	七八才	七九才	一
北	七八才	七九才	七九才	八〇才	一
北	七九才	八〇才	八〇才	八一才	一
北	八〇才	八一才	八一才	八二才	一
北	八一才	八二才	八二才	八三才	一
北	八二才	八三才	八三才	八四才	一
北	八三才	八四才	八四才	八五才	一
北	八四才	八五才	八五才	八六才	一
北	八五才	八六才	八六才	八七才	一
北	八六才	八七才	八七才	八八才	一
北	八七才	八八才	八八才	八九才	一
北	八八才	八九才	八九才	九〇才	一
北	八九才	九〇才	九〇才	九一才	一
北	九〇才	九一才	九一才	九二才	一
北	九一才	九二才	九二才	九三才	一
北	九二才	九三才	九三才	九四才	一
北	九三才	九四才	九四才	九五才	一
北	九四才	九五才	九五才	九六才	一
北	九五才	九六才	九六才	九七才	一
北	九六才	九七才	九七才	九八才	一
北	九七才	九八才	九八才	九九才	一
北	九八才	九九才	九九才	一〇〇才	一
北	九九才	一〇〇才	一〇〇才	合計	二
北	一〇〇才	合計	合計	合計	二

計	徒步式	乘車式	取式	
			車輛	役種
	二輪荷馬車	四輪荷馬車	二輪荷馬車	四輪荷馬車
計	二輪荷馬車	四輪荷馬車	二輪荷馬車	四輪荷馬車
二四	一九三六	五二二三		
一三	九一八	四四		
三七	二八四四	九六三		

審査區分及頭數表

計	鹿兒島	宮崎	熊本	千葉	福島	秋田	宮城	岩手
一								
一								一
七				一		一		二
七	一				一	二	一	一
四			一					一
一								一
四						一		一
一							一	一
一						一		二
二	一							四
三七	一	一	一	一	二	八		一〇

產地及種類別頭數表

青森	北海道	産地種類	産地	
			内アノ	内ハク
一	一	内アノ		
		内ハク		
		内洋		
		アノ雜		
		ハク雜		
		フリ雜		
		ベル雜		
		ブラ雜		
		雜		
		計		

計	愛媛	山口	廣島	大分	滋賀	三重	愛知	福井	富山	神奈川	東京	地方	
												輕馬	重馬
騾壯北												四才	五才
五												六才	七才
三												八才	九才
二												二才	三才
五												計	計
一												五才	六才
一												七才	八才
一												九才	計
一												計	計
一												計	計
一〇												合計	合計
二七	五	五	一	一	二	一	一	三	一	一	三	七	三

得點表

三三三三三 七六五四三	三三三二二二二二二二二 八二一〇九八七六五四三二	幌幌幌二四 四四四四四四四四四四二二	馬馬馬輪輪 輪輪輪輪輪輪輪輪輪輪輪輪	車車車車車 車車車車車車車車車車車車	徒徒 徒徒徒徒徒徒徒乘乘乘乘徒徒	步步 步步步步步步步步車車車車步步	東東東千三 東東東東東東福北北北北神神	東京京葉重 東京京京京京井道道道道川川	井森西山一 高加久鈴鳥長渡中大大中吉鈴小	上榎倉見(榮) 橋藤保木飼谷邊谷道村村木池	四治龜文京來 三三三三三三三三三三三三三三	一郎吉藏一號 三三三三三三三三三三三三三三
----------------	-----------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	---------------------	----------------------	------------------------	------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

審査區分表

二〇九八七六五四三二一 〇九八七六五四三二一〇九	七六五四三二一	二四四四四四四四四四四四 輪輪輪輪輪輪輪輪輪輪輪輪	車車車車車車車車車車車車 徒徒徒徒徒徒徒徒徒徒徒徒	步步步步步步步步步步步步步	福愛山廣大大滋愛愛愛富神 島媛口島阪阪賀知知知山川	鈴佐田中弓吉岸竹藤淺吉忍 木伯所本場田內井保田彦兵衛	喜京寬三源太 市次治助吾郎藏郎詮助作衛	高近中吉長加岩 橋江村田內賀見 (イリカートル號) 庄安元石谷富 郎藏郎吉藏園右工門	道府縣 出品人
-----------------------------	---------	------------------------------	------------------------------	---------------	------------------------------	-------------------------------	------------------------	---	------------

輕 挽 馬	役種	性	頭數	測定區分	體	重	體	高	胸	圍	管	圍	胸	圍	率
騾 牝 牡	一七二四														

出品馬ノ馬體型定表

三 七	三 六	三 五	三 四	三 三	八	三 二	三 一	三 〇	二 九	二 八	二 七	二 六	二 五	二 四	二 三
二 八、〇	二 八、〇	三 〇、〇	二 四、三	二 五、八	二 七、五	二 五、〇	二 五、三	二 六、〇	二 五、三	二 五、五	二 一、〇	二 六、三	二 七、三	二 七、五	二 五、五
七 〇	五 七	七 〇	七 〇	七 七	八 〇	七 三	六 七	八 〇	七 七	八 〇	七 七	七 三	八 〇	八 〇	八 〇
一 三、〇	一 七、〇	一 三、五	一 三、〇	一 四、一	一 二、八	一 四、一	一 〇、八	一 三、八	一 〇、五	一 〇、〇	一 三、一	一 三、三	一 四、三	一 四、一	一 四、一
一 〇	一 八	一 三、五	一 四、〇	一 五、〇	一 二、五	一 四、〇	一 八、〇	一 三、〇	一 九、五	一 九、〇	一 八、五	一 三、五	一 〇、〇	一 八、一	一 八、〇
			三	五	〇	二	一		〇	〇	二	二	四	四	五
九、五	七、五	〇、〇	七、五	一、五	七、五	一、〇	一、四、五	四、五	九、五	四、五	四、〇	二、〇	八、五	〇、〇	〇、〇
六八、五	五六、二	七四、〇	六八、八	六九、一	六八、三	七三、四	六六、三	四〇、八	五〇、七	六二、五	六三、七	六六、二	六四、六	八〇、四	八〇、六
					減一、〇	增二、五									
六八、五	五六、二	七四、〇	六八、八	六九、一	六八、三	七三、四	六八、八	四〇、八	五〇、七	六二、五	六三、七	六六、二	六四、六	八〇、四	八〇、六

二四三

二 二	二 一	二 〇	一 九	一 八	一 七	一 六	一 五	一 四	一 三	一 二	一 一	一 〇	九	七	六	五	四	三	二	一
二 二、五	二 二、〇	二 四、〇	二 〇、〇	二 〇、〇	二 五、三	二 五、〇	二 五、五	二 四、八	一 九、〇	二 〇、〇	二 一、〇	二 六、〇	二 〇、〇	二 八、〇	二 六、〇	二 六、三	二 三、八	二 六、八	二 三、〇	二 六、五
六、三	六、三	七、七	七、三	七、〇	七、七	六、七	七、七	七、〇	六、三	七、三	八、〇	七、三	六、〇	八、〇	七、八	七、三	七、〇	六、七	七、〇	八、〇
一 一、九	一 〇、七	一 三、〇	一 〇、九	一 一、四	一 一、四	一 〇、八	一 一、四	一 一、四	一 〇、八	一 一、三	一 五、三	一 八、三	一 九、七	一 四、〇	一 三、五	一 二、二	一 二、五	一 二、〇	一 二、〇	二 二、八
一 二、〇	一 〇、五	一 三、九	一 三、五	一 六、五	一 三、五	一 三、五	一 九、五	一 四、五	一 三、〇	一 四、〇	一 三、〇	一 三、〇	一 九、八	一 七、八	一 五、五	一 六、五	一 八、五	一 七、〇	一 四、〇	一 三、五
一	五	四	〇	〇	三	一	〇	三	二	三		二	二	二	三	〇	五	三	三	
一 〇、五	一 二、五	一 九、〇	一 八、〇	一 七、五	二 〇、五	一 〇、〇	一 一、五	一 一、〇	一 一、〇	一 四、〇	一 五、〇	一 七、〇	一 二、五	一 三、〇	一 六、五	一 九、五	一 五、五	一 四、〇	一 五、〇	一 四、〇
六四、二	六六、五	八一、二	五六、三	五九、九	八三、九	五一、六	六四、〇	七一、七	五二、一	六九、六	三七、三	六八、一	六二、五	八〇、〇	七九、八	七〇、八	八四、八	七八、〇	七二、五	四〇、八
			增三、〇										減六、五							增五、〇
六四、二	六六、五	八一、二	五六、三	五九、九	八三、九	五一、六	六四、〇	七一、七	五二、一	六九、六	三七、三	六八、一	六二、五	八〇、〇	七九、八	七〇、八	八四、八	七八、〇	七二、五	四〇、八

二四二

輕馬能審力查場要圖



二四五

備考

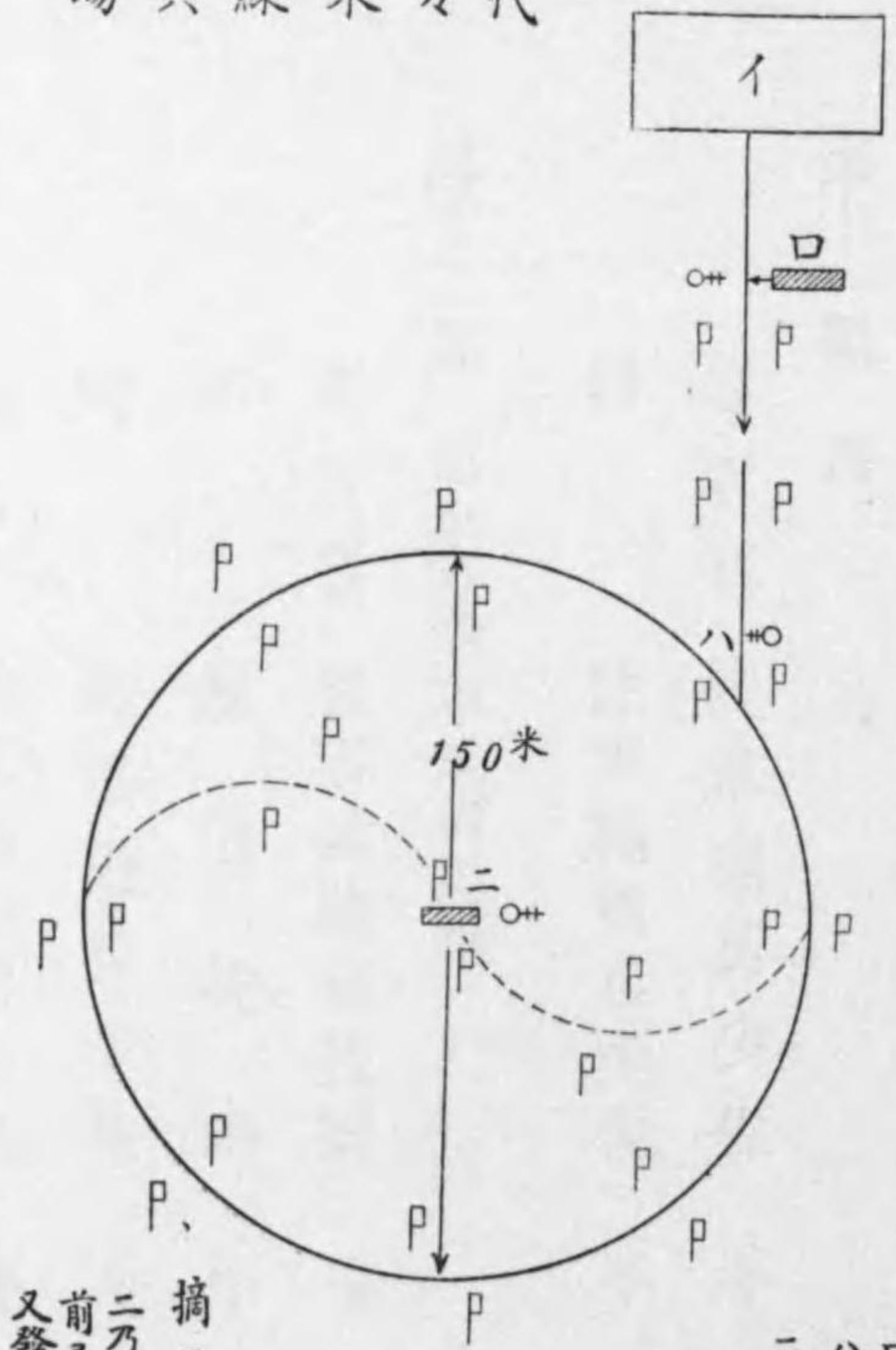
輕馬能雄速號ハ騷擾測定不能ノ爲本表ヨリ除外セリ

計及平均	重挽馬		計及平均	體重	體高	胸圍	管圍	胸圍率
	計及平均	牝						
三六	一三	一〇三	一三三	一三八、七	五、二一	五、九六	〇、六五	一一四、四
一四五、七	一五七、九	一五六、五	一六二、七	五、一五	六、二一	〇、六八	一一九、〇	
五、二一	五、二〇	五、二〇	五、二〇	六、二二	六、二二	〇、七〇	一二一、〇	
六、〇五	六、二三	六、二三	六、二一	五、九六	〇、六五	〇、六五	一二〇、四	
								一一六、六

二四四

圖要場查審較比

場兵練木々代



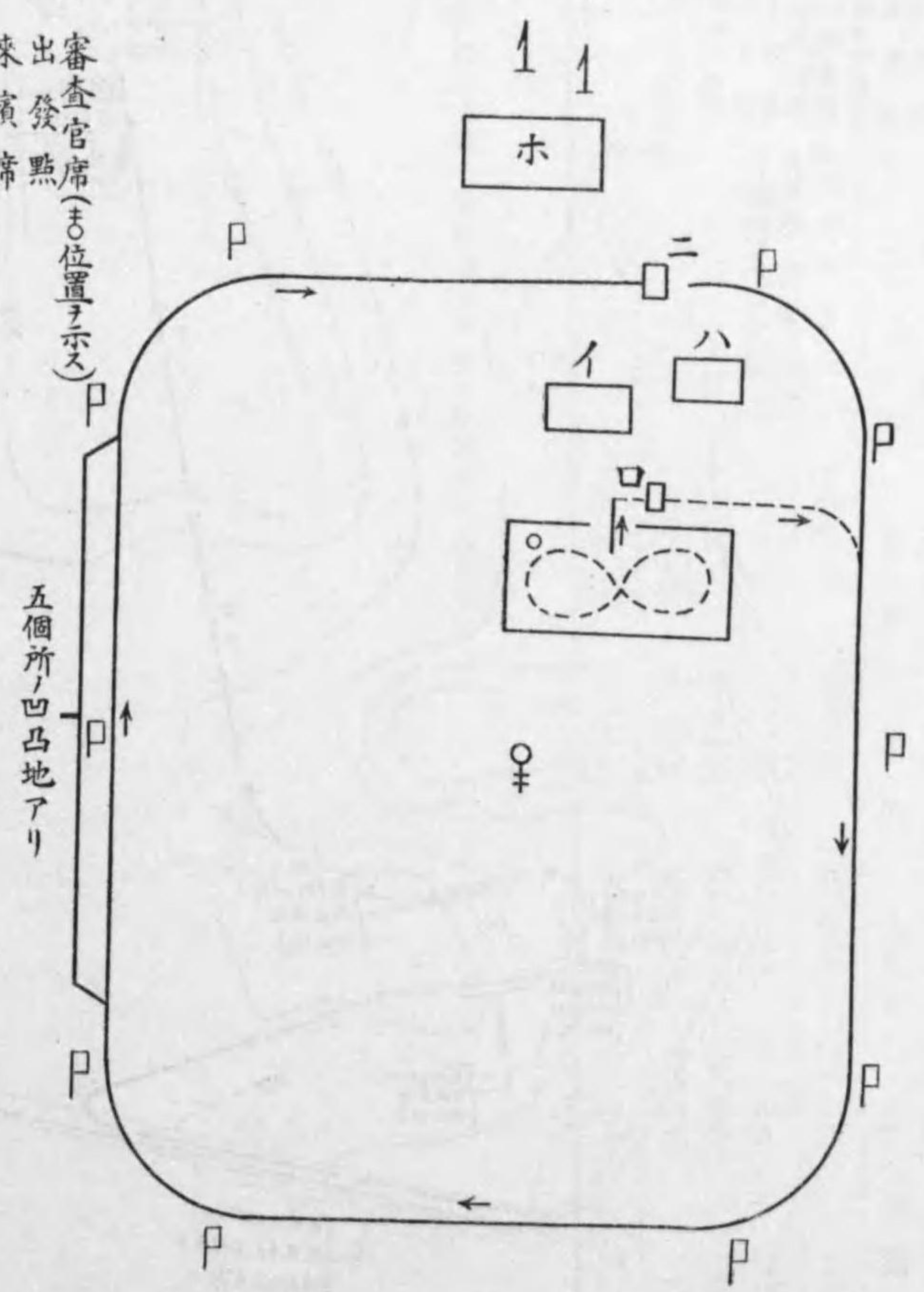
摘要
二乃至三回常歩速歩ヲ手
前ヲ換ヘ(點線ノ經路)實施シ
又發進停止ヲ行フ

備考
イ車輛準備所
ハ出發點
二到着點
ニ審査官席
(其位置ヲ示ス)

圖要場查審車馬幌

米百五約路徑長全
米千二計過通續連回四

備考
イ審査官席(其位置ヲ示ス)
ハ出發點
二來賓席
ホ到着點
餘力審査所



第四部 馬ニ關スル器具機械

審査部長 農 林 技 師 坂 常 三 郎

第十一類 馬 具

審査官 陸軍砲兵少佐 今 村 貞 治

同 陸軍輜重兵少佐 平 岡 清

第十二類 馬車及乘車式荷馬車

審査官 農事試験場技師 廣 部 達 三

同 鐵 道 技 師 中 村 健 吾

同 陸軍砲兵少佐 今 村 貞 治

同 陸軍輜重兵少佐 平 岡 清

同 帝國競馬協會囑託 富 金 原 利 助

第十三類 馬利用農具及動力器

二五〇

審査官 農事試験場技師 廣部 達三
同 同 正村 慎三郎

第十四類 飼養管理用具

審査官 農林技師 佐藤 繁雄
同 陸軍二等醫獸正 田崎 武八郎

第十一類 馬具

- (一) 出品点数二十五點出品人員十五名ニシテ東京府約三分ノ一ヲ占メ他ノ府縣ニ少カリシハ遺憾トスル所ナリ
- (二) 一般ニ出品点数ノ僅少ナルニ比シ見ル可キモノ多カリシハ以テ斯界ノ進歩向上ノ資トナスヲ得ヘシ
尙細部ノ批評ヲ述フレハ左ノ如シ

考案ハ一般ニ概シテ研究改善ノ跡ヲ認ムルモ實用的價値ニツイテハ尙向上ノ餘地アリ
材料並ニ工作ハ概シテ可ナルモ構造堅固ヲ缺キ耐久力充分ナラスト觀察セラルルモノアリ機能ハ一般ニ良好ニシテ實用ニ供シ得ルモノト認ム
輓具中農用又ハ乘車式荷馬車ニ就テハ出品点数少ク舊套ヲ脱セサルノ感アリ將來指導ノ要アルモノト認ム

第十二類 馬車及乘車式荷馬車

- (一) 出品申込總數二十二點ニ對シ出品數十七點出品人員十二名ニ達セリ而シテ中乗用馬車一、繫駕馬車三、普通荷馬車一ヲ除キタル外全部乘車式ノモノニシテ一般ノ注意コノ點ニ傾向セルコトハ欣フヘキ現象ナリトス

(二) 乗用馬車及繫駕馬車

乗用馬車ハ從來ノ四輪馬車ニ比シ價格低廉ニシテ實用的ニハ價値アルモノト認ムルモ製作ノ點ニ關シテハ一層改善ノ餘地アリ又繫駕馬車ハ國產材料ヲ以テ構成セル點ニ就テハ其ノ苦心ノ跡ヲ認ムルモ其ノ製作方法ニ就テハ尙研究ノ餘地アリ
荷馬車及農用馬車

二五一

車體ハ尙研究改善ノ點アルモ概シテ構造堅牢、工作モ良好ナリ車軸ニ「ボール」及「ロー
ルヘアリング」ヲ用ヒタルモノアルモ其ノ實用的價值ヲ認ムヘキモノ少シ
考案トシテ専ラ馭者臺及制轉機ヲ附シ乘車式タルコトニ對シ種々良好ナル考案アリシモ
制轉機ニ至リテハ單ニ考案タルニ過キスシテ實地使用シテ其機能ヲ完スルモノ尠カリシ
ヲ遺憾トス此ノ點ニ關シテハ今後一層ノ研究改良ヲ要ス

第十三類 馬利用農具及動力器

- (一) 出品總數八十一點出品人員三十四人ニシテ之ヲ地方別トスレハ一道一府十六縣ニ亘レ
リ而シテ之ヲ種類別ニ見ルトキハ犁類ノ五十三點ヲ最多トシ碎土機十四點、畜力用調製
機六點、畜力中耕機及畜力原動機各四點ヲ算セリ
- (二) 今出品ヲ概觀スルニ犁類ノ出品ハ其ノ數量ニ於テ其ノ品質ニ於テ他ノモノ追從ヲ許サ
サルモノアルハ喜フヘシト雖モ中ニ材料製作良好ナラサルモノ形態ヲ新規ナラシメント
シテ其ノ實用的價值ヲ失墜セルモノ等アルハ考慮ヲ要ス
碎土機ハ考案ニ苦心ノ跡ヲ認メ得ルモノアルモ土質ニ應スル形狀ノ變化ニ對シ工夫足ラ
サルモノ或ハ材料ノ選擇宜シカラスシテ工作不完全ナルモノアルハ共ニ注意ヲ要ス

畜力用調製機ハ其ノ出品少ク動力用ノモノヲ單ニ小型トナセルニ過キスシテ畜力用トシ
テ特徴ヲ見出シ得サルモノ構造堅牢ナラシテ耐久性ニ乏シキモノ等アルハ遺憾ナリ
畜力中耕機ノ出品モ亦少數ニシテ外國品ヲ模倣セルニ過キスシテ本邦耕地ニ適應スヘク
改良工夫セルモノナキハ當業者ノ一考ヲ望ム
畜力用原動機ハ近時小型動機ノ使用普及サルルニ連レ各種型式ノモノ製作セララルルニ至
リ本會ノ出品ニ於テモ本邦家畜ノ體軀ヲ考慮シ吾農業ノ特質ニ應スヘク考案セルモノナ
キニ非スト雖モ未タ以テ其ノ實用上ノ效果充分ナリト稱シ得サル現狀ニ鑑ミ之カ改良ニ
對シ出品者諸氏ノ努力ヲ望マサルヲ得ス

第十四類 飼養管理用具

- (一) 出品點數二十七點出品人員十一名ニシテ其ノ主ナルモノハ馬手入用具及藁切機トス
- (二) 一般ニ出品物ハ舊慣ヲ脱セス考案工夫著シク新シキモノナシ只愛知縣田中久助出品ノ
沼田式雜穀剝兼藁切器ハ相當苦心ノ跡ヲ認メ其ノ考案構造共ニ優秀ニシテ多數馬匹ヲ
飼養スル者ニ對シテハ實用的價值アルモノト認ムルモ價格廉ナラサルヲ有利トセス、栃
木縣室田和十郎出品ノ動力用藁切機ハ考案可ナルモ實用的價值稍少シ然レトモ同人出品

ノ手廻葉切機ハ相當考案ヲ凝ラシ機能又良好ニシテ各方面ノ使用者ニ對シテモ實用的價値アルトモノト認ム
尙本品ヲ足踏式ニ改良シ得レハ一層其ノ効能大ナルヘシト信ス
其ノ他手入用具ニ就テハ在來ノモノヨリ質ニ於テ稍改良セラレアルヲ認ムル外特記スヘキ事項ナシ

第五部 衛生材料及馬糧

審査部長 東京帝國大學教授 島村 虎猪

第十五類 衛生材料

審査官 陸軍二等獸醫正 中山 讓

同 農林技師 山本文陸郎

第十六類 馬糧

審査官 農林技師 園田三次郎

同 陸軍二等主計正 丸本彰造

同 陸軍二等獸醫正 田崎武八郎

第十五類 衛生材料

本類ニ屬スル衛生材料ノ出品總點數ハ九十點ニシテ内醫療器械二十三點、裝蹄器具二十九點、蹄鐵二十八點、藥品一點トス

(イ) 醫療器械ハ大部いとしや松本豊三、瀧本商店瀧本八十八ヨリ出品セルモノニシテ前者ハ産科器械、診斷器械、去勢器械等ヲ後者ハ手術臺、外科器械、傳貧診斷器械等ヲ主ト

シ其ノ他ハ有賀式吸入器、山田印體溫器等ニシテ總テ東京在住者ナリ

(ロ) 裝蹄器具ハ東京松本金之助、同日本蹄鐵株式會社ヨリ出品セルモノニシテ殆ント此種器械ノ全部ヲ網羅セリ而シテ他府縣ヨリノ出品ナシ

(ハ) 蹄鐵ハ東京日本蹄鐵株式會社、愛知縣杉田鐵治、大分縣近藤菊松外十一名、茨城縣高星駒之助等ノ出品セルモノニシテ變蹄鐵、防滑蹄鐵、尋常及氷上蹄鐵等ノ各種ヲ蒐集セリ

(ニ) 藥品ハ東京龍光社ヨリ「サナリン」一點ヲ出陳セリ

以上ノ出品中自家製品ニ在ラスシテ外國製品又ハ他工場ノ製品ヲ出陳セルモノアリ即チ醫療器械ニ於テハ二點蹄器具ニ於テハ七點計九點ニシテ是等ハ總テ審査ヨリ除外セリ

其ノ他規程ニ合致セスシテ失格セルモノ十點(蹄鐵)出品目錄ニ記載シアルモノニシテ現品提出ナキモノ(十點醫療器械三點、裝蹄器具一點、蹄鐵六點)アリタリ

今之ヲ概評スレハ左ノ如シ

(一) 醫療器械

今回ノ出品ニ就テ視ルモ近時醫療器械ノ進歩著シク地金ノ撰擇健淬切味ノ程度、鍍金ノ工合等賞讃ニ値スルモノ尠ナカラス又考案ニ於テモ着想技巧等稍見ルヘキモノアリ今後一般機械工業ノ向上ニ伴ヒ益々改善發達ノ徵アルモノト信ス

(二) 裝蹄器具

本器具ニ於テハ前者ノ如ク進歩著シカラサルノ觀アルモ技工大ニ洗練セラレ品質モ亦一般ニ向上シツツアリ

(三) 蹄鐵

本品ハ地方ヨリ出品多ク努力ノ跡尠ナカラサルヲ認ムルモ防滑蹄鐵ニ就キ新考案ノ尠ナカリシハ聊カ遺憾ノ點ナキニアラス然レトモ造鐵技能ニ於テハ大ニ進歩シツツアルモノト認ム

(四) 藥品

馬匹治療藥品ノ出品ハ僅ニ「サナリン」一點ニシテ彼此優劣ヲ比較シ得サルモ其ノ製法、性状等ハ概ネ可良ニシテ治療上相當ノ效果アルヘシ

之ヲ要スルニ本會ノ出品トシテハ其量ニ於テ敢テ多シト云フヘカラサルモ其ノ質ニ於テハ概ネ其ノ粹ヲ集メ優良ナルモノ尠ナカラス然レトモ一般ニ之ヲ外國ノ諸品ニ比較スルニ稍遜色アルヲ以テ將來尙向上進歩セシムルノ要アリ

第十六類 馬糧

本類ニ屬スル出品ハ總點數八十一點出品人員五十六名ニシテ之ヲ地方別ニ類別スレハ出品

數最多キハ北海道ノ二十點ニシテ青森ノ十一點秋田ノ十點之二次キ岩手八、宮城七、東京六、群馬四、大分四、鹿兒島三、長野三、大阪二、福島一、宮崎一ノ順次ニ其ノ數ヲ減ス而シテ出品ハ一人一點ノモノ多キモ北海道、東京、大阪ヨリノ出品ニハ馬糧ノ生産販賣業者ニシテ一人ニテ數點ヲ出セルモノアリ

出品物ノ種類中最多キハ草類ノ四十七點ニシテ總數ノ約六割ヲ占メ馬糧中最モ重要ナル草類ガ多數ナリシハ喜フヘキコトナリ種子類十五點穀實類十三點之二次キ産業副産物及其ノ他ノ馬糧ハ最モ少ク殊ニ穀類ノ出品ナカリシハ遺憾ナリキ

製造馬糧及敷料類ハ出品ヲ見サリキ
今之ヲ概評スレハ左ノ如シ

(一) 穀 實 類

穀實類ハ出品點數十三點ニシテ内燕麥六點、大豆五點、大麥、玉蜀黍各一點ナリ燕麥ハ一般ニ改良ノ跡著シキヲ認ムルモ尙栽培調製上一層ノ注意ヲ要スルモノ數點アリ宮崎縣畜産組合聯合會ノ出品ニ係ル燕麥ハ風土ノ關係上栽培困難ナルニ拘ラス相當ノ品質ナリシハ喜フヘキコトトス

大豆ハ粒形不整調製不良ノモノ多ク大麥ハ出品一點ナリシモ品質優良ナリ玉蜀黍ハ乾燥ニ

注意ヲ要スルモノト認ム

(二) 草 類

草類ハ四十七點ニシテ内萩ノ十七點最多ノ野乾草十二點、牧草十點、青刈大豆六點之二次キ其ノ他二點ヲ算ス

萩ハ品質調製不良ニアラス殊ニ宮城縣地方ヨリ栽培萩ノ出品アリ漸次之カ利用ノ途開ケタルハ喜フヘキコトトス野乾草ハ乾燥調製稍進歩ノ跡アルモ品質未タ良好ナラス又陰濕地ニ生育セル不良草多キ乾草ノ出品アリシハ飼草ニ關スル智識ノ乏シキヲ證スルモノト認ム

牧草ハ重要ナル飼草ニシテ栽培ノ歴史淺カラサルモ出品物ハ一般ニ良好ナラス牧草地ノ管理周到ナラサルヲ證スルモノトス

青刈大豆ハ相當ノ品質ノモノアリシモ中ニハ蟲害多キモノアリ

(三) 種 子 類

種子類ハ禾本科牧草種子六點、荳科牧草種子四點、燕麥種子三點、青刈大豆種子及玉蜀黍種子各一點ニシテ乾燥調製良好ナルモ發芽歩合劣等ノモノアリ青刈大豆玉蜀黍ニ於テ特ニ著シキヲ遺憾トス

(四) 産業副産物

産業副産物ハ大豆粕二點、米糠、コブラミール、大麥粕各一點ナリ、大豆粕ハ豊年製油會社ノ製造ニ係ルモノニシテ品質良好經濟飼料トシテ推賞ニ値スルモノトス米糠モ品質優良ナリ斯種ノ無砂搗糠ノ普及ハ家畜飼養上有利ナリト認ム

(五) 其他ノ馬糧

本種ニ屬スルモノハ甘藷一點ニシテ特記スヘキモノナシ

之ヲ要スルニ穀實類及種子類ハ一般ニ不良ニアラサルモ草類ニアリテハ栽培草ト野乾草トヲ問ハス尙數段ノ改良ヲ要スルモノト認ム

又産業副産物ハ特種ノ製造家ノ製出ニ係ルモノ多ク品質良好ナルモ一般ニ斯ク種副産物ノ出品點數少カリシヲ遺憾トス

附

錄

一 乘馬特技審査報告

(一) 審査日時

馬場馬術 十月三十一日 自午前九時
至午後一時
障礙飛越 同月同日 自午後二時
至午後二時三十分

(二) 出場馬數

馬場馬術 十五頭(申込十七頭)
障礙飛越 九頭

(三) 審査方法

別紙特技審査方法及出品審査要領ニ依リ之ヲ實施シ障礙飛越ハ前日ノ雨天ニ因ル馬場ノ
狀況ヲ考慮シ障礙物ト其ノ飛越經路ヲ變更セリ(別紙特技審査障礙飛越經路要圖參照)
尙障礙飛越ノ採點基準ニ左ノ一項ヲ加ヘリ

障礙ニ肢ヲ觸レタルモノ

〔前肢四點減
後肢二點減〕

(四) 審査所見

馬場馬術

出場馬一般ノ調教程度ハ馬ノ素質ノ増進ト共ニ進歩顯著ニシテ敬服ニ價スルモノアリ
尙此ノ際一段ノ考慮ヲ煩ハシ度キ點ヲ述フレハ左ノ如シ

(イ) 諸馴致ハ調教程度ニ比シ良好ナラサル傾向アリ馴致ハ調教ノ基礎ヲ爲スモノニシテ
之ヲ缺クトキハ調教ノ完璧ヲ期シ得サルモノナルニ鑑ミ將來一段ノ工夫ヲ望ム

(ロ) 出場馬中四肢殊ニ後肢ニ故障發生シアルモノ尠カラス其ノ原因ヲ思フニ馬格ニ應ス
ル正當ナル姿勢ヲ賦與スルノ考慮ヲ缺キタルト過早ノ進歩ヲ圖リタルニヨルモノト
認ム

(ハ) 一般ノ飼養管理ハ概ネ可ナルモノニ充分ト認メ難キモノアリ飼育ト調教ハ正ニ馬ノ
全能力ヲ發揮セシムル上ニ唇齒輔車ノ關係ニアルモノナレハ將來之カ併進ニ就テ一段
ノ考慮ヲ望ム

障礙飛越

障礙馬ノ飛越能力及騎手ノ飛越技能ハ共ニ優秀ニシテ人馬共々氣勢ノ充溢シアルヲ認ム
ルハ誠ニ欣フヘキ状態ナリ

然レトモ尙斷ニ重ルモノアルヲ以テ縱令障礙飛越用馬ニアリテモ先ツ馬ノ口向キヲ作り

(五) 擬賞

馬場馬術

常ニ飛越能力ト扶助調教トノ併進ニ努メムコトヲ望ム

序列	審査番號	馬名	得點	府縣	氏名
一	九	飛燕	八九、四	兵庫縣	鹽野長次郎
二	一五	立藤	八六、八	大阪府	大坂愛馬會
三	一三	佐川	八二、〇	兵庫縣	生島五三郎
三	五	第五バビ	八二、〇	東京府	幣原重雄

障礙飛越

序列	馬名	減點	點	府縣	氏名
一	奧山龍		〇	東京府	松村昇
二	晴日		六	大阪府	柳廣之
三	日吉		八	東京府	橋本信次郎

特技審査馬場馬術出場馬連名簿

審査番號	馬名	得點	序列	府縣	氏名
九	飛盛	八九・四	一〇	兵庫縣	鹽野長次郎
八	第九	五九・八	一〇	京都府	岩坪愛正太郎
六	第五	四〇・〇	三三	東京府	幣原重雄
五	第五	八二・〇	三五	東京府	古河正宣
四	定宮	七九・二	五一	兵庫縣	辰井千次郎
三	宮	五六・二	一一	東京府	谷井千次郎
二	ス	四八・六	一二	東京府	三井高修
一	水	七八・二	一六	東京府	三井高修

二六五

特技審査馬場馬術得點表

備考	番號	出場順序	種類	馬名	性	生年	府縣	氏名
備考	八ハ	一〇	内洋	宮盛	騾	大正五年	兵庫縣	辰馬治力
	八	九	内洋	宮盛	騾	大正五年	兵庫縣	辰馬治力
	七	七	内洋	宮盛	騾	大正五年	兵庫縣	辰馬治力
	六	六	内洋	宮盛	騾	大正五年	兵庫縣	辰馬治力
	五	五	内洋	宮盛	騾	大正五年	兵庫縣	辰馬治力
	四	四	内洋	宮盛	騾	大正五年	兵庫縣	辰馬治力
	三	三	内洋	宮盛	騾	大正五年	兵庫縣	辰馬治力
	二	二	内洋	宮盛	騾	大正五年	兵庫縣	辰馬治力
	一	一	内洋	宮盛	騾	大正五年	兵庫縣	辰馬治力

特技審査障碍飛越出場馬連名簿

出場順序	種類	馬名	性	生年	府縣	氏名
一	内洋	水町	騾	大正元年	東京府	三井高修
二	内洋	スロン	騾	大正五年	兵庫縣	谷井千次郎
三	内洋	宮盛	騾	大正八年	東京府	辰馬治力
四	内洋	定宮	騾	大正十年	東京府	幣原重雄
五	内洋	第五	騾	大正十年	東京府	古河正宣
六	内洋	第九	騾	大正十年	東京府	幣原重雄
七	内洋	小陶	騾	明治四十一年	兵庫縣	能原愛太郎
八	内洋	盛	騾	大正十年	兵庫縣	大野正太郎
九	内洋	飛	騾	大正十年	兵庫縣	坂野長次郎
一〇	内洋	ナガ	騾	大正十年	兵庫縣	岡本信一郎
一一	内洋	雁	騾	大正十年	兵庫縣	西本政一郎
一二	内洋	佐	騾	大正十年	兵庫縣	生島五郎
一三	内洋	雲	騾	大正十年	兵庫縣	生島五郎
一四	内洋	立	騾	大正十年	兵庫縣	星島義兵衛
一五	内洋	第	騾	大正十年	兵庫縣	大野正太郎
一六	内洋	二	騾	大正十年	兵庫縣	大野正太郎
一七	内洋	伊	騾	大正九年	愛知縣	伊藤次郎

二六四

審査番號	馬名	得點	序列	府縣	氏名
一〇	ナガ	七九・四	四	兵庫縣	坂本信一
一一	アゼリ	七五・二	七	東京府	岡本敬五
一二	雁	六九・〇	八	大阪府	西本政三
一三	佐	八二・〇	三	兵庫縣	生島五郎
一四	雲	六〇・六	九	岡山縣	星島義兵
一五	立	八六・八	二	大阪府	大坂愛馬會
一七	伊	三五・〇	一	愛知縣	伊藤銃次郎

備考 審査番號七、一六ハ棄權トス

特技審査障礙飛越減點表

審査番號	馬名	障礙	減點	合計	序列	府縣	氏名
一	宮盛	イ	〇	二二	六	兵庫縣	辰馬力
二	松盛	ロ	〇	二四	七	大阪府	岩坪正治
三	花山	ハ	〇	二二	五	大阪府	近藤忠四郎
四	日吉	ニ	〇	二四	四	兵庫縣	宮崎彌之助
五	晴	ホ	〇	二二	三	東京府	橋本信次郎
六	花	ヘ	〇	二二	二	大阪府	柳本廣之
七	奧	ト	〇	二二	一	東京府	鈴木章之
九	龍	チ	〇	二二	一	東京府	松村昇

一〇 第二ウルイー 途中ヨリ飛越中止 八 北海道 大村市助

備考 審査番號八ハ缺トス

特技審査方法

御大典記念全國馬匹博覽會出品審査要領ニ依ル外順序ハ抽籤ニ依リテ之レヲ定ム

一、馬場馬術

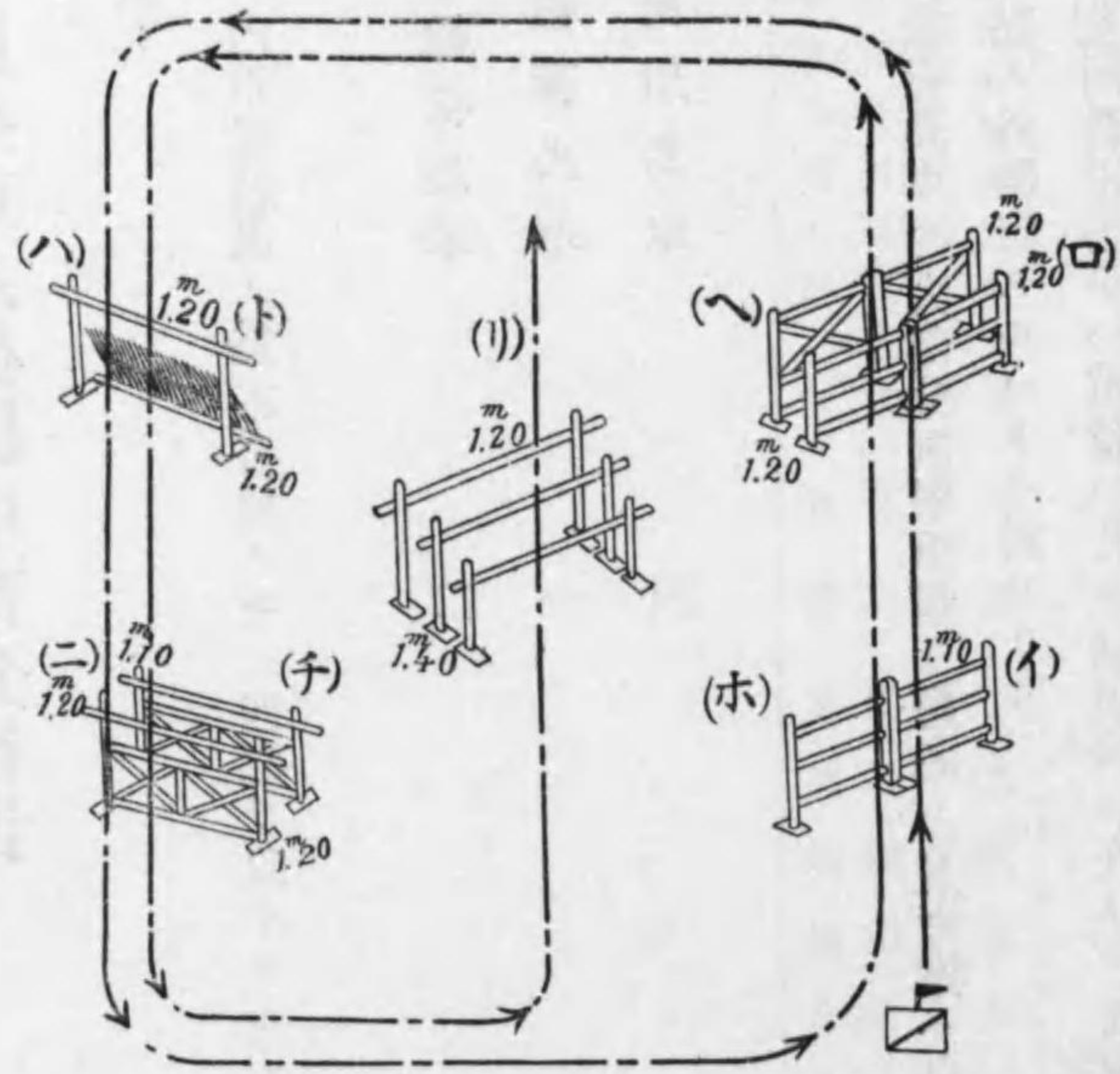
特種調教ノ得點ハ審査官合議ノ上之レヲ定ム

二、障礙飛越

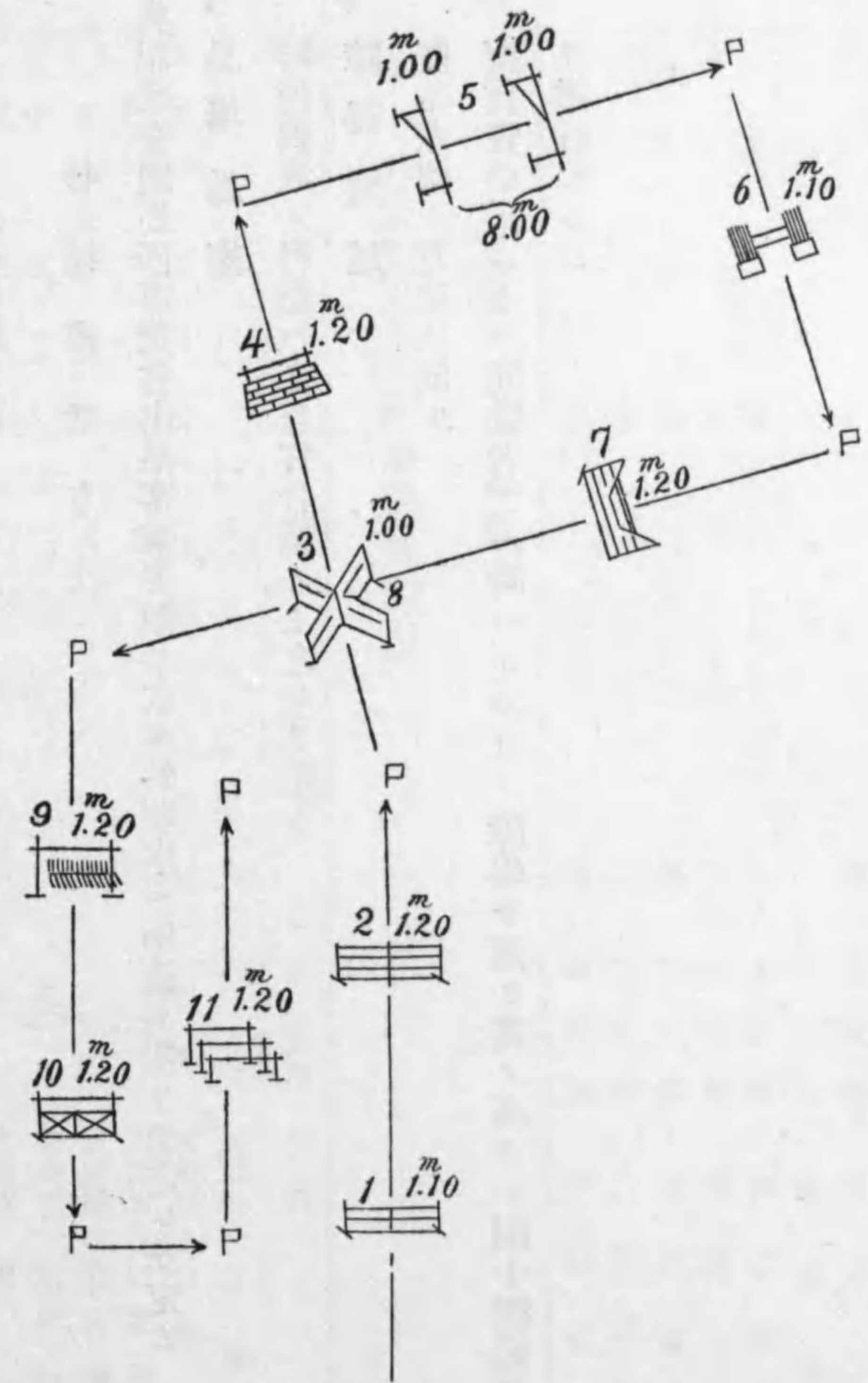
概ネ左圖ノ方法ニ依ル

擬賞資格馬ニシテ同點者アル時ハ9 10 11ノ障礙ヲ選ヒ其ノ高ヲ一回十糶宛高メ飛越ヲ履行セシム

圖要路經越飛障查審技特



↑ 飛越経路
 (イ) …… (チ)ノ順序ニ
 連続駆歩トス



二、改良乘車式荷馬車審査報告

(一) 出品數

出品數十一點ノ内重量超過ノ爲不合格ノモノ四點ヲ除キタル七點ニツキ審査ス其ノ種類左ノ如シ

- 乘車式四輪荷馬車 二
- 乘車式輕荷馬車 一
- 乘車式農用馬車 四

(二) 審査ノ概況

乘車式四輪及二輪荷馬車ハ大部分制限重量ヲ超過シ且考案ハ良好ナリシモ概ネ實用的價値尠カリシ爲一點ノ外選定スルコトヲ得サリシ
乘車式輕荷馬車及同農用馬車ハ重量ハ共ニ制限内ニ在リテ考案モ相當見ルヘキモノアリシカ此ノ中實用的方面ヨリ見テ三臺ヲ選定セリ

(三) 擬賞

出品番號	品名	賞金額	住 所	氏 名
第六號	乘車式四輪荷馬車	五百圓	群馬縣前橋市	中村源一郎
第十二號	乘車式農用馬車	三百圓	栃木縣宇都宮市	山崎 彦七
第三號	乘車式農用馬車	三百圓	愛知縣岡崎市	中川島太一郎
第十六號	乘車式農用馬車	三百圓	宮城縣仙臺市	伊藤久之助

昭和四年三月十一日印刷
昭和四年三月十三日發行

農 林 省 畜 産 局

印刷所
東京市京橋區南鍛冶町二十四番地
小 松 印 刷 所

印刷者
東京市京橋區南鍛冶町二十四番地
小 松 善 作
電話京橋二六六六番

83
439

終